

基礎教育分野 TLO : Target and Learning Outcomes

授業科目区分	授業科目名	科目コード ナンバリング	科目種別 講義 演習 実習 PEL など	単位	1. 科目の目的	2. 科目の到達目標	3. ディプロマポリシー(DP)の目指す能力等						備考	
							DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6		
TLOコア科目	大学生生活デザイン演習	G-SEM101	100	演習	2	多様な他者との関わりを通して、コミュニケーション能力を高め、自分の大学生生活をデザインする。	授業での教育・学修を通して学生がどのような学修成果の達成を目指し、何を到達目標とするか。	幅広い教養	専門的知識	問題解決能力等	グローバルな視点・コミュニケーション能力等	社会に対する関心・志と社会への貢献	社会人能力としての責任感等・新しい可能性へのチャレンジ	
	初年次演習	G-SEM101	100	演習	2+2	大学での学びの基本を理解し、社会や世界を理解するための基礎力を磨き、仲間を作る。	学修スキルと主体的学びの修得、進路・キャリアの理解、責任ある社会人の基礎養成ができる。							
	ICT基礎	G-INF101	100	実習	2	パソコンの基本操作と情報セキュリティについて理解する。	レポートの作成やプレゼンテーションに役立つ基本ソフトの操作を習得し、情報セキュリティ能力を身につける。	◎		◎				○
人間と文化	生命倫理学	G-OHM127	100	講義	2	健康増進に関わる専門職として「命の尊さ」という基本的倫理観を身につけ、多様な価値観を持つ対象者やその家族などに対して基本的な人権を守った上で理学療法士として倫理観に基づいた対応ができるようになることを目的とする。	①生命倫理についての基本的概念を理解できること ②社会における倫理的諸問題を理解し、保健医療に携わる専門職として命の尊さ等の基本的倫理観を身につけること ③医療における倫理的な問題について例を挙げて説明し、解決方法の提案ができること ④安楽死や尊厳死について国内外の現状を比較し、問題点の提起と解決方法の提案ができること ⑤生体補助医療について国内外の現状を比較し、問題点の提起と解決方法の提案ができること	○		◎		○		○
	人間関係論	G-OHM128	100	講義	2	他者の考えを認知・共感・理解し、良好な人間関係を築くためのコミュニケーション能力を養うことを目的とする	①コミュニケーションの意義を理解できる。 ②コミュニケーションの種類と方法論を理解し、応用できる。 ③理学療法におけるコミュニケーションの実践を模範的に考え、理解できる。 ④理学療法における傾聴と協同した行動を模範的に実践できる。	○			◎			○
	哲学	G-OHM111	100	講義	4	世界と自分のあり方について考え、政治や経済のもととなる考え方を知る。	人間が世界のなかで存在するということの基本となる考え方が理解できる。	◎		○			○	
	倫理学	G-OHM121	100	講義	4	善悪や不正など社会の仕組みと人のあり方について理解する。	実際に社会で出会うさまざまな倫理的な問題に対処できるような基本的な考え方を習得する。	◎		○				○
	芸術論	G-OHM104	100	講義	4	社会における芸術について理解し、生活に活かせる芸術の基礎を学ぶ。	美術や音楽の体験を通して、現代社会における芸術がもつ力を理解する。	◎		○	○			○
	文学	G-LIT101	100	講義	4	文学や映画等を通して、芸術としての物語のあり方を理解する。	文学作品や映像作品を読み解く能力を身につける。	◎		○	○			
	ことば学入門	G-LNG101	100	講義	4	人間の思考や文化を形成することばや文字について理解を深める。	ことばを客観的に説明することができるようになり、メディアリテラシーの基礎を身につける。	◎		○	○			
	アジア・アラブ史	G-OHM101	100	講義	4	アジアとアラブの文化や歴史について理解を深める。	アジアの歴史を地域のものとしてではなく世界的な規模のものとして再構築できる。	◎		○	◎			
	アメリカ・ヨーロッパ史	G-OHM102	100	講義	4	アメリカとヨーロッパの文化や歴史について理解を深める。	欧米の歴史を流れとして理解し、現代の社会を流れて位置づけることができる。	◎		○	◎		○	
	日本史	G-OHM114	100	講義	4	日本の歴史について、幕末以降の近代史を中心として理解を深める。	日本の歩んできた道を近代の諸国との関係のなかで理解する。	◎		○	◎			
	地理学概論	G-OHM110	100	講義	4	自然地理学と人文地理学の両方の観点から、地域について理解を深める。	地域固有の自然環境や文化、経済などを総合的に捉えることができる。	◎		○	○		○	
	人文地理学	G-OHM108	100	講義	4	人口や村落、文化や民族、環境などの問題について理解を深める。	地域によって異なる生活様式を人口変動や文化等から捉えることができる。	◎		○	○		○	
	日本の文化	G-OHM117	100	講義	4	日本文化を支える日本語について理解を深めることで、文化を捉え直す。	日本におけるさまざまな文化に対する理解を深めることができる。	◎		○	◎		○	
	異文化概論	G-OHM103	100	講義	4	異文化理解の基礎を学びながら、自分たちの文化への理解も深める。	異文化に対する多角的視野や積極的態度を身につける。	◎				○		○
	文化人類学	G-OHM118	100	講義	4	人間の生活を可能にする多様な文化的・社会的なしくみを理解する。	現代世界の多様な人間現象や異文化に対する視点を身につける。	#NAME?		○	◎		○	
	Introduction to American Society	G-SOC101	100	講義	4	To study American culture and society by analyzing traditional and contemporary American values.	To demonstrate the knowledge learned through active learning in an individual or group presentation.	◎		○	◎		○	
	Life & Tradition in America	G-SOC102	100	講義	4	To gain basic knowledge of American lifestyle and traditions.	To become familiar with American lifestyles and traditions through cooperative learning (four-skill activities).	◎		○	◎		○	
ASP Prep (College Life in America) (注1)	G-SOC201	200	講義	4	1. Learn about Life and traditions in America; 2. Preparation for going on ASP 3. Set achievable goals for study abroad success.	To be able study abroad, be independent and set goals that will enable students to be successful.	◎		○	◎		○		
現代社会	法学	G-LAW103	100	講義	4	社会で役立つための法学に関する基礎的な知識を修得し、批判的思考の習慣を身につける。	社会で起る様々な法律問題をとりあげ、こうしたトラブルに直面した際の解決方法を考えられる。	◎		○		◎		○
	憲法	G-LAW101	100	講義	4	憲法のしくみを理解し、国家/国民とは何かのテーマを追求することで日本国民としての自覚を持つ。	具体的な事件・事例に就いて考察することにより、自分たちの国の憲法をより深く理解できる。	◎		○		◎		○
	政治学	G-POL101	100	講義	4	様々な異なる政治現象をとりあげながら、その背後に潜む普遍性/一般理念を追求する。	個人と社会の間の政治現象の諸形態を理解し、自分がそれに対していかに主体的に参加できるかを認識する。	◎		○		◎		○
	経済学	G-EQN101	100	講義	4	経済学の基礎となるミクロ経済学とマクロ経済学について学ぶ。	経済行動や経済政策について理解を深め、自分ごとのように経済と関係しているかを認識する。	◎		○	○		◎	
	社会学	G-SOC106	100	講義	4	社会学の基本的な歴史と概念を学ぶ。	社会学の概念を用いて、自分たちの社会を認識することができる。	◎		○	○		◎	

授業科目区分	授業科目名	科目コード ナンバ	ナンバ リング	科目 種別	単位	1. 科目の目的	2. 科目の到達目標	3. ディプロマポリシー(DP)の目指す能力等						備考
								DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	
								幅広い教養	専門的知識	問題解決能力等	グローバルな視点・コミュニケーション能力等	社会に対する関心・志と社会への貢献	社会人能力としての責任感等・新しい可能性へのチャレンジ	
自然科学と環境	現代の社会	G-SOC104	100	講義	4	現代社会を分析するための方法とスキルを学ぶ。	さまざまな問題を抱える現代社会において、自分が社会とどのように関連しているのかを認識する。	◎		○	○	◎		
	心理学概論	G-PSY103	100	講義	4	心理学のさまざまな分野における基本的な概念と流れを学ぶ。	心理学の基本的用語について正確な知識を得て、日常の体験を心理学の理論に基づいて捉え直すことができる。	◎	○	○		◎		
	自然科学概論	G-SCI103	100	講義	4	自然科学の基礎となる物理的な現象について理解する。	音や光、エネルギーなどの科学的知識を理解することができる。	◎		○				
	環境と自然	G-SCI102	100	講義	4	現代社会における生活環境上の問題を理解する。	薬物や温暖化など環境の問題がいかに自分たちの生活と関わっているのかを理解できる。	◎		○		○		
	科学思想史	G-SCI101	100	講義	4	社会の発展を支えてきた科学技術とその背景となる科学思想について理解する。	科学の発展を歴史的流れの中から捉え直すことができる。	◎		○		○		
	基礎統計学	G-SCI111	100	講義 演習	2	医療や健康に関連する統計学の基礎的な知識と解析方法の修得を主な目的とする。	①統計用語について説明できる。 ②研究目的に応じた統計手法の選択について説明できる。 ③代表的な統計手法(平均値の差の検定、分散分析、相関、回帰、分割表に基づく解析)の結果の読み方について説明できる。	◎	○	○				
	統計学入門	G-SCI106	100	講義	4	統計学における基礎的なスキルを習得することができる。	データの見方やまとめ方を学び、基礎的な統計処理ができる。	◎	○					
健康とスポーツ	健康・スポーツ科学	G-HES101	100	講義	4	健康科学やスポーツ科学の基本的な理論を理解する。	健康やスポーツに関する正しい理解を身につけ、日常生活で実践することができる。	○						
	健康・スポーツ実技	G-SPE101	100	実習	1	スポーツの競技を実践し、その基礎となる理論を理解する。	各競技の基本的な理論を理解し、他者との試合などを正しく実践することができる。	○			○			
英語	Oral Communication	L-ENG118	100	実習	2	英語で対話したり発表するオーラルコミュニケーション能力の基礎を習得する。	リスニング力とスピーキング力を向上させ、基礎的な対話や発表ができる。	◎		○	◎			商・経済・国際・人
	Reading & Writing	L-ENG119	100	実習	2	まとまった英文を読む方法を学び、英語で要約や意見を書くための基礎力を付ける。	まとまった英文の大意を把握したり、簡単な内容の英文を書くことができる。	◎		○				商・経済・国際・人
	English Workshop	L-ENG116	100	実習	2	英語で目的を決めた活動(タスク)を行うことにより、四技能を総合的に高める。	身につけた英語の四技能を実用的な目的に応用することができる。	◎		○	◎			商・経済・国際・人
	Media English	L-ENG117	100	実習	2	メディア英語に親しみつつ、比較的易しい題材を用いて、英語の四技能を向上させる。	メディアの英語を学習や情報検索などの目的で活用することができる。	◎		○	◎			商・経済・国際・人
	Communication Basic I (注2)	L-ENG107	100	実習	2	To improve English listening and speaking skills through focused practice in conversation and discussion strategies.	To understand English speakers from multiple countries and to communicate effectively, with comfort and accuracy.	◎		○	◎			商・経済・書・国際人(グローバルスポーツ・プログラム)
	Communication Basic II (注2)	L-ENG108	100	実習	2	To improve English listening and speaking skills through focused practice in conversation and discussion strategies.	To understand English speakers from multiple countries and to communicate effectively, with comfort and accuracy.	◎		○	◎			商・経済・書・国際人(グローバルスポーツ・プログラム)
	English Comprehension I (注2)	L-ENG112	100	実習	2	To build basic English knowledge for comprehending beginner level narratives and expository texts.	To provide students the foundations for increased reading comprehension and speed of reading.	◎		○	◎			商・書・国際人(グローバルデータサイエンス・プログラム)
	English Comprehension II (注2)	L-ENG113	100	実習	2	To build basic English knowledge for comprehending beginner level narratives and expository texts.	To provide students the foundations for increased reading comprehension and speed of reading.	◎		○	◎			商・書・国際人(グローバルデータサイエンス・プログラム)
	English Project Workshop	L-ENG132	100	実習	2	To improve their English language skills through a series of projects that provide meaningful practice.	To work in small groups to create and present the projects students are assigned to and build their confidence.	○		◎	◎			書・国際
	Basic TOEIC Strategies	L-ENG133	100	実習	2	The objectives of this course are: First, to provide students with strategies to reach the 500-550 level on the TOEIC test. Second, to provide students with knowledge and techniques for listening and reading vocabulary and grammar.	The main goal of this course is to obtain a TOEIC score of 500 or higher in listening and reading after the course.		◎	◎	○			
	Basic Speaking I (注2)	L-ENG128	100	実習	1	To develop basic oral communication skills for everyday situations and the academic classroom setting.	By effectively working in pairs and groups, to enable students to speak and prepare for presentation.	◎		○	◎			商(グローバルデータサイエンス)
	Basic Speaking II(注2)	L-ENG129	100	実習	1	To develop basic oral communication skills for everyday situations and the academic classroom setting.	By effectively working in pairs and groups, to enable students to speak and prepare for presentation.	◎		○	◎			商(グローバルデータサイエンス)
	Basic Writing I(注2)	L-ENG130	100	実習	1	To improve students' writing ability by introducing parts of speech and sentence structures.	To understand English speakers from multiple countries and to communicate effectively, with comfort and accuracy.	◎		○	◎			商(グローバルデータサイエンス)
	Basic Writing II(注2)	L-ENG131	100	実習	1	To improve students' writing ability by introducing parts of speech and sentence structures.	To understand English speakers from multiple countries and to communicate effectively, with comfort and accuracy.	◎		○	◎			商(グローバルデータサイエンス)
	Communication Core I	L-ENG219	200	実習	2	To expand understanding of written English by moving from the sentence level through the paragraph and into the essay.	To recognize and apply correct grammatical forms, as well as their correct production in writing.	◎		○	◎			商(グローバルデータサイエンス)
	Communication Core II	L-ENG220	200	実習	2	To expand understanding of written English by moving from the sentence level through the paragraph and into the essay.	To recognize and apply correct grammatical forms, as well as their correct production in writing.	◎		○	◎			商(グローバルデータサイエンス)
English Production I	L-ENG221	200	実習	2	To obtain techniques for listening and improve speaking ability.	To listen and understand native speakers of English and communicate effectively.	◎		○	◎			商(グローバルデータサイエンス)	
English Production II	L-ENG222	200	実習	2	To obtain techniques for listening and improve speaking ability.	To listen and understand native speakers of English and communicate effectively.	◎		○	◎			商(グローバルデータサイエンス)	

授業科目区分	授業科目名	科目コード ナンバ	ナンバ リング	科目 種別 講義 演習 実習 PBL など	単位	1. 科目の目的 授業科目で何を目的に学修し、 どのような内容の理解を狙いと するか。	2. 科目の到達目標 授業での教育・学修を通じて学生 がどのような学修成果の達成を 目指し、何を到達目標とするか。	3. ディプロマポリシー(DP)の目指す能力等						備考		
								DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6			
								幅広い教養	専門的知識	問題解決能力等	グローバルな視 点・コミュニケー ション能力等	社会に対する関 心・志と社会への 貢献	社会人能力とし ての責任感等・ 新しい可能性へ のチャレンジ			
言語スキル科目	Intermediate Listening and Speaking A	L-ENG223	200	実習	2	To teach students key listening and speaking skills for academic situations.	To be able to effectively communicate in a business-type setting.	◎		○	◎					
	Intermediate Listening and Speaking B	L-ENG224	200	実習	2	To use the discourse skills necessary to actively participate in small group discussions focused on business topics.	To be confident and competent to present as individuals and in groups.	◎		○	◎					
	Intermediate Reading and Writing A	L-ENG225	200	実習	2	To strengthen general reading, vocabulary building and writing skills on a academic topics.	To expose to various reading strategies such as scanning, skimming, rapid reading, intensive reading and extensive reading.	◎		○	◎					
	Intermediate Reading and Writing B	L-ENG226	200	実習	2	To build reading and writing fluency while studying topics in business.	To learn how to analyze written texts, and how to apply this knowledge in longer writing tasks.	◎		○	◎					
	ASP Prep (Listening and Speaking)(注1)	L-ENG231	200	実習	2	To teach students key listening and speaking skills for academic situations they will encounter on ASP.	To be able to effectively communicate in academic-type setting.	◎		○	◎					
	ASP Prep (Reading and Writing)(注1)	L-ENG232	200	実習	2	To use the discourse skills necessary to actively participate in small group discussions focused on academic topics.	To be confident and competent to present as individuals and in groups.	◎		○	◎					
その他の外国語	ドイツ語入門	L-GMN101	100	実習	2	ドイツ語の文字と発音を学び、簡単な会話を言い、初歩の文法を理解する。	ドイツ語の基本的な単語を学習し、簡単な文章を読み、日常の挨拶ができる。	◎			◎					
	実践ドイツ語	L-GMN102	100	実習	2	基礎的なドイツ語のコミュニケーション能力を修得する。	初歩的なドイツ語を話し、読み、書くことができる。	◎			◎					
	フランス語入門	L-FRC101	100	実習	2	フランス語の文字と発音を学び、簡単な会話を言い、初歩の文法を理解する。	フランス語の基本的な単語を学習し、簡単な文章を読み、日常の挨拶ができる。	◎			◎					
	実践フランス語	L-FRC102	100	実習	2	基礎的なフランス語のコミュニケーション能力を修得する。	初歩的なフランス語を話し、読み、書くことができる。	◎			◎					
	スペイン語入門	L-SPN101	100	実習	2	スペイン語の文字と発音を学び、簡単な会話を言い、初歩の文法を理解する。	スペイン語の基本的な単語を学習し、簡単な文章を読み、日常の挨拶ができる。	◎			◎					
	実践スペイン語	L-SPN102	100	実習	2	基礎的なスペイン語のコミュニケーション能力を修得する。	初歩的なスペイン語を話し、読み、書くことができる。	◎			◎					
	中国語入門	L-CHN101	100	実習	2	中国語の文字と発音を学び、簡単な会話を言い、初歩の文法を理解する。	中国語の基本的な単語を学習し、簡単な文章を読み、日常の挨拶ができる。	◎			◎					
	実践中国語	L-CHN102	100	実習	2	基礎的な中国語のコミュニケーション能力を修得する。	初歩的な中国語を話し、読み、書くことができる。	◎			◎					
	ハングル入門	L-KRE101	100	実習	2	ハンガルの文字と発音を学び、簡単な会話を言い、初歩の文法を理解する。	ハンガルの基本的な単語を学習し、簡単な文章を読み、日常の挨拶ができる。	◎			◎					
	実践ハングル	L-KRE102	100	実習	2	基礎的なハンガルのコミュニケーション能力を修得する。	初歩的なハンガルの話し、読み、書くことができる。	◎			◎					
	ロシア語入門	L-RSA101	100	実習	2	ロシア語の文字と発音を学び、簡単な会話を言い、初歩の文法を理解する。	ロシア語の基本的な単語を学習し、簡単な文章を読み、日常の挨拶ができる。	◎			◎					
	アラビア語入門	L-ARB101	100	実習	2	アラビア語の文字と発音を学び、簡単な会話を言い、初歩の文法を理解する。	アラビア語の基本的な単語を学習し、簡単な文章を読み、日常の挨拶ができる。	◎			◎					
留学生日本語	アカデミック日本語	L-JPN125	100	実習	2	読み書き能力の増強を中心とした学習で、母語話者と遜色のない日本語力の習得を目指す。	文字情報の内容を正しく把握し、論点整理ができることと主眼をおいた読解と、その内容の要約や批判を含む意見文の作成などおいて、大学の専門学習で求められる日本語での読み書き能力の増強を目指す。	◎			◎					
	日本語ワークショップ	L-JPN126	100	実習	2	表現力・コミュニケーション力の増強を中心とした多角的な学習で、母語話者と遜色のない日本語力の習得を目指す。	グループワークの中で、大学生として必要な総合的な日本語の理解力(読解力・聴解力)および表現力(発表力・作文力)の向上を目指す。	◎		○	◎					
	ビジネス日本語	L-JPN301	200	実習	2	日本での就職に必要な日本語力を総合的に修得する。講義形式授業を行った後、学生はペアやグループで実践練習を行い、発表をする。	日本での就職に必要な日本語力および入社以降のビジネス・シーンで約1年つづつ実践的な日本語の日本語での就職に必要な総合的な日本語コミュニケーション能力を目指す。	◎			◎					
キャリア形成支援科目	インターンシップ入門	C-ISP101	100	実習	2	インターンシップ実習で企業や行政機関・NPOなどにおいて、自らのキャリアに関連した就業体験を行うための事前学修を実施する。	社会人マナー、コミュニケーション・プレゼンテーション能力向上、エントリーシート作成、ビジネス文書の作成などができるようになる。			○	◎		○			
	インターンシップ(注3)	C-ISP201	200 国100	実習	1	インターンシップに参加し、企業体験を通じて就職活動への理解を深め、その体験を学業に生かす。	企業で働くとはどういうことか、その企業はどんなところか、業界や業種の仕事はどんなものかなど、具体的に職業を知ることができる。			○	○	◎	◎			
	グローバルインターンシップ	C-ISP208	200 国100	実習	4	海外および国内での英語を使った実践的な就業体験を通じ、グローバル環境で活躍できる社会人としての様々な能力の育成を目指す。	自己の職業適性や将来設計を考え、主体的な職業選択や高い職業意識を育成すると共に、国際感覚とビジネス英語の運用能力を身につける。			○	◎		◎			
	ボランティア活動	C-VLT102	100	実習	1	ボランティア・社会的活動を通じ、コミュニケーション能力向上、社会の在り方の理解の深化等により、自らの学びを高めていく。	社会の仕組みや社会の課題を理解・分析し、課題解決力を高め、コミュニケーション・チームワーク・リーダーシップ等のスキルを実践的に修得する。			○	◎	◎		○		
	アカデミック・ライティング	C-LNG101	100	実習	2	学術的・専門的な内容の英語文書を読み立て、適切な英語表現を用いて、外国人が適切に理解できる英語を記述するための学習を行う。	英語及び日本語の文献・資料・データ等を参照・活用し、適切な英語を用いた専門的な文章を組み立て、適切な英語表現で英文を書くことができる。	◎		○	◎					

授業科目区分	授業科目名	科目コード ナンバ	ナンバ リング	科目 種別	単 位	1. 科目の目的	2. 科目の到達目標	3. ディプロマポリシー(DP)の目指す能力等						備考
								DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	
	キャリア・Re-スタート	C-SEM20	200 国100	実習	2	授業科目で何を目的に学修し、どのような内容の理解を担いとするか。	授業での教育・学修を通じて学生がどのような学修成果の達成を目指すか、何を到達目標とするか。	幅広い教養	専門的知識	問題解決能力等	グローバルな視点・コミュニケーション能力等	社会に対する関心・志と社会への貢献	社会人能力としての責任感等・新しい可能性へのチャレンジ	
	地域の安全と警察	C-ORE215	200 国100	講義	2	犯罪や事故などの危険から個人や社会を守るための行政政策について、警察行政を中心としながら、安全な公共空間設計行政などを学ぶ。	警察の現状と職務を理解し、社会の安全と安心を守る行政の役割を理解する。また、就職活動に必要な知識の習得、目的意識を明確化できる。	○		○		◎	◎	
	観光まちおこしワークショップ入門	G-PBL104	100	PBL	2	地域活性化に必要な「観光を活用したまちおこしの基本」をフィールドワークやグループワークを通じて学修する。	1. 観光まちおこしの基本を理解。2. 川越の地域特性、歴史、観光資源を理解。3. 川越の課題を発見。4. 成果発表でチームワーク力を身につける。	○		◎	○			
	観光まちおこしワークショップ実践A	G-PBL101	100	PBL	2	大学・地域が一体となり、「まちおこし」を実施する上で重要となる知識・スキルをプロジェクト形式で学修する。	1. 地域の課題を把握し、2. まちおこしや地域活性化の方策を考え、3. アイデアを形にする力を養い、4. ホスピタリティマインドをもつ。	○		◎		◎		
	観光まちおこしワークショップ実践B	G-PBL102	100	PBL	2	川越の魅力を見出し、外国人観光客へPRすることを体験するプロジェクト型授業で、情報発信の方法を学ぶ。	1. 川越の魅力・地元産品の特徴を効果的に発信。2. 外国人観光客のニーズを満たすリフレット等をチームで作成できる。3. 外国人の視点をもとに制作物を完成させる。	○		◎	◎	○		
	観光まちおこしワークショップ実践C	G-PBL103	100	PBL	2	「小江戸かわごえまちおこし」の企画立案を行い、課題解決思考能力及びコミュニケーション・ファシリテーションスキルをもつグローバル人材の育成を目指す。	1. 「小江戸まちおこし」の立案・提案能力。2. 地域の課題抽出と課題解決の思考能力。3. コミュニケーションやチームビルディングのスキルを習得。	○		◎	◎	◎		
	観光まちおこしプロジェクトA	G-PBL201	200 国100	PBL	1	「大学生観光まちづくりコンテスト」に参加し、実践的な課題発見力、チームワーク力、プレゼンテーション力を修得する。	次の3能力を養う。(1)全国観光地の課題を発見。(2)課題解決のアイデアを協働学習で具体化。(3)それを提案書にまとめプレゼンを行う。	○		◎	◎	◎		
	観光まちおこしプロジェクトB	G-PBL202	200 国100	PBL	1	実際の企業や組織・団体と連携し、川越市の観光課題を発見する力を養い、体験プロジェクトを通じて社会人の経験を積む。	次の3能力を養う。(1)川越市の地域活性化策を企業・組織・団体と作成。(2)川越市の魅力発信PR動画作成。(3)観光客向けガイドブック作成等を企業と連携実施する。			◎	○	◎	◎	
	観光まちおこしプロジェクトC	G-PBL203	200 国100	PBL	1	観光をテーマに企業や自治体と連携し、実践的なまちづくり、地域づくりをプロジェクト形式で行う。	次の3能力を養う。(1)観光による地域づくりを実践する。(2)自分の意見を述べ議論する。(3)社会人基礎力を修得する。			◎	○		◎	
	ASP Prep (joint class準備) (注1)	G-PBL204	100	実習	2	To prepare students for the academic rigours of attending a joint class where participants are both WU and ASP students.	To be able express ideas and share experience related to the content of the course.	○			◎	○	◎	
	海外ゼミナールA	G-OAR201	200 国100	実習	4	現地の語学学習では、リスニング、スピーキング、リーディング、ライティングの能力を総合的に強化し、現地のフィールドトリップや地元住民との交流により、その国の文化、歴史、国民性などを深く知る。	外国語での実践的なコミュニケーション能力を高め、現地の文化・歴史・社会・政治等の総論事項に関する生きた知識を獲得し、相手国の総合的な理解を深める。	○		○	◎		◎	
	海外ゼミナールB	G-OAR202	200 国100	実習	2	現地の語学学習では、リスニング、スピーキング、リーディング、ライティングの能力を総合的に強化し、教室外での活動を通じ、その国の文化、歴史、国民性などに触れる。	外国語での実践的なコミュニケーション能力を高め、現地の文化・歴史・社会等の生きた知識を獲得し、相手国の総合的な理解に繋げる。	○		○	◎		◎	
	特別授業A	G-OAR205	200 国100	講義	2	海外の専門家が各自の専門分野のテーマに関して多様な角度から講義を行い、受講生の視野を広げ、思考力を高める。特別授業Aは、15回相当の授業である。	外国人教員からの指導を受け、グローバルなコミュニケーション能力を高め、多角的な思考力・判断力を身につけ、自分の意見をまとめて発信できる。	○		◎	◎			
	特別授業B	G-OAR206	200 国100	講義	4	海外の専門家が各自の専門分野のテーマに関して多様な角度から講義を行い、受講生の視野を広げ、思考力を高める。特別授業Bは、30回相当の授業である。	外国人教員からの指導を受け、グローバルなコミュニケーション能力を高め、多角的な思考力・判断力を身につけ、自分の意見をまとめて発信できる。	○		◎	◎			
	スポーツパフォーマンス実習Ⅰ(注4)	G-OAR106	100	実習	2	1)指定強化クラブの活動に主体的・自律的に取り組み、2)各専門の競技・実技等の技能・実力を鍛錬する過程で自らの実力を高める。	精神力・自己規律・他者を思いやる心などを養い、コミュニケーション力・チームワークスキル・リーダーシップ及び指導力等を修得する。			◎	○	◎	○	
	スポーツパフォーマンス実習Ⅱ(注4)	G-OAR107	100	実習	2	1)指定強化クラブの活動に主体的・自律的に取り組み、2)各専門の競技・実技等の技能・実力を鍛錬する過程で自らの実力を高める。	精神力・自己規律・他者を思いやる心などを養い、コミュニケーション力・チームワークスキル・リーダーシップ及び指導力等を修得する。			◎	○	◎	○	
	基礎科目特殊講義A	G-OAR101	100		2	特別な目的で、基礎科目分野での特別な授業を行った場合に単位化するための授業科目。15回相当分の科目。	授業の到達目標と達成を目指す能力等については、科目を開設することに案内する。							到達目標は科目開設時に決定されるといふことで、今回は印をつけていません。
	基礎科目特殊講義B	G-OAR102	100		4	特別な目的で、基礎科目分野での特別な授業を行った場合に単位化するための授業科目。30回相当分の科目。	授業の到達目標と達成を目指す能力等については、科目を開設することに案内する。							到達目標は科目開設時に決定されるといふことで、今回は印をつけていません。

※ 言語スキル科目は、学部(一部学科)により科目が指定されているため備考欄に注記を入れてあります。

※ 注1:ASP留学を許可された学生のみ履修することができます。

※ 注2:グローバルコースに登録した学生のみ履修することができます。

※ 注3:「インターンシップ」は、実習時間数に応じて、単位を修得できます。

※ 注4:強化クラブ所属学生のみ履修することができます。

商学部 商学科 専門教育分野 TLO:Target and Learning Outcomes

授業科目区分	授業科目名	科目コード ナンバ	ナンバ	科目 種別	単位	1. 科目の目的	2. 科目の到達目標	3. ディプロマポリシー							
								DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6		
								授業科目で何を目的に学修し、どのような内容の理解を狙いとするか。	授業での教育・学修を通じて学生がどのような学修成果の達成を目指すか、何を到達目標とするか。	ビジネスマインドを有した社会人として活躍するための教養を身に付けている。	市場環境変化への適応において必要とされるICTを含む多様な専門知識を身に付けている。	主に市場環境変化に関するデータを収集し、それを論理的に思考し、市場問題の解決に実践的に取り組むことができる。	国内外のビジネスシーンにおいて、さまざまな文化や価値観の多様性を受け入れ、グローバルな視点から俯瞰的に考えることができるとともに、他者と協働して、互いにコミュニケーションをとることができる。	市場を起点として、社会に関する関心と志を高くもち、社会に貢献する態度を有している。	ビジネスマインドを有した社会人としての責任感・倫理観を有し、勇気をもって、新しい可能性にチャレンジできる。
学科内 専門 共通 科目	商学概論	M-CME102	100	講義	4	流通やマーケティングを勉強するための基礎科目として、商業の基礎を学修し、その全体像を把握するための学修を行う。	商業の仕組みが分かるようになり、これから始まる専門科目への学修意欲が一層高まる。	◎	○	○		◎			
	ファイナンス概論	M-ECN109	100	講義	4	経済における金融の役割、経済の発展と金融がいかに関わるか、について基本的考えを学ぶ。	決済制度、投資と資本蓄積、マクロ経済と金融の関わり、金融市場の役割について理解を深める。		◎	◎				○	
マーケ ティ 流通 分野	商業史	M-CME103	100	講義	4	ビジネスやスポーツの世界で活躍するヒントを身に付けるために、歴史上の有名な人物がどのような戦略や戦術を使って競争を勝ち抜いたのかを学ぶ。	ビジネスの世界に必要な戦略的思考力や意思決定力などを身につけることを到達目標とする。	◎	◎	○			○		
	貿易論	M-CME205	200	講義	4	最近の国際貿易をめぐるトピックを題材にして、貿易理論や貿易制度政策について学修する。	国際貿易の基礎理論を理解し、貿易制度政策の現実問題について検討する。	○	◎	○	◎				
	マーケティング論	M-CME209	200	講義	4	マーケティングに関する基礎的な知識を習得し、実務におけるさまざまなマーケティング課題に対する洞察力を養うための学修を行う。	新聞や雑誌で取り上げられるマーケティングに関する記事を読んで理解できる。		◎	○	○	◎			
	流通論	M-CME210	200	講義	4	流通についての基礎的な知識を学び、流通の仕組みや社会的な役割を理解して、実務の現場での対応能力を高める学修をする。	日々利用している流通業に対して興味や関心を持てるようになり、流通の変化と動向を理解することができる。	○	◎	◎			○		
	マーケティングコミュニケーション論	M-CME211	200	講義	2	MC論の基本を学びつつ、事例を数多く取り上げていながら、可能な限り実態に即した学修を行う。	事例から疑似体験することによって企業でおこる様々な問題解決に対応する分析・提言ができる。			○	◎			○	
	サービスマーケティング論	M-CME212	200	講義	2	モノの経済からサービス経済へという大きな社会変化の中で、サービスに対する理論構築とその実践について理解する。	物財に対する理論とサービスに対する理論との相違を理解し、実践における分析と対応ができる。	○	◎	◎	、○				
	マーケティングリサーチ	M-CME213	200	講義 (実習付き)	4	消費者や市場を分析するための概念や理論、各種測定技法を学びながら、マーケティングリサーチへの理解を深めるための学修を行う。	マーケティングリサーチの知識を理論と技能の両面から習得し、マーケティング現象を分析するための能力をつける。		、○	◎	◎	◎	、○		
	マーケティング戦略論	M-CME214	200	講義	4	マーケティング戦略を体系的に理解するとともに実際の企業の戦略をケースとして紹介し、親しみやすく身近に感じするための学修をする。	マーケティング戦略の基本から事例研究までを体系的に理解し、社会人として不可欠なマーケティング知識を修得することができる。			◎	◎		○	○	
	消費者行動論	M-CME215	200	講義	4	消費者を分析するための概念や理論を学びながら、マーケティングに対する理解を深めるための学修を行う。	消費行動研究に関する専門性を高め、マーケティングを多角的に分析する能力を高める。		◎	◎	、○	○	○		
	商業・流通政策	M-CME216	200	講義	4	様々な社会的な政策課題について理解を深め、ディベート形式で肯定・否定の議論を行う。	政策課題に対する自己の調査力、分析力、立論力、他者への反論力、プレゼン力をつける。			○	◎	◎		◎	
	マーケティングワークショップ	M-CME217	200	講義 (実習付き)	4	流通・マーケティング分野の集大成として実践的な能力を高めることを目的とする。	実際のマーケティング問題に対して、チームとして戦略を練り上げ、提案していく能力を高める。			◎	◎	◎	○	○	
	製品ブランド論	M-CME309	300	講義	4	ブランドの本質を理解し、企業のブランド戦略についての基礎的な知識を習得する。	企業のブランド戦略を多面的に分析し、見解を述べる力をつける。		◎	◎	○	○	○		
	貿易実務	M-CME311	300	講義	4	貿易についての一般的な知識の他、商取引・国際物流、輸出入通関手続等について学修する。	個人による通関から商社等による大規模商取引まで、貿易実務全般に関する基礎的な事柄について理解できる。	○		○	◎				
	グローバルマーケティング論	M-CME302	300	講義	4	グローバルマーケティングの概念を習得し、グローバルな競争環境の中における企業のマーケティング活動を学修する。	抽象的な概念より、現実の事例と結びつけてグローバルなマーケティング視点で考える力がつく。		◎	○	◎				
	経営 分野	経営学概論	M-MNG102	100	講義	4	経営学とは何かを知り、経営学の基礎知識を習得することで企業経営についての理解を深めるための学修を行う。	経営学及び企業経営についての基礎知識の習得し、自分の意見を述べることができる。	◎		○		◎		○
		経営管理論	M-MNG207	200	講義	4	経営管理の思想的側面と各理論が導かれた社会経済状況を学び、経営実践に必要な管理課題に対する問題解決能力を養う。	経営管理の理論発展に関する時代背景・時代精神と共に、主要な論点と概念を理解し説明できる。	◎	○	○		◎		
		経営戦略論	M-MNG208	200	講義	4	「経営環境の分析」や「事業戦略の構築」の二部によって構成される。経営戦略の基本概念から始め、経営戦略を行うための様々な基本理論や知識を習得すること。	企業を取り巻く環境の変化を理解し、経営戦略の基本理論や戦略策定ツール(フレームワーク)を習得する。	◎		○	○			
スポーツ組織論		M-HES400	400	講義	2	国内外のスポーツ組織の将来性・現況、情報等理解し、スポーツ組織をどのようにマネジメントすべきかを考える。	スポーツ組織の運営や活動促進のために、必要とされる人材、期待される役割がどのようなものかを考察し、実践する能力を身につける。		◎	◎				○	

授業科目区分	授業科目名	科目コード ナンバ	ナンバ	科目 種別	単位	1. 科目の目的	2. 科目の到達目標	3. ディプロマポリシー						
								DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	
				講義 演習 実習 PBL など		授業科目で何を目的に学修し、どのような内容の理解を狙いとするか。	授業での教育・学修を通じて学生がどのような学修成果の達成を目指し、何を到達目標とするか。	ビジネスマインドを有した社会人として活躍するための教養を身に付けている。	市場環境変化への適応において必要とされるICTを含む多様な専門知識を身に付けている。	主に市場環境データに関するデータの収集・分析を行うこと、それを論理的に思考し、市場問題の解決に貢献することができる。	国内外のビジネスシーンにおいて、さまざまな文化や価値観を受け入れ、グローバルな視点から俯瞰的に考えることができること、他者と協働して、互いにコミュニケーションをとることができる。	市場を起点として、社会に関する関心と志を高くもち、社会に貢献する態度を有している。	ビジネスマインドを有した社会人としての責任感・倫理観をもち、勇気をもって、新しい可能性にチャレンジできる。	
	地域金融講座(飯能信用金庫 寄附講座)	M-ECN111	100	講義	2	私たちの生活と金融とがどのような関わりを持っているのかを、身近な地方金融機関の実務者から学ぶ。	実際の業務を踏まえた地域金融機関の使命と役割への理解を深めることを目標とする。	◎		◎		○	○	
	ファイナンス・アナリティクス	M-ECN224	200	講義	4	入門レベルのファイナンスを題材として、Excelを用いた分析を行う。そのために、基本的なExcelの操作や基礎的な統計処理について演習形式で修得した上で、最終的には各自がファイナンスに関連する分析を行う。	Excelの基本操作を修得しデータを用いた分析を行い、データツールの取扱いに慣れることで、プロジェクト演習やその他の分析ツールの利用、及びビジネスにつなげる。		◎	◎		○	○	
	アドバンス・ファイナンス	M-ECN356	300	講義	2	中上級レベルのファイナンスを解説。そして、実際の投資戦略や最近のファイナンスに関連するビジネス課題も理解する。	中上級レベルの標準的なファイナンスを修得し、ビジネスでの応用につなげる。		◎	◎		○	○	
	ファイナンス	M-ECN231	200	講義	4	ファイナンスについて学ぶ。	ファイナンスに関する理解を深める。	◎	○	○		◎	○	
	金融システム	M-ECN234	200	講義	4	金融システムとして中央銀行を中心とした金融制度について基礎事項を学ぶ。	通貨決済制度、インフレーション、マクロ安定化政策としての金融政策を理解する。	◎	○	○		◎	○	
	国際金融	M-ECN235	200	講義	4	国と国との間の金融取引を国際金融であり、国際金融ならではの概念や言葉の定義について学ぶ。	国際収支や為替レート、金融と関係のある範囲で実務取引についても理解する。	◎	○	○		◎	○	
	ファイナンシャルプランニング論	M-ECN329	300	講義	4	ファイナンシャルプランニングについて学ぶ。	ファイナンシャルプランニングに関する理解を深める。		◎	◎		○	○	
	ファイナンシャルマーケット論	M-ECN330	300	講義	4	現代の経済には不可欠であるファイナンシャル・マーケット(金融市場)について理解を深めるための学修を行う。	企業と金融市場の関わり、金融取引におけるリスク、金融仲介、証券金流通市場について理解する。		◎	◎		○	○	
経済分野	ミクロ・マクロ経済学	M-ECN105	100	講義	4	標準的な入門レベルの経済学としてミクロ経済学とマクロ経済学をコンパクトに解説。そして、経済統計といったビジネスでの活用に関連する基礎的な内容を理解する。	初級レベルの経済学を修得し、より上級レベルの学習やビジネスにつなげる。	◎	○	○		◎	○	
	国際経済学	M-ECN210	200	講義	4	現代の複雑な国際経済の構造について理解し、国際経済に関する重要記事を適切に理解することを目指す。	国際貿易論、国際金融論の基本的な内容を理解し、国際経済問題について貿易、国際金融の両面から、理論的ツールを用いて考察できる。	◎	○	○		◎	○	
	財政学	M-ECN211	200	講義	4	税制改革や財政赤字削減のような、重要な財政問題について、現状や歴史、より根本的・体系的な側面、解決策を学ぶ。	税制改革や財政赤字削減などについて、現状や歴史、経済学的な視点、解決策について、説明や判断ができるようになる。	◎	○	○		◎	○	
	公共経済学	M-ECN208	200	講義	4	公共経済の重要な課題である、市場の役割と限界、市場制度を補完するための公共部門、政府の役割、市場の失敗と政府の失敗等を学ぶ。	市場機構のメリットとデメリット、市場を補完する政府の役割、市場の失敗と政府の失敗、公共経済問題の本質・解決方法について議論できる。	◎	○	○		◎	○	
	日本経済論	M-ECN326	300	講義	4	経済理論をどのように経済データあるいは判例と結びつけて考えるかを学ぶ。	現実の経済について理論的かつ合理的な説明ができるような能力を身につける。		◎	◎		○	○	
	産業経済論	M-ECN318	300	講義	4	産業組織論の基礎であるミクロ経済学とくに競争と独占の理論を理解し、市場における企業間競争の分析を学び、競争促進・独占禁止の政策を考える。	以下のテーマについて、各自で学んだ成果を発信できる。産業組織論の基礎である競争と独占の理論、市場における企業間の競争、競争促進・独占禁止の政策、など。		◎	◎		○	○	
	社会経済システム論	M-ECN232	200	講義	4	社会経済システム論の基礎知識を学んだら、進化的な理論構成の可能性について検討する。	さまざまな社会現象・経済現象をシステム論的な観点から理解できるようにする。	◎	○	◎		○	○	
	福祉の経済学	M-ECN334	300	講義	4	経済学の視点から、福祉とは何か、所得格差と貧困、年金・医療等の社会保障、労働・雇用と生活水準、人間の安全保障などのテーマを学ぶ。	人間の経済活動と労働・所得・生活水準等の問題について主体的に学修し意見を述べることができ、他者と議論を行い、建設的な提言を行える。		◎	◎		○	○	
	都市経済論	M-ECN233	200	講義	4	都市内の土地利用を取り巻く外部性(混雑、公害など)の内部化(解決)手法に関して理解を深める。	都市環境の改善のために何をすれば実現可能な対策になりうるかを考えられる。	◎	○	◎		○	○	
	地域経済社会事情(中東)	M-ARS220	200	講義	4	中東を手掛かりに現代世界に大きな影響を与える社会・経済の動きとその背景を捉え、地域経済の特性と可能性を多角的に理解する。	中東地域に関する知識を習得し、異文化世界との共生力と多様性を活かす社会・経済のあり方を考えられるようになる。	◎	◎	○		○	○	
	地域経済社会事情(人の移動と地域)	M-ARS221	200	講義	4	人の移動を軸に、現代世界の都市化や地域の再編を理解し、地域をつくる多様な社会経済的仕組みとその課題・可能性を学修する。	人びとの生活の場から地域を理解し、地域に起こる諸問題・現象から社会経済的課題と可能性を理解し、説明できる。	◎	◎	○		○	○	
	地域経済社会事情(東アジア)	M-ARS222	200	講義	4	韓国社会が直面している諸課題について、ミクロ及びマクロ経済学の観点から理解する。	身近な経済トピックを中心に、韓国の経済問題を理解し、日韓経済関係の在り方について意見を述べる。	○			◎	◎	○	○

授業科目区分	授業科目名	科目コード ナンバー	ナンバ リング	科目 種別 講義 演習 実習 PBL など	単位	1. 科目の目的 授業科目で何を目的に学修し、どのような内容の理解を狙いとするか。	2. 科目の到達目標 授業での教育・学修を通じて学生がどのような学修成果の達成を目指し、何を到達目標とするか。	3. ディプロマポリシー						
								DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	
								ビジネスマインドを有した社会人として活躍するための教養を身に付けている。	市場環境変化への適応において必要とされるICTを含む多様な専門知識を身に付けている。	主に市場環境変化に関するデータを収集したうえで、それをもとに論理的に思考し、市場問題の解決に実践的に取り組むことができる。	国内外のビジネスシーンにおいて、さまざまな文化や価値観等の多様性を受け入れ、グローバルな視点から俯瞰的に考えることができることと、他者と協働して、互いにコミュニケーションをとることができる。	市場を起点として、社会に関する関心と志を高くもち、社会に貢献する態度を有している。	ビジネスマインドを有した社会人としての責任感・倫理観を有し、勇気をもつて、新しい可能性にチャレンジできる。	
法律分野	民法	M-LAW203	200	講義	4	民法について学ぶ。	民法に関する理解を深める。	◎	○	○		◎		
	労働法	M-LAW204	200	講義	4	現実の問題となっている事例を取り上げて実務に役立つ応用力を身につけるための学修を行う。	現実存在する問題に対応できるリアル・マインドを身につけ、自分の意見を述べることができる。	◎	○	○		◎		
	国際法	M-LAW201	200	講義	4	国際社会で生じる具体的な紛争に触れながら、解決の基礎となる国際法を学び現状と課題を考察する。	国際法の基礎概念を身に付けるとともに、それを用いて国際問題を法的に考察する力を身に付ける。	◎	○	○		◎		
	会社法	M-LAW301	300	講義	4	会社法について学ぶ。	会社法に関する理解を深める。		◎	◎		○		○
	行政法	M-LAW310	300	講義	4	「行政法」について基本的な知識や考え方を理解するための学修を行う。	行政法についての基礎を理解し、身近で重要な法律の一つである「行政法」の考え方を身につけ、自分の意見を述べることができる。		◎	◎		○		○
	手形・小切手法	M-LAW308	300	講義	4	手形・小切手法について学ぶ。	手形・小切手法に関する理解を深める。		◎	◎		○		○
	商取引法	M-LAW306	300	講義	4	商取引法について学ぶ。	商取引法に関する理解を深める。		◎	◎		○		○
会計分野	簿記	M-ACC101	100	講義	4	簿記や会計学を学んだことがない初学者を対象に、簿記・会計の基礎を学修することを目的とする。	基礎的な用語・計算の理解、日商簿記3級レベルの学修内容の理解ができる。	◎		○		◎		○
	デジタルビジネスとアカウンティング	M-ACC103	100	講義	4	標準的な入門レベルの会計学を、コンパクトに解説するアカウンティング概論。そして、デジタルビジネスや会計ビッグといったビジネスでの活用に関連する基礎的な内容を理解する。	初級レベルの標準的な会計学を修得し、より上級レベルの学習やその他の分析ツールの活用、及びビジネスにつなげる。	◎	○	◎		○		○
	会計学概論	M-ACC104	100	講義	4	会計学を学ぶために、会計学の全体像を捉え、必要な基礎知識を幅広く得るための学修を行う。	会計情報が社会においてどのように役に立つのか、大きな見地から理解できる。	◎		○		◎		○
	財務会計論	M-ACC305	300	講義	4	会計の基礎的な知識を発展させ、わが国の財務会計に関する知識を広げ、深める。	財務会計全般を広く理解し、大学で会計学を学修した標準レベル以上に達する。		◎	◎		○		○
	財務分析論	M-ACC306	300	講義	4	会社の成績を表示している貸借対照表や損益計算書等の財務諸表の分析ができる簿記会計を学修する。	財務諸表を読む能力をためすビジネス会計検定試験の3級程度の知識を身につける。		◎	◎		○		○
	管理会計論	M-ACC302	300	講義	4	管理会計の概要を明らかにするとともに、具体的な管理会計手法を取り上げて、管理会計の理解を深める。	代表的な管理会計手法の利用方法およびその効果における概要を説明できる。		◎	◎		○		○
情報分野	情報学基礎	M-INF102	100	講義	2	コンピュータを制御するソフトウェアの動作について字ひ、動作を記述するプログラムについて理解する。	ソフトウェアの構成について説明ができること、プログラムを記述し、コンピュータの基礎的な制御ができる。	◎		◎		○		○
	プログラミング	M-INF103	100	講義	4	データサイエンスの基礎課題を解決するための分析力と、その分析を実践するソフトウェアの開発スキルの獲得する。	機械学習の代表的手法の特徴を説明できること、Pythonによるプログラム化による分析ができる。	◎		◎		○		○
	情報社会と情報倫理	M-INF104	100	講義	2	高度情報社会とはどのような社会であるのか、その中で生じる情報倫理問題について理解する。	情報セキュリティや情報倫理に関する問題に正しい認識をたてた上でICTを健全に使いこなせる。	◎	◎			○		○
	機械学習	M-INF213	200	講義	4	機械学習手法の習得を目的に、代表的な手法を理解し、データを使った分析ができるようになることを狙いとする。	・クラスタリング、主成分分析などの代表的な機械学習手法について説明ができる。 ・統計解析ソフトを利用してデータ分析し報告書作成ができる。		◎	◎		○		○
	ビッグデータマネジメント	M-INF214	200	講義	4	データサイエンスの実践に求められるデータの生成、管理、前処理を行うために必要となるデータベース、クラウドネットワークサービスについて知識と、開発スキルを獲得する。	インターネットを利用したデータ収集から、データベース(MySQL)を利用したビッグデータの管理、データ前処理について設計、基本的なプログラム化ができる。		◎	◎		○		○
	ビジネス・アナリティクス	M-INF215	200	講義	4	ビジネスアナリティクスで使用する分析手法の習得を目的に、回帰分析、時系列分析を理解し、データを使った分析ができるようになることを狙いとする。	・回帰分析、時系列分析について説明ができる。 ・統計解析ソフトを利用してデータ分析し報告書作成ができる。		◎	◎		○		○
	ソーシャルメディア論	M-INF205	200	講義	4	IT社会を生きる市民に必要なメディアの進展への能動的態度を育み、ソーシャルメディアに関する知見を広めることを目指す。	ソーシャルメディアの種類、コミュニケーションモデル、メディア史、認知心理、AISAS等の知識を理解する。	◎	○		◎		○	
	データベース論	M-INF206	200	講義 (実習付)	4	ビッグデータ時代のビジネスマンやデータサイエンティストに必須のDBとデータ分析の基礎的知識技能の習得を目指す。	DBの概要、量的・質的データ分析(統計、テキストマイニング、GTA等)等の基礎的知識技能を獲得できる。	○	◎	◎		○		○
	ウェブアプリ論	M-INF319	300	講義 (実習付)	4	インターネットとスマホ全盛時代のビジネスパーソンに必須のウェブやウェブアプリに関連する知識技能の習得を目指す。	ウェブの概要、コンテンツ制作、サーバ利用、アプリ制作(プログラミング)の基礎的知識技能を獲得する。	○	◎	◎		○		○

授業科目区分	授業科目名	科目コード ナンバリング	科目 種別	単位	1. 科目の目的	2. 科目の到達目標	3. ディプロマポリシー									
							DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6				
	企業情報システム論	M-INF301	300	講義	2	企業の仕事を効率的に行うために、情報システムがどのような機能を備え、役に立つか理解する。	情報システムが企業で利用されている実際の姿を知る。あわせて情報にかか		◎	◎						
データサイエンス分野（実践連携科目）	マーケティング・アナリティクス(MAP)実践Ⅰ	M-DSC301	300	講義 演習	4	マーケティング分野の経営問題に、データサイエンスを適用するために必要な知識について講義を受け、ビッグデータを用いて演習し、実践的な問題解決ができるようにする。	マーケティング分野の実践において必要な幅広い知識を習得すること、実際にビッグデータを処理、分析する経験を経て、問題解決の一連のアプローチを取得すること。		◎	◎						
	MAPプロジェクトⅠ	M-DSC302	300	演習	4	マーケティング分野でビッグデータを処理する必要がある経営問題を学生グループで、基礎的な知識をどのように応用するかを考えて、解決することを学ぶ。	マーケティング分野でデータサイエンスの基礎的な知識を実践に活用できるようにすること、問題解決におけるグループダイナミクスを理解すること。			◎					◎	
	マーケティング・アナリティクス(MAP)実践Ⅱ	M-DSC303	300	講義 演習	4	マーケティング分野の経営問題に、データサイエンスを適用するために必要な知識について講義を受け、ビッグデータを用いて演習し、実践的な問題解決ができるようにする。	マーケティング分野の実践において必要な幅広い知識を習得すること、実際にビッグデータを処理、分析する経験を経て、問題解決の一連のアプローチを取得すること。		◎	◎						
	MAPプロジェクトⅡ	M-DSC304	300	演習	4	マーケティング分野でビッグデータを処理する必要がある経営問題を学生グループで、基礎的な知識をどのように応用するかを考えて、解決することを学ぶ。	マーケティング分野でデータサイエンスの基礎的な知識を実践に活用できるようにすること、問題解決におけるグループダイナミクスを理解すること。			◎						◎
	ファイナンス・アナリティクス(FAP)実践Ⅰ	M-DSC305	300	講義 演習	4	ファイナンス分野の経営問題に、データサイエンスを適用するために必要な知識について講義を受け、ビッグデータを用いて演習し、実践的な問題解決ができるようにする。	ファイナンス分野の実践において必要な幅広い知識を習得すること、実際にビッグデータを処理、分析する経験を経て、問題解決の一連のアプローチを取得すること。		◎	◎						
	FAPプロジェクトⅠ	M-DSC306	300	演習	4	ファイナンス分野でビッグデータを処理する必要がある経営問題を学生グループで、基礎的な知識をどのように応用するかを考えて、解決することを学ぶ。	ファイナンス分野でデータサイエンスの基礎的な知識を実践に活用できるようにすること、問題解決におけるグループダイナミクスを理解すること。			◎						◎
	ファイナンス・アナリティクス(FAP)実践Ⅱ	M-DSC307	300	講義 演習	4	ファイナンス分野の経営問題に、データサイエンスを適用するために必要な知識について講義を受け、ビッグデータを用いて演習し、実践的な問題解決ができるようにする。	ファイナンス分野の実践において必要な幅広い知識を習得すること、実際にビッグデータを処理、分析する経験を経て、問題解決の一連のアプローチを取得すること。		◎	◎						
	FAPプロジェクトⅡ	M-DSC308	300	演習	4	ファイナンス分野でビッグデータを処理する必要がある経営問題を学生グループで、基礎的な知識をどのように応用するかを考えて、解決することを学ぶ。	ファイナンス分野でデータサイエンスの基礎的な知識を実践に活用できるようにすること、問題解決におけるグループダイナミクスを理解すること。			◎						◎
	サプライチェーン・アナリティクス(SAP)実践Ⅰ	M-DSC309	300	講義 演習	4	サプライチェーン・マネジメント分野の経営問題に、データサイエンスを適用するために必要な知識について講義を受け、ビッグデータを用いて演習し、実践的な問題解決ができるようにする。	サプライチェーン・マネジメント分野の実践において必要な幅広い知識を習得すること、実際にビッグデータを処理、分析する経験を経て、問題解決の一連のアプローチを取得すること。		◎	◎						
	SAPプロジェクトⅠ	M-DSC310	300	演習	4	サプライチェーン・マネジメント分野でビッグデータを処理する必要がある経営問題を学生グループで、基礎的な知識をどのように応用するかを考えて、解決することを学ぶ。	サプライチェーン・マネジメント分野でデータサイエンスの基礎的な知識を実践に活用できるようにすること、問題解決におけるグループダイナミクスを理解すること。			◎						◎
	サプライチェーン・アナリティクス(SAP)実践Ⅱ	M-DSC311	300	講義 演習	4	サプライチェーン・マネジメント分野の経営問題に、データサイエンスを適用するために必要な知識について講義を受け、ビッグデータを用いて演習し、実践的な問題解決ができるようにする。	サプライチェーン・マネジメント分野の実践において必要な幅広い知識を習得すること、実際にビッグデータを処理、分析する経験を経て、問題解決の一連のアプローチを取得すること。			◎						
	SAPプロジェクトⅡ	M-DSC312	300	演習	4	サプライチェーン・マネジメント分野でビッグデータを処理する必要がある経営問題を学生グループで、基礎的な知識をどのように応用するかを考えて、解決することを学ぶ。	サプライチェーン・マネジメント分野でデータサイエンスの基礎的な知識を実践に活用できるようにすること、問題解決におけるグループダイナミクスを理解すること。			◎						◎
	起業・社会・アナリティクス(ESAP)実践Ⅰ	M-DSC313	300	講義 演習	4	起業・社会インフラ分野の経営問題に、データサイエンスを適用するために必要な知識について講義を受け、ビッグデータを用いて演習し、実践的な問題解決ができるようにする。	起業・社会インフラ分野の実践において必要な幅広い知識を習得すること、実際にビッグデータを処理、分析する経験を経て、問題解決の一連のアプローチを取得すること。		◎	◎						
	ESAPプロジェクトⅠ	M-DSC314	300	演習	4	起業・社会インフラ分野でビッグデータを処理する必要がある経営問題を学生グループで、基礎的な知識をどのように応用するかを考えて、解決することを学ぶ。	起業・社会インフラ分野でデータサイエンスの基礎的な知識を実践に活用できるようにすること、問題解決におけるグループダイナミクスを理解すること。			◎						◎
	起業・社会・アナリティクス(ESAP)実践Ⅱ	M-DSC315	300	講義 演習	4	起業・社会インフラ分野の経営問題に、データサイエンスを適用するために必要な知識について講義を受け、ビッグデータを用いて演習し、実践的な問題解決ができるようにする。	起業・社会インフラ分野の実践において必要な幅広い知識を習得すること、実際にビッグデータを処理、分析する経験を経て、問題解決の一連のアプローチを取得すること。		◎	◎						
	ESAPプロジェクトⅡ	M-DSC316	300	演習	4	起業・社会インフラ分野でビッグデータを処理する必要がある経営問題を学生グループで、基礎的な知識をどのように応用するかを考えて、解決することを学ぶ。	起業・社会インフラ分野でデータサイエンスの基礎的な知識を実践に活用できるようにすること、問題解決におけるグループダイナミクスを理解すること。			◎						◎
基礎数学	M-SCI104	100	講義	2	データサイエンス手法の理解に必要な数学的能力の獲得を目的に、高校数学の範囲を理解し、演算できるようにすることを狙いとする。	・数列、極限の概念を理解し演算ができる。 ・微積分の演算ができる。 ・ベクトル、行列の演算ができる。	◎		◎							

授業科目区分	授業科目名	科目コード ナンバー	ナンバ リング	科目 種別 講義 演習 実習 PBL など	単位	1. 科目の目的 授業科目で何を目的に学修し、どのような内容の理解を狙いとするか。	2. 科目の到達目標 授業での教育・学修を通して学生がどのような学修成果の達成を目指し、何を到達目標とするか。	3. ディプロマポリシー						
								DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	
								ビジネスマインドを有した社会人としての活躍するための教養を身に付けている。	市場環境変化への適応において必要とされるICTを含む多様な専門知識を身に付けている。	主に市場環境変化に関するデータの収集・分析を行う上で、それをもとに論理的に思考し、市場問題の解決を実践的に図ることができる。	国内外のビジネスシーンにおいて、さまざまな文化や価値観を受け入れ、グローバルな視点から俯瞰的に考えることができること、他者と協働して、互いにコミュニケーションをとることができる。	市場を起点として、社会に関する関心と志を高くもち、社会に貢献する態度を有している。	ビジネスマインドを有した社会人としての責任感・倫理観をもち、勇気をもって、新しい可能性にチャレンジできる。	
専門 関連 科目	確率・統計	M-SCI105	100	講義	4	データサイエンス手法の理解に必要な数学的能力の獲得を目的に、確率と統計を理解し、演算できるようにすることを狙いとする。	・標準空間、確率、確率変数、確率密度関数、分布関数の概念の説明や演算ができる。 ・統計的推定、統計的仮検定の概念の説明や演算ができる。	◎		○	○			
	数学入門	M-SCI103	100	講義	4	集合と論理、いろいろな関数などについて学修し、それらがどのように利用されているのかを学ぶ。	体系的な知識を身につけ、意識しながら、その知識を利用できるようになる。	◎	◎	○			○	
	異文化ワークショップ	G-OHM129	100	講義	4	文化・異文化を扱う協働学習を通じてグローバル人材に必要なとされる異文化間能力の向上を目指す。	自らの考え方や感じ方を客観的に捉えながら文化を批判的に考察することで異文化に対する感受性を高める。	◎			◎	○		○
	社会史A	M-OHM101	100	講義	4	日本近世における都市の成立事情や基本構造、歴史的展開過程を紹介した上で、都市民衆世界の実態について学ぶ。	現代社会が抱える諸問題を発見しその解決を図るための基礎的な能力を養う。	◎	◎	○			○	
	社会史B	M-OHM102	100	講義	4	近世のヨーロッパ社会および東ヨーロッパを対象に総体としてのヨーロッパ世界を構成する諸要素を理解する。	政治・経済と社会の関係を理解し、政治・経済等の表裏的なで事象を掘り下げ、長い歴史によって培われてきたヨーロッパの深層を成す心性を理解できる。	◎	◎	○			○	
	金融リテラシー	M-ECN236	200	講義	2	標準的貯蓄・投資手段のリスク・リワード構造理解を通じて、金融市場におけるリスクリターンの特徴を身につけて、ビジネス社会で活躍するための金融リテラシー向上を目指す。	①標準的貯蓄・投資手段の現状及び過去パフォーマンスを観察することを通じ、リスク・リワードの座標軸を体得する。 ②投資の標準的スタイルを観察し、簡単な数値計算を行うことで、複利効果や分散効果等の意味・効果を理解できるようにする。 ③各種金融リスクの基本構造を、市場データや、簡単な計算事例等を通じて理解できるようにする。 ④「ワール」や投資許容度と、過去の極限的事象を学び、異常性を感知できるようにする。	◎	○	○			◎	
	金融/財務の実務的基礎	M-ECN238	200	講義	2	株主、経営者、債券投資家、各種金融機関の目的・行動原理に応じた金融・財務思考法の差異を理解していくことで、ビジネス・パーソンとしての金融/財務基礎力涵養を目指す。	①企業評価モデルを概観し、長期視野にわたる財務分析について理解する。長期的視点の取扱いと、市場参加者の対処についても理解できるようにする。 ②株主、経営者、債権者それぞれの目的、思考法、財務行動原理を理解できるようにする。 ③多様な債権・債務関係に対応した金融行動・信用分析を確認し、目的に応じた着眼点・評価期間の設定、ソリューションの選択肢を検討できるようにする。	◎	○	○			◎	
	環境問題とビジネス	M-MNG302	300	講義	2	環境問題が、企業活動にどのような影響を与えているのか、排出権ビジネスの浮き沈み、再生可能エネルギー・パワール・エコカー競争などのケースを通じて学修する。	企業の環境・エネルギー関連ビジネスについて、事業戦略・マーケティングを考える際の基本的な知識を習得する。	○			◎	◎		○
	交通論	M-ECN313	300	講義	4	交通が生み出す「社会的費用・公害」の特徴を学び、適切な分析手法とその抑制政策について学ぶ。	基礎的な経済学の理論から派生させ、交通システムに関し合理的な説明が可能になる。		○	◎			○	
	立地論	M-ECN337	300	講義	4	農業・鉱業・製造業、サービス業が、経済活動の場である立地をどう選択するか、経済地理学も応用し学修する。地理的な空間に加え、活動の「場」、空間・位置関係等も分析対象とする。	農業立地、工業立地、商業立地等の産業別立地に関する学修成果を報告できる。産業集積、空間経済、都市システムなどのテーマについて主体的学修・ディスカッションを通じて意見を言える。	◎	○	◎				
	ビジネス・ソリューション	M-MNG204	200	講義 (実習付)	4	実際の企業が抱えている経営課題に基づいて、様々な課題解決支援のツールを学び活用することを通じて、課題解決能力を高める	職業観を醸成すること、社会的ニーズの高い課題解決能力、プレゼンテーション能力およびコミュニケーション能力を高めること、学問横断的な知識の活用法を習得する。				◎	◎	○	○
	ビジネス英語	M-ENG203	200	講義	4	ビジネスで使う英語の特徴は何か、一般の英会話・英文読解・英語ライティングとの相違等を学習する。ビジネスの相手に、丁寧な表現・専門知識に基づく英語・複雑な内容を適切に伝えられる英語を学習する。	ビジネスには品格のある英語で相手の信頼を得る必要があるため、それと英語力の修得を目指す。ビジネスコミュニケーションに必要な適切な表現・専門性・正確さ・分かりやすさ等を備えた英語の基礎を修得する	◎			◎			○
	ビジネス中国語	M-CHN201	200	講義	4	中国の文化や商習慣等を勉強しながら、ビジネスにおいて必要とする実践的な中国語を学習する。	「契約・発注」などのビジネス文章から、お礼や年賀状など日常生活に欠かせない文章まで、様々な場面での表現をマスターできる。	◎	○		◎			○
	ビジネススペイン語	M-SPN201	200	講義	4	様々な分野のビジネスにおいて、どの場合にも共通するコミュニケーションの表現方法を学ぶ。	各場面に応じたビジネス表現を習得しスペイン語で円滑なコミュニケーションが取れる。	◎	○		◎			○
	スポーツ英語	M-ENG202	200	講義	2	スポーツと言う世界共通のエンターテインメントプログラムを教材にして親しみやすく分かり易い英語学習をする。	スポーツ関連の基本的な英文の読解、聴き取り・発話などの能力を身につけ、海外で活躍する選手が身につけておくべき英語力を涵養する。	◎			◎	○		○
	専門外国書研究(英語)	M-MNG314	300	講義	2	専門外国書(英語)の研究を行う。	専門外国書に基づいた研究を行うことができる。		◎	◎			○	○

授業科目 区分	授業科目名	科目コード ナンバー	ナンバ リング	科目 種別 講義 演習 実習 PBL など	単位	1. 科目の目的	2. 科目の到達目標	3. ディプロマポリシー					
								DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
	商学部特殊講義A	M-CME305	300	講義	2	授業科目で何を目的に学修し、どのような内容の理解を狙いとするか。	授業での教育・学修を通じて学生がどのような学修成果の達成を目指し、何を到達目標とするか。	ビジネスマインドを有した社会人として活躍するための教養を身に付けている。	市場環境変化への適応において必要とされるICTを含む多様な専門知識を身に付けている。	主に市場環境データに関するグローバルな視点から、俯瞰的に思考し、市場問題の解決に、他者と協働して、互いにコミュニケーションをとることができる。	国内外のビジネスシーンにおいて、さまざまな文化や価値観等の多様性を受け入れ、グローバルな視点から、俯瞰的に考えることができるとともに、他者と協働して、互いにコミュニケーションをとることができる。	市場を起点として、社会に関する関心と志を高くもち、社会に貢献する態度を有している。	ビジネスマインドを有した社会人としての責任感・倫理観を有し、勇気をもって、新しい可能性にチャレンジできる。
	商学部特殊講義B	M-CME306	300	講義	4	商学に関連するテーマを学ぶ。	商学に関する理解を深める。		◎	◎		○	○

商学部 経営学科 専門教育分野 TLO:Target and Learning Outcomes

授業科目区分	授業科目名	科目コード ナンバー	ナンバ リング	科目種別 講義 演習 実習 PBL など	単位	1. 科目の目的 授業科目で何を目的に学修し、どのような内容の理解を狙いとするか。	2. 科目の到達目標 授業での教育・学修を通じて学生がどのような学修成果の達成を目指し、何を到達目標とするか。	3. ディプロマポリシー					
								DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
専門 学 科 内 科 目	経営学概論	M-MNG102	100	講義	4	経営学とは何かを知り、経営学の基礎知識を習得することで企業経営についての理解を深めるための学修を行う。	経営学及び企業経営についての基礎知識の習得し、自分の意見を述べることができる。	◎		○		◎	○
	会計学概論	M-ACC104	100	講義	4	会計学を学ぶために、会計学の全体像を捉え、必要な基礎知識を幅広く得るための学修を行う。	会計情報が社会においてどのように役に立つのか、大きな見地から理解できる。	◎		○		◎	○
	情報社会と情報倫理	M-INF104	100	講義	2	高度情報社会とはどのような社会であるのか、その中で生じる情報倫理問題について学修する。	情報セキュリティや情報倫理に関する問題に正しい認識をした上でICTを健全に使いこなせる。	◎	◎			○	○
	機械学習	M-INF213	200	講義	4	機械学習手法の習得を目的に、代表的な手法を理解し、データを使った分析ができるようになることを狙いとする。	・クラスタリング、主成分分析などの代表的な機械学習手法について説明ができる。 ・統計解析ソフトを利用してデータ分析レポート作成ができる。		◎	◎		○	○
	情報処理論	M-INF105	100	講義	2	コンピュータをブラックボックスとするのではなく、中身の仕組みや動作原理について学修する。	ICTの健全な利用者(原理や仕組みを理解した上で、ICTを操作する者)になれる。	○	◎	◎	○		
マー ケ テ ィ ン グ 分 野	商学概論	M-CME102	100	講義	4	流通やマーケティングを勉強するための基礎科目として、商学の基礎を学修し、その全体像を把握するための学修を行う。	商業の仕組みが分かるようになり、これから始まる専門科目への学修意欲が一層高まる。	◎	○	○		◎	
	マーケティング論	M-CME209	200	講義	4	マーケティングに関する基礎的な知識を習得し、実務におけるさまざまなマーケティング課題に対する洞察力を養うための学修を行う。	新聞や雑誌で取り上げられるマーケティングに関する記事を読んで理解できる。		◎	○	○	◎	
	流通論	M-CME210	200	講義	4	流通についての基礎的な知識を学び、流通の仕組みや社会的な役割を理解して、実務の現場での対応能力を高める学修をする。	日々利用している流通業に対して興味や関心が持てるようになり、流通の変化と動向を理解することができる。	○		◎		○	
経 営 分 野	経営史	M-MNG101	100	講義	4	歴史的な事象を通じて、マネジメント(経営)の起源、環境変化、発展を具体的に理解する。	ビジネスや経済環境についての時事的な出来事も、歴史的な視点からコメント、評価できる。	◎		○		◎	○
	国際ビジネス論	M-MNG203	200	講義	4	この授業では、国境を越えて移動するモノ(財)、サービス、資本を研究対象とする。激動している現代世界の動きに注目し、グローバル経済の動向を規定している要因を分析する。それと同時にそのなかで企業の活動や経営を世界的な視野にたって研究する。	激変する国際環境下における企業経営態様やその変化を、具体的な実例を交えながら、理論と現状の両面にわたって考える。	◎		○		◎	
	経営管理論	M-MNG207	200	講義	4	経営管理の思想的側面と各理論が導き出した社会経済状況を学び、経営実践に必要な管理課題に対する問題解決能力を養う。	経営管理の理論発展に関わる時代背景・時代精神と共に、主要な論点と概念を理解し説明できる。	◎	○	○		◎	
	経営戦略論	M-MNG208	200	講義	4	「経営環境の分析」や「事業戦略の構築」の二部によって構成される。経営戦略の基本理念から始め、経営戦略を行うための様々な基本理論や知識を習得すること。	企業を取り巻く環境の変化を理解し、経営戦略の基本理論や戦略策定ツール(フレームワーク)を習得する。	◎	◎	○	○		
	制度と組織の経済学	M-MNG209	200	講義	4	経済システムにおけるルール、企業におけるマネジメントの分析的な概念について理解する。	制度的な思考が身につく。法律や行政、戦略や人材育成などの時事的な事象を分析できる。	◎	○	○		◎	
	中小企業論	M-MNG210	200	講義	4	中小企業の実態を理解し、中小企業を取巻く経済・社会環境などの課題に対して経営者がどのように解決策を立案すべきか、考え方を理解する。	中小企業の産業別の動向や経営分野別の課題を理解し、自分のことばで説明できる。	◎	○	◎		○	
	現代企業論	M-MNG211	200	講義	4	現代企業の骨格を形成する企業制度の理論的変遷と実態を理解する。	企業、特に株式会社の理論的・制度的な構造、意義とその実態を理解する。	◎	○	○		◎	
	人的資源管理論	M-MNG212	200	講義	4	組織の目標を達成するために、効果があり費用の少ない人的資源のマネジメントの方策を探る。	人的資源の企業の中での位置付けや役割を理解し、その適切な管理法を自ら探ることができる。	◎	○	○		◎	
	企業実践研究	M-MNG213	200	講義 (実習付)	2	企業の実例を素材とした、ケース・メソッドを用い、実例を分析することで企業研究の方法を学んでいく。	ディスカッションを通じてコミュニケーション能力や意思伝達能力等を目標とする。			◎	◎	○	○
	経営分析	M-MNG325	300	講義 (実習付)	4	会計情報を用いて企業を格付けする手法を学ぶ。	受講者自身が自主的に企業分析を行うことができるようになる技術習得する。		◎	◎	○	○	○
	リスクマネジメント論	M-MNG326	300	講義 (実習付)	4	リスクマネジメントの概念、体系を正しく理解し、日常生活(業務)に適用可能なリスクマネジメントの理論を学ぶ。	正しいリスクマネジメントの概念を習得する。		◎	◎	○	○	○
	経営組織論	M-MNG308	300	講義	4	経営学の体系に沿って管理組織に関する基本的な理論を学び、経営実践に必要な組織課題に対する問題解決能力を養う。	経営目的を達成するために管理と組織が一体となって発展してきたことが理解できるようになり、経営実践にも役立てられる。		◎	◎		○	○

授業科目区分	授業科目名	科目コード ナンバ	ナンバ リング	科目種別 講義 演習 PBL など	単位	1. 科目の目的 授業科目で何を目的に学修し、どのような内容の理解を狙いとすか。	2. 科目の到達目標 授業での教育・学修を通して学生がどのような学修成果の達成を目指し、何を到達目標とするか。	3. ディプロマポリシー					
								DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
								DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
生産管理論	M-MNG312	300	講義	4	生産管理の概要と生産計画、工程管理を中心に日本のものづくりの仕組みについて理解する。品質管理の仕組み、資材調達や外注管理、商品開発の仕組みについて理解する。	ものを作るとはどのようなことか、そしてどのような情報が必要なのかを理解し、自分のことが説明できる。	◎	◎	○	○	○	○	
	M-MNG301	300	講義	4	マネジメントに関する文化次元と共に、文化と関係するリーダーシップ理論を学ぶ。	経営活動の文化差理解と共に、ビジネスリーダーシップの主要な論点と概念を理解し説明できる。	◎	◎	◎	○	○	○	
	M-MNG315	300	講義	4	持続可能な成長と現在のグローバル社会の趨勢を踏まえ、多国籍企業における社会的責任、戦略展開を中心に学修を進めていく。	基本的な理論、概念を習得し、自分のことが説明できる。時々刻々と変化するグローバル経済社会情勢と多国籍企業活動との関連を理解できる。	◎	◎	◎	○	○	○	
	M-MNG305	300	講義	4	起業家やベンチャー企業に関わる具体的な事例紹介などを通じて、起業を取り巻く状況について理解を深める。また、実際のビジネスプランづくりにチャレンジすることで事業展開における論理的な考え方をまとめあげ力を身に付ける。	社会経済環境の変化・動向を著実に捉えつつ、これに呼応した柔軟かつ機動的なビジネスアイデアの発想とそのとりまどめができる能力の獲得と向上を目指すことで、将来の実社会でのビジネスにつなげる。	◎	◎	○	○	○	◎	
	M-MNG304	300	講義	4	企業評価の目的、方法、意味内容を理解し、実際への適応能力を修得する。	企業の実力を客観的に評価する能力を身に付け、その強み・弱みを理解する。	◎	◎	◎	○	○	○	
	M-HES400	400	講義	2	国内外のスポーツ組織の将来性・現状、情報等を理解し、スポーツ組織をどのようにマネジメントすべきかを考える。	スポーツ組織の運営や活動促進のために、必要とされる人材、期待される役割がどのようなものかを考察し、実践する能力を身に付ける。	◎	◎	◎	○	○	○	
ファイナンス分野	M-ECN111	100	講義	2	私たちの生活と金融とがどのような関わりを持っているのかを、身近な地方金融機関の実務者から学ぶ。	実際の業務を踏まえた地域金融機関の使命と役割への理解を深めることを目標とする。	◎	◎	◎	○	○	○	
	M-ECN109	100	講義	4	経済における金融の役割、経済の発展と金融がいかに関わるか、について基本的考えを学ぶ。	決済制度、投資と資本蓄積、マクロ経済と金融の関わり、金融市場の役割について理解を深める。	◎	◎	◎	○	○	○	
	M-ECN231	200	講義	4	ファイナンスについて学ぶ。	ファイナンスに関する理解を深める。	◎	○	○	◎	○	○	
	M-ECN234	200	講義	4	金融システムとして中央銀行を中心とした金融制度について基礎事項を学ぶ。	通貨決済制度、インフレーション、マクロ安定化政策としての金融政策を理解する。	◎	○	○	◎	○	○	
	M-ECN235	200	講義	4	国と国との間の金融取引を国際金融であり、国際金融ならではの概念や言葉の定義について学ぶ。	国際収支や為替レート、金融と関係のある範囲で実務取引についても理解する。	◎	○	○	◎	○	○	
	M-ECN330	300	講義	4	現代の経済には不可欠であるファイナンス・マーケット(金融市場)について理解を深めるための学修を行う。	企業と金融市場の関わり、金融取引におけるリスク、金融仲介、証券金流通市場について理解する。	◎	◎	◎	○	○	○	
経済分野	M-ECN105	100	講義	4	標準的な入門レベルの経済学としてミクロ経済学とマクロ経済学をコンパクトに解説。そして、経済統計といったビジネスでの活用に関連する基礎的な内容を理解する。	初級レベルの経済学を修得し、より上級レベルの学習やビジネスにつなげる。	◎	○	○	◎	○	○	
	M-ECN210	200	講義	4	現代の複雑な国際経済の構造について理解し、国際経済に関する重要記事を適切に理解することを目指す。	国際貿易論、国際金融論の基本的な内容を理解し、国際経済問題について貿易、国際金融の両面から、理論的ツールを用いて考察できる。	◎	○	○	◎	○	○	
	M-ECN211	200	講義	4	税制改革や財政赤字削減のような、重要な財政問題について、現状や歴史、より根本的・体系的な側面、解決策を学ぶ。	税制改革や財政赤字削減などについて、現状や歴史、経済学的な視点、解決策について、説明や判断ができるようになる。	◎	○	○	◎	○	○	
	M-ECN326	300	講義	4	経済理論をどのように経済データあるいは判例と結びつけて考えるかを学ぶ。	現実の経済について理論的かつ合理的な説明ができるような能力を身に付ける。	◎	◎	◎	○	○	○	
	M-ECN232	200	講義	4	社会経済システム論の基礎知識を学んだのち、進化論的な理論構成の可能性について検討する。	さまざまな社会現象・経済現象をシステム論的な観点から理解できるようにする。	◎	○	◎	○	○	○	
	M-ECN334	300	講義	4	経済学の視点から、福祉とは何か、所得格差と貧困、年金・医療等の社会保障、労働・雇用と生活水準、人間の安全保障などのテーマを学ぶ。	人間の経済活動と労働・所得・生活水準等の問題について主体的に学修し意見を述べることができ、他者と議論を行い、建設的な提言を行える。	◎	◎	◎	○	○	○	
	M-ECN233	200	講義	4	都市内の土地利用を取り巻く外部性(混雑、公害など)の内外部(解決)手法に関して理解を深める。	都市環境の改善のために何をすれば実現可能な対策になりうるかを考えられる。	◎	○	○	◎	○	○	
	M-ARS220	200	講義	4	中東を手掛かりに現代世界に大きな影響を与える社会・経済の動きとその背景を捉え、地域経済の特性と可能性を多角的に理解する。	中東地域に関する知識を習得し、異文化世界との共生力と多様性を活かす社会・経済のあり方を考えられるようになる。	◎	◎	○	○	○	○	
	M-ARS221	200	講義	4	人の移動を軸に、現代世界の都市化や地域の再編を理解し、地域をつくる多様な社会経済的仕組みとその課題・可能性を学修する。	人びとの生活の場から地域を理解し、地域に起こる諸問題・現象から社会経済的課題と可能性を理解し、説明できる。	◎	◎	○	○	○	○	

授業科目区分	授業科目名	科目コード ナンバー	ナンバ リング	科目種別 講義 演習 実習 PBL など	単位	1. 科目の目的 授業科目で何を目的に学修し、どのような内容の理解を狙いとするか。	2. 科目の到達目標 授業での教育・学修を通して学生がどのような学修成果の達成を目指し、何を到達目標とするか。	3. ディプロマポリシー							
								DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6		
								ビジネスマインドを有した社会人として活躍するための教養を身に付けている。	経営管理に必要なICTを含む多様な専門知識を身に付けている。	主に経営管理に関するデータを収集したうえで、それをもとに論理的に思考し、ビジネス上の問題の解決を実践的に図ることができる。	国内外のビジネスシーンにおいて、さまざまな文化や価値観等の多様性を受け入れ、グローバルな視点から俯瞰的に考えることができるとともに、他者と協働して、互いにコミュニケーションをとることができる。	経営を起点として、社会に対する関心と志を高くもち、社会に貢献する態度を有している。	ビジネスマインドを有した社会人としての責任感・倫理観をもち、新しい可能性にチャレンジできる。		
	地域経済社会事情(東アジア)	M-ARS222	200	講義	4	韓国社会が直面している諸課題について、ミクロ及びマクロ経済学の観点から理解する。	身近な経済トピックを中心に、韓国の経済問題を理解し、日韓経済関係の在り方について意見を述べる。								
法律分野	民法	M-LAW203	200	講義	4	民法について学ぶ。	民法に関する理解を深める。	◎	○	○			◎		
	会社法	M-LAW301	300	講義	4	会社法について学ぶ。	会社法に関する理解を深める。		◎	◎			○		○
	商取引法	M-LAW306	300	講義	4	商取引法について学ぶ。	商取引法に関する理解を深める。		◎	◎			○		○
会計分野	簿記	M-ACC101	100	講義	4	簿記や会計学を学んだことがない初学者を対象に、簿記・会計の基礎を学修することを目的とする。	基礎的な用語・計算の理解、日商簿記3級レベルの学修内容の理解ができる。	◎		○			◎		○
	デジタルビジネスとアカウントティング	M-ACC103	100	講義	4	標準的な入門レベルの会計学を、コンパクトに解説するアカウントティング概論。そして、デジタルビジネスや会計トピックといったビジネスでの活用に関連する基礎的な内容を理解する。	初級レベルの標準的な会計学を修得し、より上級レベルの学習やその他の分析ツールの活用、及びビジネスにつなげる。	◎	○	◎			○		
	簿記演習	M-ACC102	100	講義 (実習付)	2	初級レベルの商業簿記について、理解を深めるため、計算演習をおこなう。	日本商工会議所簿記検定試験3級程度の問題を独力で解ける。	◎		○			◎		○
	応用簿記	M-ACC206	200	講義	4	簿記の基礎を理解していることを前提に、より複雑な会計処理について学修する。	日商簿記2級レベルの商業簿記の学修内容を理解し、高度な内容の会計処理ができる。	◎	○	○			◎		
	工業簿記	M-ACC202	200	講義	4	簿記検定2級の工業簿記の試験範囲を網羅するとともに、実践的な工業簿記のあり方について学修する。	中級レベルの簿記検定の工業簿記に合格できる程度の知識を身につける。	◎	○	○			◎		
	応用簿記演習	M-ACC207	200	講義 (実習付)	2	中級レベルの商業簿記について、理解を深めるため、計算演習をおこなう。	日本商工会議所簿記検定試験2級程度の問題を独力で解ける。	◎		○			◎		
	工業簿記演習	M-ACC203	200	講義 (実習付)	2	中級レベルの工業簿記について、理解を深めるため、計算演習をおこなう。	日本商工会議所簿記検定試験2級程度の問題を独力で解ける。	◎	○	○			◎		
	財務会計論	M-ACC305	300	講義	4	会計の基礎的な知識を発展させ、わが国の財務会計に関する知識を広げ、深める。	財務会計全般を広く理解し、大学で会計学を学修した標準レベル以上に達する。		◎	◎			○		○
	財務分析論	M-ACC306	300	講義	4	会社の成績を表示している貸借対照表や損益計算書等の財務諸表の分析ができる簿記会計を学修する。	財務諸表を読む能力をためすビジネス会計検定試験の3級程度の知識を身につける。		◎	◎			○		○
	国際会計論	M-ACC304	300	講義	4	英文の財務諸表を意訳し、最新の国際的な会計とわが国の会計を比較し、理解する礎を築くこと。	統合化を目指す世界の会計を理解し、考え方を身につけて英文で財務諸表を読むための基礎を築く。		◎	◎			○		○
	原価計算論	M-ACC303	300	講義	4	原価計算は、原価数値を用いて、経営(経営者や管理者)に役立てるためのシステムであることを学ぶ。	学修のレベルは日商2級から1級の基礎程度の理解ができる。		◎	◎			○		○
	会計監査論	M-ACC301	300	講義	4	公認会計士の独占業務である会計監査につき、業務の必要性、仕事の内容などにつき学修する。	会計に限らず、会社の不正事件が今日多発化するなかで、不正防止のあるべき倫理観を体得できる。		◎	◎			○		○
	税務会計論	M-ACC308	300	講義	4	おもに日常生活に必要な法人税、所得税、相続・贈与税、消費税の基礎を学修することを目的とする。	銀行の初級行員を対象にした銀行業務検定試験の4級程度の知識を身につける。		◎	◎			○		○
	管理会計論	M-ACC302	300	講義	4	管理会計の概要を明らかにするとともに、具体的な管理会計手法を取り上げて、管理会計の理解を深める。	代表的な管理会計手法の利用方法およびその効果における概要を説明できる。		◎	◎			○		○
	ICT会計実務	M-ACC309	300	講義 (実習付)	2	パソコンの会計ソフトを利用した経理を体験し、学修した簿記と実際のギャップを埋める。	ソフトを使用した会計を体験し、大学で学修する簿記や会計理論が役立つと実感できるレベルに達する。		◎	◎		○		○	
情報学基礎	情報学基礎	M-INF102	100	講義	2	コンピュータを制御するソフトウェアの動作について学び、動作を記述するプログラムについて理解する。	ソフトウェアの構成について説明ができること、プログラムを記述し、コンピュータの基礎的な制御ができる。	◎		◎					○
	プログラミング	M-INF103	100	講義	4	データサイエンスの基礎課題を解決するための分析力と、その分析を実践するソフトウェアの開発スキルの獲得する。	機械学習の代表的手法の特徴を説明できること、Pythonによるプログラム化による分析ができる。	◎	○	◎					○
	ビッグデータマネジメント	M-INF214	200	講義	4	データサイエンスの実践に求められるデータの生成、管理、前処理を行うために必要となるデータベース、ウェブ、ネットワークサービスについて知識と、開発スキルを獲得する。	インターネットを利用したデータ収集と、データベース(MySQL)を用いたビッグデータの管理、データ前処理について設計、基本的なプログラム化ができる。		◎	◎					○
	データサイエンスプログラミング	M-INF216	200	講義	4	データの収集からデータサイエンス手法による可視化、課題解決までを統合して実践的課題解決の工程を学び、課題の分析と、開発スキルを獲得する。	これまでの科目と統合して、実践的なデータサイエンスの課題を各プロセスの設計、プログラム化によって課題を分析できる。		◎	◎			○		○
	ビジネス・アナリティクス	M-INF215	200	講義	4	ビジネスアナリティクスで使用する分析手法の習得を目的に、回帰分析、時系列分析を理解し、データを使った分析ができるようになることを狙いとする。	・回帰分析、時系列分析について説明ができる。 ・統計解析ソフトを利用してデータ分析し報告書作成ができる。		◎	◎			○		○

授業科目区分	授業科目名	科目コード ナンバー	ナンバ リング	講義 演習 実習 PBL など	単位	1. 科目の目的 授業科目で何を目的に学修し、どのような内容の理解を狙いとるか。	2. 科目の到達目標 授業での教育・学修を通じて学生がどのような学修成果の達成を目指し、何を到達目標とするか。	3. ディプロマポリシー						
								DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	
情報分野	ソーシャルメディア論	M-INF205	200	講義	4	IT社会を生きる市民に必要なメディアの進展への能動的態度を育み、ソーシャルメディアに関する知見を広めることを目指す。	ソーシャルメディアの種類、コミュニケーションモデル、メディア史、認知心理、AISAS等の知識を理解する。	◎	○		◎	○		
	データベース論	M-INF206	200	講義 (実習付)	4	ビッグデータ時代のビジネスマンやデータサイエンティストに必須のDBとデータ分析の基礎的知識技能の習得を目指す。	DBの概要、量的・質的データ分析(統計、テキストマイニング、GTA等)等の基礎的知識技能を獲得できる。	○	◎	◎		○		
	経営科学	M-INF202	200	講義 (実習付)	4	経営科学の実践的理論(統計分析、数理計画法、シミュレーションなど)を考察するとともに、Excel実習を通じて経営情報の処理方法を習得する。	経営科学の実践的理論および手法を理解し利用できるようにする。	○	◎	◎		○		
	プログラミング基礎	M-INF207	200	講義 (実習付)	4	問題解決方法やアルゴリズムについて、机上ではなく、プログラミング言語を用いて実験する。	アルゴリズムとはどういうものなのかを中心に、コンピュータを用いた問題解決技法を習得する。	○	◎	◎	○			
	ウェブアプリ論	M-INF319	300	講義 (実習付)	4	インターネットとスマホ全盛時代のビジネスパーソンに必須のウェブやウェブアプリに関連する知識技能の習得を目指す。	ウェブの概要、コンテンツ制作、サーバー利用、アプリ制作(プログラミング)の基礎的知識技能を獲得する。	○	◎	◎	○			
	企業情報システム論	M-INF301	300	講義	2	企業の仕事を効率的に行うために、情報システムがどのような機能を備え、役に立つか理解する。	情報システムが企業で利用されている実際の姿を知る。あわせて情報にかかる倫理観を身につける。		◎	◎		○		○
	ビジネスゲーム	M-INF302	300	講義 (実習付)	2	企業経営への理解を深め、データの分析能力を高めつつ、自分たちのアイデアや発想を生かす学びをする。	ビジネス・ゲーム(グループワーク)により企業の意思決定プロセス、結果の分析方法を理解する。	○	○	◎	◎			
	Rプログラミング	M-INF316	300	講義	2	統計解析に必要なプログラミング技法を習得することを目的に、データ処理方法や解析パッケージ利用方法を理解し、プログラム実装できるようになることを狙いとす。	Rを使った統計解析、グラフ作成ができる。 関数を自作し、一連のデータ処理、統計解析処理を自動化することができる。		◎	◎		○		○
	ウェブマイニング	M-INF317	300	講義	2	我々が日常で利用する自然言語をビッグデータとして取り扱うための処理プロセスの知識と、データサイエンス手法を適用する開発スキルを獲得する。	自然言語をビッグデータ化する知識とプログラム化ができる。これらを利用してデータサイエンス手法を適用して分析できる。		◎	◎	○	○		
	表計算プログラミング	M-INF303	300	講義 (実習付)	4	コンピュータプログラムの変数、条件分岐、繰り返しといった基本概念を応用できるよ学修する。	表計算ソフトのマクロ機能を使って小規模なプログラムの設計と実装ができる。	○		◎		○		
	問題解決技法	M-INF304	300	講義 (実習付)	4	ORの各技法の理解を通じて論理的な考え方と科学的な手法による数量的な意思決定を学ぶ	日程計画、線形計画法、回帰分析、待ち行列、シミュレーションといったORの代表的手法を理解する。	○	◎	◎	○			
データサイエンス分野 (実践)	マーケティング・アナリティクス(MAP)実践 I	M-DSC301	300	講義 演習	4	マーケティング分野の経営問題に、データサイエンスを適用するために必要な知識について講義を受け、ビッグデータを用いて演習し、実践的な問題解決ができるようにする。	マーケティング分野の実践において必要な幅広い知識を習得すること、実際にビッグデータを処理、分析する経験を経て、問題解決の一連のアプローチを取得すること。		◎	◎	○	○		
	MAPプロジェクト I	M-DSC302	300	演習	4	マーケティング分野でビッグデータを処理する必要のある経営問題を学生グループで、基礎的な知識をどのように応用するかを考えて、解決することを学ぶ。	マーケティング分野でデータサイエンスの基礎的な知識を実践に活用できるようになること、問題解決におけるグループダイナミクスを理解すること。			◎	◎	○		○
	マーケティング・アナリティクス(MAP)実践 II	M-DSC303	300	講義 演習	4	マーケティング分野の経営問題に、データサイエンスを適用するために必要な知識について講義を受け、ビッグデータを用いて演習し、実践的な問題解決ができるようにする。	マーケティング分野の実践において必要な幅広い知識を習得すること、実際にビッグデータを処理、分析する経験を経て、問題解決の一連のアプローチを取得すること。		◎	◎	○	○		
	MAPプロジェクト II	M-DSC304	300	演習	4	マーケティング分野でビッグデータを処理する必要のある経営問題を学生グループで、基礎的な知識をどのように応用するかを考えて、解決することを学ぶ。	マーケティング分野でデータサイエンスの基礎的な知識を実践に活用できるようになること、問題解決におけるグループダイナミクスを理解すること。			◎	◎	○		○
	ファイナンス・アナリティクス(FAP)実践 I	M-DSC305	300	講義 演習	4	ファイナンス分野の経営問題に、データサイエンスを適用するために必要な知識について講義を受け、ビッグデータを用いて演習し、実践的な問題解決ができるようにする。	ファイナンス分野の実践において必要な幅広い知識を習得すること、実際にビッグデータを処理、分析する経験を経て、問題解決の一連のアプローチを取得すること。		◎	◎	○	○		
	FAPプロジェクト I	M-DSC306	300	演習	4	ファイナンス分野でビッグデータを処理する必要のある経営問題を学生グループで、基礎的な知識をどのように応用するかを考えて、解決することを学ぶ。	ファイナンス分野でデータサイエンスの基礎的な知識を実践に活用できるようになること、問題解決におけるグループダイナミクスを理解すること。			◎	◎	○		○
	ファイナンス・アナリティクス(FAP)実践 II	M-DSC307	300	講義 演習	4	ファイナンス分野の経営問題に、データサイエンスを適用するために必要な知識について講義を受け、ビッグデータを用いて演習し、実践的な問題解決ができるようにする。	ファイナンス分野の実践において必要な幅広い知識を習得すること、実際にビッグデータを処理、分析する経験を経て、問題解決の一連のアプローチを取得すること。		◎	◎	○	○		
	FAPプロジェクト II	M-DSC308	300	演習	4	ファイナンス分野でビッグデータを処理する必要のある経営問題を学生グループで、基礎的な知識をどのように応用するかを考えて、解決することを学ぶ。	ファイナンス分野でデータサイエンスの基礎的な知識を実践に活用できるようになること、問題解決におけるグループダイナミクスを理解すること。			◎	◎	○		○
	サプライチェーン・アナリティクス(SAP)実践 I	M-DSC309	300	講義 演習	4	サプライチェーン・マネジメント分野の経営問題に、データサイエンスを適用するために必要な知識について講義を受け、ビッグデータを用いて演習し、実践的な問題解決ができるようにする。	サプライチェーン・マネジメント分野の実践において必要な幅広い知識を習得すること、実際にビッグデータを処理、分析する経験を経て、問題解決の一連のアプローチを取得すること。			◎	◎	○	○	

授業科目区分	授業科目名	科目コード ナンバリング	科目種別	単位	1. 科目の目的	2. 科目の到達目標	3. ディプロマポリシー						
							DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	
					授業科目で何を目的に学修し、どのような内容の理解を狙いとるか。	授業での教育・学修を通して学生がどのような学修成果の達成を目指し、何を到達目標とするか。	ビジネスマインドを有した社会人として活躍するための教養を身に付けている。	経営管理に必要なとされるICTを含む多様な専門知識を身に付けている。	主に経営管理に関するデータを収集したうえで、それをもとに論理的に思考し、ビジネス上の問題の解決を実践的に図ることができる。	国内外のビジネスシーンにおいて、さまざまな文化や価値観等の多様な視点から俯瞰的に考えることができるとともに、他者と協働して互いにコミュニケーションをとることができる。	経営を起点として、社会に対する関心と志を高くもち、社会に貢献する態度を有している。	ビジネスマインドを有した社会人としての責任感・倫理観を有し、新しい可能性にチャレンジできる。	
携 科 目)	SAPプロジェクト I	M-DSC310	300	演習	4	サプライチェーン・マネジメント分野でビッグデータを処理する必要がある経営問題を学生グループで、基礎的な知識をどのように応用するかを考えて、解決することを学ぶ。	サプライチェーン・マネジメント分野でデータサイエンスの基礎的な知識を実践に活用できるようになること、問題解決におけるグループダイナミクスを理解すること。			◎	◎	○	○
	サプライチェーン・アナリティクス(SAP)実践 II	M-DSC311	300	講義 演習	4	サプライチェーン・マネジメント分野の経営問題に、データサイエンスを適用するために必要な知識について講義を受け、ビッグデータを用いて演習し、実践的な問題解決ができるようになる。	サプライチェーン・マネジメント分野の実践において必要な幅広い知識を習得すること、実際にビッグデータを処理・分析する経験を経て、問題解決の一連のプロセスを取得すること。		◎	◎	○	○	○
	SAPプロジェクトII	M-DSC312	300	演習	4	サプライチェーン・マネジメント分野でビッグデータを処理する必要がある経営問題を学生グループで、基礎的な知識をどのように応用するかを考えて、解決することを学ぶ。	サプライチェーン・マネジメント分野でデータサイエンスの基礎的な知識を実践に活用できるようになること、問題解決におけるグループダイナミクスを理解すること。			◎	◎	○	○
	起業・社会・アナリティクス(ESAP)実践 I	M-DSC313	300	講義 演習	4	起業・社会インフラ分野の経営問題に、データサイエンスを適用するために必要な知識について講義を受け、ビッグデータを用いて演習し、実践的な問題解決ができるようになる。	起業・社会インフラ分野の実践において必要な幅広い知識を習得すること、実際にビッグデータを処理・分析する経験を経て、問題解決の一連のプロセスを取得すること。		◎	◎	○	○	○
	ESAPプロジェクト I	M-DSC314	300	演習	4	起業・社会インフラ分野でビッグデータを処理する必要がある経営問題を学生グループで、基礎的な知識をどのように応用するかを考えて、解決することを学ぶ。	起業・社会インフラ分野でデータサイエンスの基礎的な知識を実践に活用できるようになること、問題解決におけるグループダイナミクスを理解すること。			◎	◎	○	○
	起業・社会・アナリティクス(ESAP)実践 II	M-DSC315	300	講義 演習	4	起業・社会インフラ分野の経営問題に、データサイエンスを適用するために必要な知識について講義を受け、ビッグデータを用いて演習し、実践的な問題解決ができるようになる。	起業・社会インフラ分野の実践において必要な幅広い知識を習得すること、実際にビッグデータを処理・分析する経験を経て、問題解決の一連のプロセスを取得すること。		◎	◎	○	○	○
	ESAPプロジェクトII	M-DSC316	300	演習	4	起業・社会インフラ分野でビッグデータを処理する必要がある経営問題を学生グループで、基礎的な知識をどのように応用するかを考えて、解決することを学ぶ。	起業・社会インフラ分野でデータサイエンスの基礎的な知識を実践に活用できるようになること、問題解決におけるグループダイナミクスを理解すること。			◎	◎	○	○
専 門 関 連 科 目	基礎数学	M-SCI104	100	講義	2	データサイエンス手法の理解に必要な数学的能力の獲得を目的に、高校数学の範囲を理解し、演算できるようにすることを狙いとす。	・数列、極限の概念を理解し演算ができる。 ・微積分の演算ができる。 ・ベクトル、行列の演算ができる。	◎		○	○		
	確率・統計	M-SCI105	100	講義	4	データサイエンス手法の理解に必要な数学的能力の獲得を目的に、確率と統計を理解し、演算できるようにすることを狙いとす。	・標本空間、確率、確率変数、確率密度関数、分布関数の概念の説明や演算ができる。 ・統計的推定、統計的仮説検定の概念の説明や演算ができる。	◎		○	○		
	数学入門	M-SCI103	100	講義	4	集合と論理、いろいろな関数などについて学修し、それらがどのように利用されているのかを知る。	体系的な知識を身につけ、意識しながら、その知識を利用できるようになる。	◎	◎	○	○		
	異文化ワークショップ	G-OHM129	100	講義	4	文化・異文化を扱う協働学習を通じてグローバル人材に必要なとされる異文化間能力の向上を目指す。	自らの考え方や感じ方を客観的に捉えながら文化を批判的に考察することで異文化に対する感受性を高める。	◎			◎	○	○
	社会史A	M-OHM101	100	講義	4	日本近世における都市の成立事情や基本構造、歴史的展開過程を紹介した上で、都市民衆世界の実態について学ぶ。	現代社会が抱える諸問題を発見しその解決を図るための基礎的な能力を養う。	◎	◎		○	○	
	社会史B	M-OHM102	100	講義	4	近世の西ヨーロッパ社会および東ヨーロッパを対象に総体としてのヨーロッパ世界を構成する諸要素を理解する。	政治・経済と社会の関係を理解し、政治・経済等の表層的なでき事を振り下ろし、長い歴史によって培われてきたヨーロッパの深層を成す心性を理解できる。	◎	◎	○		○	
	金融リテラシー	M-ECN236	200	講義	2	標準的貯蓄・投資手段の現状及び過去パフォーマンスを観察することを通して、リスク・リワードの座標軸を体得する。 ②投資の標準的スタイルを観察し、簡単な数値計算を行うことで、複利効果や分散効果等の意味・効果を理解できるようにする。 ③各種金融リスクの基本構造を、市場データや、簡単な計算事例等を通じて理解・確認できるようにする。 ④ハブルや投資詐欺など、過去の極限的事象を学び、異常性を感知できるようにする。		◎	○	○		◎	
	金融/財務の実務的基礎	M-ECN238	200	講義	2	株主、経営者、債券投資家、各種金融機関の目的・行動原理に応じた金融・財務思考法の差異を理解していくことで、ビジネス・パーソンとしての金融/財務基礎力涵養を目指す。	①企業評価モデルを概観し、長期視野にたった財務分析について理解する。長期予測の限界と、市場参加者の対応についても理解できるようにする。 ②株主、経営者、債権者それぞれの目的・思考法、財務行動原理を理解できるようにする。 ③多様な債権・債務関係に対応した金融行動・信用分析を確認し、目的に応じた着眼点・予測期間の設定、ソリューションの選択肢を検討できるようにする。	◎	○	○	◎		
	環境問題とビジネス	M-MNG302	300	講義	2	環境問題が、企業活動にどのような影響を与えているのか、排出権ビジネスの浮き沈み・再生可能エネルギー・ハブル・エコカー競争などのケースを通して学修する。	企業の環境・エネルギー関連ビジネスについて、事業戦略・マーケティングを考える際の基本的な知識を習得する。	○			◎	◎	○

授業科目区分	授業科目名	科目コード ナンバー	ナンバ リング	科目種別 講義 演習 実習 PBL など	単位	1. 科目の目的	2. 科目の到達目標	3. ディプロマポリシー					
								DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
						授業科目で何を目的に学修し、どのような内容の理解を狙いとるか。	授業での教育・学修を通じて学生がどのような学修成果の達成を目指し、何を到達目標とするか。	ビジネスマインドを有した社会人として活躍するための教養を身に着けている。	経営管理に必要なとされるICTを含む多様な専門知識を身に着けている。	主に経営管理に関するデータを収集したうえで、それをもとに論理的に思考し、ビジネス上の問題の解決を実践的に図ることができる。	国内外のビジネスシーンにおいて、さまざまな文化や価値観等の多様性を受け入れ、グローバルな視点から俯瞰的に考えることができるとともに、他者と協働して、互いにコミュニケーションをとることができる。	経営を起点として、社会に対する関心と志を高くもち、社会に貢献する態度を有している。	ビジネスマインドを有した社会人としての責任感・倫理観を有し、勇気をもって、新しい可能性にチャレンジできる。
交通論	M-ECN313	300	講義	4	交通が生み出す「社会的費用・公害」の特質を学び、適切な分析手法とその抑制政策について学ぶ。	基礎的な経済学の理論から派生させ、交通システムに関し合理的な説明が可能になる。	◎	○	◎		○		
立地論	M-ECN337	300	講義	4	農業・鉱業・製造業、サービス業が、経済活動の場である立地をどう選択するか、経済地理学も応用し学修する。地理的な空間に加え、活動の「場」、空間・位置関係等も分析対象とする。	農業立地、工業立地、商業立地等の産業別立地に関する学修成果を報告できる。産業集積、空間経済、都市システムなどのテーマについて主体的学修・ディスカッションを通じて意見を言える。	◎	○	◎		○		
ビジネス・ソリューション	M-MNG204	200	講義 (実習付)	4	実際の企業が抱えている経営課題に基づいて、様々な課題解決支援のツールを学び活用することを通して、課題解決能力を高める	職業観を醸成すること、社会的ニーズの高い課題解決能力、プレゼンテーション能力およびコミュニケーション能力を高めること、学問横断的な知識の活用方法を習得する。			◎	◎	○	○	
ビジネス英語	M-ENG203	200	講義	4	ビジネスで使う英語の特徴は何か、一般の英会話・英文読解・英語ライティングとの相違等を学習する。ビジネスの相手に、丁寧な表現・専門知識に基づく英語・複雑な内容を適切に伝えられる英語を学習する。	ビジネスには品格のある英語で相手の信頼を得る必要がある。そうした英語力の修得を目指す。ビジネスコミュニケーションに必要な適切な表現・専門性・正確さ・分かりやすさ等を備えた英語の基礎を修得する	◎			◎	○	○	
ビジネス中国語	M-CHN201	200	講義	4	中国の文化や商習慣等を勉強しながら、ビジネスにおいて必要とする実践的な中国語を学習する。	「契約・発注」などのビジネス文章から、お礼や年賀状など日常生活に欠かせない文章まで、様々な場面で表現をマスターできる。	◎	○		◎		○	
ビジネススペイン語	M-SPN201	200	講義	4	様々な分野のビジネスにおいて、どの場合にも共通するコミュニケーションの表現方法を学ぶ。	各場面に応じたビジネス表現を習得しスペイン語で円滑なコミュニケーションが取れる。	◎	○		◎		○	
スポーツ英語	M-ENG202	200	講義	2	スポーツと言う世界共通のエンターテインメントプログラムを教材にして親しみやすく分かり易い英語学習をする。	スポーツ関連の基本的な英文の読解、聞き取り・発音などの能力を身につけ、海外で活躍する選手が身につけておくべき英語力を涵養する。	◎			◎	○	○	
専門外国書研究(英語)	M-MNG314	300	講義	2	専門外国書(英語)の研究を行う。	専門外国書に基づいた研究を行うことができる。		◎	◎		○	○	
商学部特殊講義A	M-CME305	300	講義	2	商学に関連するテーマを学ぶ。	商学に関する理解を深める。		◎	◎		○	○	
商学部特殊講義B	M-CME306	300	講義	4	商学に関連するテーマを学ぶ。	商学に関する理解を深める。		◎	◎		○	○	

経済学部 経済学科 現代経済専攻専攻 専門教育分野 TLO:Target and Learning Outcomes

科目区分 専門分野	授業科目名	科目コード ナンバー	ナン バ リ ン グ	科目 種 別	単 位	1. 科目の目的 授業科目で何を目的に学修し、どのような内容の理解を追いとするか。	2. 科目の到達目標 授業での教育・学修を通じて学生がどのような学修成果の達成を目指し、何を到達目標とするか。	3. ディプロマポリシー					
								DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
								経済社会のさまざまな現場において活躍するために幅広い分野の教養を身に付けている。	経済学およびその隣接学問分野に関する知識をもとに身に付けた情報・データを利用して、経済活動に関する制度や市場のメカニズムを理解している。	経済学およびその隣接学問分野に関する知識をもとに収集した情報・データを利用して、論理的に思考し、問題の解決を図ることができる。	内外における経済社会問題について、文化、価値観等の多様性に配慮して、グローバルな視点からバランスの取れた考え方を示すとともに、他者と協働して、互いにコミュニケーションをとることができる。	社会に対する関心と志を高くもち、身に付けた経済学的思考力を活かして社会に貢献する態度を有している。	社会人としての責任感・倫理観を有し、勇気をもって、経済社会分野を中心に新しい可能性にチャレンジができる。
演習・卒業論文	基礎演習	M-SEM201	200	演習	2	経済学や関連する分野の学修を通じて、経済・社会現象を的確に捉える。主体的・自律的な学修により、課題の発見・分析・問題解決の方法を学ぶ。	プレゼンテーションとディスカッションができるようになること、合わせて論理的思考方法に習熟することをめざす。	○	○	◎	◎	○	
	専門演習	M-SEM301	300	演習	2	各専門演習のテーマについて、主体的な学修を通じて、自らテーマ研究を行い、グループ学修や実践的学修を行い、専門知識の修得と総合的な学修能力を磨く。	自分のテーマを設定し、実態把握、課題発見、考察と分析の実施、意見・提言の取りまとめ等、総合的な学修・課題研究能力を身に付け、卒業論文の作成を行える。		◎	◎	○	○	○
	卒業研究	M-SEM401	400		4	4年間の学習成果を論文のかたちで集大成する。論文のテーマは専門演習において教員の指導のもとに各自選定する。	4年間知識として学習した成果を活用し、みずから設定した課題の解決に独自に取り組むことができるようになる。		◎	◎	○	○	
基礎	数学入門	M-SCI103	100	講義	4	くらしや仕事に役立つ数学の基本を確実に習得し、数値の適切な読み方、利用の仕方に習熟し、「数字に強くなる」ことを目指す。	高校までに学んだ数学の復習を行い、数式の必要性や意味が理解できる。専門科目の数学的説明に対する苦手意識をなくし、SPI等の問題を効率的に解くことができる。	○	○	◎			
	簿記	M-ACC101	100	講義	4	簿記や会計学を学んだことがない初学者を対象に、簿記・会計の基礎を学修することを目的とする。	基礎的な用語・計算の理解、日商簿記3級レベルの学修内容の理解ができる。	○	◎	○		○	
	現代の経済	M-ECN106	100	講義	4	入門レベルの経済学の知識を身に付けた人を対象に、それが内外における現実の経済問題を考える上でどのように役立つかを理解する。	日本や世界が現代において直面する様々な経済問題を理解し、簡単な分析ができるようになる。		○	○		◎	
	基礎ミクロ経済学	M-ECN107	100	講義	4	最適化行動と効率的な資源配分について、以下の内容を学ぶ。(1)消費者行動理論、(2)生産者行動理論、(3)市場メカニズムの働きと効率性、(4)独占の特徴、(5)寡占とゲーム理論。	(1)需要曲線の導出、(2)供給曲線の導出、(3)市場の働きと効率性の関係の理、(4)独占とは何かについての理解、(5)ゲーム理論を応用した寡占等の分析、ができる。		○	◎		○	
	基礎マクロ経済学	M-ECN108	100	講義	4	生産物市場、貨幣市場、労働市場の相互作用により生産、雇用、物価が決まる仕組みを単純なマクロモデルを通じて理解する。	マクロ経済学を現実の様々な経済問題に適用して考察することができ、経済社会に対する理解を深めることができる。		○	◎		○	
理論・戦略	ゲーム理論	M-ECN207	200	講義	4	ゲーム理論の基本的な2つの道具、(1)利得行列、(2)ゲームの木、を使いこなせるようになる。	ゲーム理論を用いて、与えられた問題を解けるようになる。現実の問題をゲーム理論の分析道具によって表現できる。		◎	○			○
	行動経済学Ⅰ	M-ECN209	200	講義	4	人間の判断と意思決定について、心理学・脳科学の知見を用いて「非合理的な人間の判断・リアルな意思決定」を分析する手法を学ぶ。	「非合理的な人間」の心理学・脳科学的アプローチを用いて「リアルな人間の意思決定」を理解し、自分自身の意思決定メカニズムを深く理解できる。		◎	◎		○	○
	ビジネスエコノミクスⅠ	M-ECN214	200	講義	2	企業を経済学という視点から捉え、企業成長・イノベーション等の企業行動・マネジメント等を理解する。	企業の事例研究を各自で行える。事例研究から、企業行動と経済・市場との関係、そして企業戦略・意思決定等について各自の意見を発信できる。		◎	○		◎	
	計量経済学	M-ECN206	200	講義	4	経済学の実証分析に用いられる計量経済学的方法論を学ぶ。同時に経済理論についての理解を深めるとともに、その検証方法をも身に付ける。	経済データを自ら収集、整理をしたらうえて、帰帰分析を中心とする実証分析ができる。		○	◎		○	◎
	経済データ	M-ECN225	200	講義	4	日本あるいは世界の経済に関するデータについて、それぞれの見方や意味、関連性などを学び、経済を理解するうえでのデータを理解する重要性について学ぶ。	様々な経済指標に関する基本的な知識を身に付け、それらの解釈ができるようになる。		○	◎		◎	○
	経済数学	M-ECN205	200	講義	4	高校までの数学を基礎に、初歩的な経済学で用いる数量分析の基礎を学ぶ。同時に経済理論の理解も深め、定量分析の意味を把握する。	因果関係や相互依存関係を線形代数や微分を用いて定式化する方法を体得し、経済学の入門書を支障なく読み進めることができる。		◎	○		○	○
	行動経済学Ⅱ	M-ECN314	300	講義	2	行動経済学Ⅰを基に発展的に、人間の判断と意思決定、心理学・脳科学の知見を用いて「非合理的な人間の判断・リアルな意思決定」を分析する手法をさらに深く学ぶ。	伝統的な経済学では説明しきれない現実の経済問題を自ら見つけ出し、行動経済学的接近を試みる手がさらなる学び。		◎	○		◎	
	ビジネスエコノミクスⅡ	M-ECN326	300	講義	2	ビジネスエコノミクスⅠの基礎の上に、企業を経済学という視点から捉え、企業成長・イノベーション等の企業行動・マネジメント等のテーマをさらに深く理解する。	企業の事例研究をより高いレベルで行える。事例研究から、企業行動と経済・市場との関係、そして企業戦略・意思決定等について高度な分析に基づき各自の意見を発信できる。		◎	○		◎	
	産業組織論	M-ECN357	300	講義	4	(1)産業組織論の基礎であるミクロ経済学、とくに競争と独占の理論の理解を深め、(2)市場における企業間の競争分析の方法を学び、(3)競争促進・独占禁止の政策を学修する。	(1)産業組織論の基礎である競争と独占の理論、(2)市場における企業間の競争、(3)競争促進・独占禁止の政策、以上のようなテーマについて、各自で学んだ成果を発信できる。		◎	○		○	◎
	応用ミクロ経済学	M-ECN363	300	講義	4	基礎ミクロ経済学で学んだ内容をもとに、ミクロ経済学に関するより発展的な内容について理解することを目的とする。	厚生経済学の基本定理、情報の経済学、市場の失敗等について、理論的な分析を行えるようになることを目標とする。		◎	◎		○	○
応用マクロ経済学	M-ECN364	300	講義	4	基礎マクロ経済学で学んだ内容をもとに、マクロ経済学に関するより発展的な内容について理解することを目的とする。	基礎マクロ経済学では扱えなかった経済成長論や景気循環理論などの動学的な分析を行えるようになることを目標とする。		◎	◎		○	○	

科目区分 専門分野	授業科目名	科目コード ナンバ	ナン バ リ ン グ	科目 種 別	単 位	1. 科目の目的 授業科目で何を目的に学修し、どのような内容の理解を追いとするか。	2. 科目の到達目標 授業での教育・学修を通じて学生がどのような学修成果の達成を目指し、何を到達目標とするか。	3. ディプロマポリシー						
								DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	
	マーケティング論	M-CME209	300	講義	4	マーケティングに関する基礎的な知識を習得し、実務におけるさまざまなマーケティング課題に対する洞察力を養うための学修を行う。	経済社会のさまざまな現場において活躍するために幅広い分野の教養を身に付けている。	○	○	○		◎		
	キャリア数学	C-SCI301	300	講義	4	社会人となった際、日々の業務の中で必要とされる数学の知識・技術を体得する。	ビジネスにおいて扱われる種々のデータに関し、数・データの意味を理解するとともに、その実践的な利用法を身に付ける。就職試験等で使われるSPI形式の問題にも対応できるようにする。	○			○	◎		○
ファイ ナ ン ス	金融論	M-ECN201	200	講義	4	金融理論の基礎知識を身に付け、日本の金融・経済の現状と将来展望、金融政策のあり方について学ぶ。	(1)金融経済の基礎知識獲得、(2)金融経済現象の分析、(3)金融政策・銀行の役割や業務、(4)新たな金融取引手法の理解、それらの内容を説明できる。			◎	◎	○	○	
	コーポレートファイナンス	M-ECN366	300	講義	4	企業活動に伴う資金調達・投資活動等に関し、現在価値の算出方法、資本コスト、ROE等の指標について理解する。	なぜビジネスを行うのか？企業価値とは何か？について、各自で学び、自分なりの答えを出すことができる。		◎	◎		○	○	
	ファイナンス特別演習Ⅰ	M-ECN229	200	演習	2	わが国の金融機関の概要、金融機関の業務、金融政策に関する基礎知識を学ぶ。	わが国金融の基礎について、自分の言葉で分かりやすく説明する力、また就職活動および実社会において必要なプレゼンテーション力を身に付ける。		◎	◎		○	○	
	ファイナンス特別演習Ⅱ	M-ECN332	300	演習	2	わが国の金融機関の概要、金融機関の業務、金融政策に関する基礎知識を理解し、わが国の金融サービス、金融政策などを学ぶ。	わが国金融の基礎について、自分の言葉で分かりやすく説明する力、また就職活動および実社会において必要なプレゼンテーション力を身に付ける。		◎	◎		○	○	
	ファイナンス特別演習Ⅲ	M-ECN365	300	演習	2	わが国の金融機関の業務・金融政策などに関する研究を通じて、金融機関のビジネスモデルなどの理解を深める。	わが国の金融機関・政策について、自分の言葉で分かりやすく説明する力、また就職活動および実社会において必要なプレゼンテーション力を身に付ける。		◎	◎		○	○	
	ファイナンス特別演習Ⅳ	M-ECN404	400	演習	2	わが国の金融問題を自ら発見し、課題を整理・分析し、金融政策に関する理解を更に深める。	わが国の金融機関・政策について、自分の言葉で詳しく説明する力、また就職活動および実社会において必要とされる高度なプレゼンテーション力を身に付ける。		◎	◎		○	○	
ファイ ナ ン ス 関 連 法	民法	M-LAW203	200	講義	4	民法等の私法の世界では、取引等の当事者間の関係を権利・義務（債権・債務）の関係として捉えることを理解したうえで、契約の締結をめぐる諸問題や不動産、不動産に関する権利の移転の仕組みを学ぶ。	契約や権利の移転に関する法的紛争が生じる際における当事者や第三者との利害対立の所在を理解し、それについてバランスのとれた見方を身に付ける。	○	◎			◎		○
	ビジネスと金融に関する法	M-LAW314	300	講義	4	株式会社の制度や金融取引・金融機関など金融の基本的な仕組みを法的観点から学ぶ。	企業に関わる法的問題を理解し、ビジネスに関する法的センスを身に付ける。		◎			◎	○	○
	税法	M-LAW307	300	講義	2	アルバイト給与や賞金等への所得税、毎日の生活に関わる消費税、毎年の会社決算に関わる法人税など、個人・法人の取引と税に関する学修。	(1)様々な税について正しく理解できる。(2)税に関する時事問題について、自分の考えを持つようになる。		◎			◎	○	○
国 際 経 済	国際経済学	M-ECN210	200	講義	4	現代の複雑な国際経済の構造について理解し、国際経済に関する重要記事を読みこなすことができるようになるための学修を行う。	国際貿易論、国際金融論の基本的な内容について理解し、さまざまな国際経済問題について貿易、国際金融の両面から、理論的ツールを用いて考察することができる。		◎	◎		○	○	
	世界経済論	M-ECN227	200	講義	4	グローバル化が進化する世界経済で、日本の経済が貿易や金融投資などを通じて外国とどのように繋がっているか、海外との取引や経済活動が私たちの生活にどのような影響を与えているのかを考察する。	(1)日本を取り巻く世界の経済の状況を概観できる(2)日本と世界の経済が直面する諸問題を理解する(3)日本と世界の経済の将来を展望できる。		○			◎		○
	国際金融論	M-ECN316	300	講義	4	国際通貨システムの歴史および理論について学び、基礎的な知識を習得する。	国際通貨システムの歴史を理解し、国際金融の理論について基礎的な内容を要約し、国際金融の特徴・問題点・対応策について議論できる。		◎	◎		○	○	
	国際貿易論	M-ECN317	300	講義	4	ミクロ経済学的应用分野としての貿易理論を理解し、現実的な国際貿易のあるべき姿を模索する。	現実に採用される各種貿易政策や貿易をめぐる合意事項について、国際貿易理論を踏まえて、自分の意見を述べる事ができる。		◎	◎		○	○	
	開発経済学	M-ECN304	300	講義	4	経済開発の諸理論を歴史的な視点から学び、実際の経済開発過程で生じる産業構造変化を産業連関表を利用して分析する。	開発経済学の歴史について基礎的な知識を身に付ける。開発途上国の経済発展に関する様々なテーマを実証的に分析し、自分の意見を述べる事ができる。		◎			◎		○
	多国籍企業論	M-MNG315	300	講義	4	21世紀の国際経済社会の問題、課題を理解し、経済潮流を踏まえ、多文化世界での多国籍企業活動、特に日系多国籍企業の備える特性とその活動を通して、その在り方を考究する。	社会的責任の時代において、成長の牽引役となる新興国を巻き込みつつ、経済潮流の主体として活動する、国家と比肩し得る程の影響力を持った多国籍企業について考究する。		◎			◎		○
国際政治学	M-POL201	200	講義	4	「国際社会の紛争と協調」について、基本的な捉え方、歴史的な背景、今日の諸課題をとりあげて、国際政治の知見を深める。	(1)国際政治の多様な考え方を理解し、それらを組み合わせた分析をできるようにする。(2)地域の諸問題を国際的な視野の中で捉え、両者の相互作用を説明できるようにする。(3)さまざまな社会現象を多角的に考察し、バランスのとれた提言をできるようにする。	○				◎	○	◎	

科目区分 専門分野	授業科目名	科目コード ナンバリング	ナン バ リ ン グ	科目 種別	単 位	1. 科目の目的 授業科目で何を目的に学修し、どのような内容の理解を追いとするか。	2. 科目の到達目標 授業での教育・学修を通じて学生がどのような学修成果の達成を目指し、何を到達目標とするか。	3. ディプロマポリシー						
								DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	
国際政治等	中東の政治と外交	M-ARS219	200	講義	4	現代の中東地域諸国の国内情勢、中東地域政治、および中東地域に関する域外大国の政策について包括的に考察する。	複雑な現代中東地域政治の基本的構造を理解することでニュース等報道される中東情勢について関心を持つような知識を習得する。	○					○	◎
	国際法	M-LAW201	200	講義	4	国際法の全体像をつかみ、国際社会で起こっていることを法的な側面から捉え、国際社会の平和や将来像について考える。	(1) 国際法の基本的な概念や用語を理解し、説明できる。(2) 国際社会における出来事を法的側面からも考えられる(3) 国際社会への関心を自ら深める。	○			◎		○	○
	国際関係論	M-IRE310	300	講義	4	国際関係にかかわる現代の様々な論争のイシューに関して、具体的かつ詳細に議論する。	複雑な国際情勢を作り出す様々なイシューに関して、自分の立ち位置を見極め、極論を排して最も妥当な形で解決策を模索する姿勢を身につける。				◎		○	◎
	国際経済法	M-LAW305	300	講義	2	(1)国際経済法(特に貿易に関する規則群)の基本的な概念や用語を理解する。 (2)国際社会で出来事について、法的な側面から考える。	(1)国際経済法に関し、各自の目標を設定し主体的に学修ができる。 (2)経済・貿易に関する法律、人権や環境問題に係わる法律など、幅広く多面的に理解できる。		○		◎		○	○
地域・公共	公共経済学	M-ECN208	200	講義	4	公共経済学としての重要な課題として、経済活動に関する市場の役割と限界、市場制度を補完するための公共部門・政府の役割、市場の失敗と政府の失敗等を学ぶ。	(1)市場機構のメリットとデメリット、(2)市場を補完する政府の役割、(3)市場の失敗と政府の失敗、(4)公共経済問題の本質・解決方法について理解し、現実の問題につき実践的な解決策を議論できる。		◎	○			◎	○
	財政学	M-ECN211	200	講義	4	税制改革や財政赤字削減のような、政府に関わる重要な財政問題について、現状や歴史、より根本的・体系的な側面、解決策を学ぶ。	税制改革や財政赤字削減などについて、現状や歴史、経済学的な視点、解決策について、説明や判断ができる。		◎	○			◎	○
	地域経済論	M-ECN213	200	講義	4	国民経済とそれを構成する地域経済について学び、高度な相互依存性をもつ地域同士の経済関係が国民経済全体とどのような関係を持ち、国際分業にどのように参加しているかを学修する。	実際に現場で使われている経済理論の有用性を体感することを到達目標とする。地域のニュースや開発計画などに触れ、自分の意見を持つ。		◎	◎			○	○
	地域デザイン	M-ARS208	200	講義	2	少子高齢化、グローバル化等地域が直面する課題を多様な視点から考察。自治体、企業、住民等が強みをいかし利害調整しながらゆたか地域をみだそうとする姿を知り、その成果を活用できるよう準備する。	地域の在るべき姿を自分の言葉で描き出し、その実現に向けて必要な方策を打ち出すことができる。			○	◎		○	○
	経済政策論	M-ECN310	300	講義	4	ミクロ経済学およびマクロ経済学の基本的な理解を前提として、経済政策の手段と効果について、主として理論的な観点から分析を行う。	ミクロ経済学およびマクロ経済学の基本的理解、およびそれらを用いての現実の経済政策の評価の手法を習得する。		◎	○			◎	
	日本経済論	M-ECN326	300	講義	4	日本経済の現実に照し、実際に採用された経済政策に関して、既存の経済理論との関係を確認し、その成否を経済データを用いて検証する。	日本経済の特徴について、経済政策との関連で実証結果を用いて合理的に説明ができる。		○	◎		○		○
	環境経済学	M-ECN361	300	講義	4	グローバルな環境問題を取り上げ、環境経済学の基本概念を分かりやすく学び、外部性、環境の経済評価、持続可能な発展を中心に理解を深める。	現代の環境経済学の基礎概念・分析方法を理解し、環境の経済評価の手法を修得し、持続可能な経済発展について自分の意見を述べる事ができる。		○	○			◎	○
	都市の経済学	M-ECN325	300	講義	4	都市経済に関する基礎的な専門知識を講義したのち、課題解決型学習(PBL)として、都市・都市圏の魅力度ランキングをチームで作成する。ランキング作成を通して、都市・都市圏とは何か、魅力とは何か等について、総合的に考察する。	経済社会の一員として求められる経済学の考え方を活用し、都市及び都市圏について比較考察することができる。			○			◎	○
	労働経済学	M-ECN359	300	講義	4	労働市場の特徴を学び、日本の賃金決定システムについて理解を深め、賃金を決定する要因を説明する理論を学修する。	賃金決定理論や社会制度を理解し、新聞や雑誌などの情報を理解できる。また雇用制度や年金制度の変遷など労働環境を取り巻く制度と現状を知り判断できる。		○			◎	◎	○
	現代の労働法と労働政策	M-LAW312	300	講義	4	日本や海外での雇用関係(働くこと、人を使うこと)における現代的な課題を理解するために、労働法と労働政策の基本と活用についての視点と知識を学ぶ。	労働法と労働政策の基本的な考え方と内容を理解し、社会に出て、日本あるいはアジアなど海外で仕事をするとき直面するかもしれない問題に対し、それらの法律と政策を検討し活用するための視点と知識を持つようになる。		○			◎	○	○
	地方財政	M-ECN324	300	講義	2	地方財政に関する基礎的な知識を習得し、その現状と課題を学ぶ。地方財政の問題を解決するための政策を理解する。	地方財政の現状と課題を、自分の言葉で説明できるようになる。地域で生きる社会人(公務員だけではない)にとって必要な知識を修得できる。			◎	◎		○	
	行政法	M-LAW310	300	講義	4	行政法の基礎を理解し、身近で重要な法律の一つである「行政法」に関する具体的なケースを取り上げて学ぶ。	行政法が私たちの実際の生活とどのように関係し、人々の生活や行動と結びついているのかを説明できる。		○			◎	○	○
	スポーツと法	M-LAW202	200	講義	2	スポーツに対する法律の関わり方に関する基礎的な知識を得る。	スポーツにおける法律の関わり方を知り、スポーツのルールや法律の機能について理解できる。	○					◎	◎
スポーツの歴史と文化	M-SOC209	200	講義	4	スポーツを一つの文化として捉え、それが近現代社会のなかでどのような歴史を経て人びとに受け入れられてきたかを理解し、そこから自分の言葉で今後のスポーツのあり方を考えていくことができるようになる。	近現代社会において、スポーツがいつ頃からいかに受容されたのか、その過程でどのような軋轢や抵抗、また進歩や発展が示されたのか、従来からある価値意識とどのように融合してスポーツが展開してきたのかを理解し、それを踏まえて、将来のスポーツのあり方を自分で考えられるようになる。	○	○					◎	

経済学部 経済学科 ビジネスエコノミクス専攻 専門教育分野 TLO:Target and Learning Outcomes

科目区分 専門分野	授業科目名	科目コード ナンバ ー	ナン バ リ ン グ	科目 種別	単 位	1. 科目の目的 授業科目で何を目的に学修し、どのような内容の理解を狙いとするか。	2. 科目の到達目標 授業での教育・学修を通じて学生がどのような学修成果の達成を目指し、何を到達目標とするか。	3. ディプロマポリシー					
								DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
								経済社会のさまざまな現場において活躍するために幅広い分野の教養を身に付けている。	経済学に関する専門知識を身に付け、戦略的な観点から経済活動に関する制度や市場のメカニズムを理解することができる。	経済学に関する知識をもとに収集した情報・データを利用して、最適な企画を立案し、問題解決につなげることができる。	内外における経済社会問題について、文化、価値観等の多様性に配慮して、グローバルな視点からバランスの取れた考え方を示すとともに、語学力を高めることで、他者と協働して、互いにコミュニケーションをとることができる。	社会に対する関心と志を高くもち、身に付けた経済学的思考力を活かして社会に貢献する態度を有している。	社会人としての責任感・倫理観を有し、勇気をもって、経済社会分野を中心に新しい可能性にチャレンジができる。
演習・卒業論文	基礎演習	M-SEM201	200	演習	2	経済学や関連する分野の学修を通じて、経済・社会現象を的確に捉える。主体的・自律的な学修により、課題の発見・分析・問題解決の方法を学ぶ。	プレゼンテーションとディスカッションができるようになること、合わせて論理的思考方法に習熟することをめざす。	○	○	◎	◎	○	
	専門演習	M-SEM301	300	演習	2	各専門演習のテーマについて、主体的な学修を通じて、自らテーマ研究を行い、グループ学修や実践的学修を行い、専門知識の修得と総合的な学修能力を磨く。	自分のテーマを設定し、実態把握、課題発見、考察と分析の実施、意見・提言の取りまとめ等、総合的な学修・課題研究能力を身に付け、卒業論文の作成を行える。		◎	◎	○	○	○
	卒業研究	M-SEM401	400		4	4年間の学習成果を論文のかたちで集大成する。論文のテーマは専門演習において教員の指導のもとに各自選定する。	4年間知識として学習した成果を活用し、みずから設定した課題の解決に独自に取り組むことができるようになる。		◎	◎	○	○	
基礎	数学入門	M-SCI103	100	講義	4	くらしや仕事に役立つ数学の基本を確実に習得し、数値の適切な読み方、利用の仕方に習熟し、「数学に強くなる」ことを目指す。	高校までに学んだ数学の復習を行い、数式の必要性や意味が理解できる。専門科目の数学的説明に対する苦手意識をなくし、SPI等の問題を効率良く解くことができる。	○	○	◎			
	簿記	M-ACC101	100	講義	4	簿記や会計を学んだことがない初学者を対象に、簿記・会計の基礎を学修することを目的とする。	基礎的な用語・計算の理解、日商簿記3級レベルの学修内容の理解ができる。	○	◎	○		○	
	現代の経済	M-ECN106	100	講義	4	入門レベルの経済学の知識を身に付けた人を対象に、それが内外における現実の経済問題を考える上でどのように役立つかを理解する。	日本や世界が現代において直面する様々な経済問題を理解し、簡単な分析ができるようになる。		○	○		◎	
	基礎ミクロ経済学	M-ECN217	100	講義	4	最適化行動と効率的な資源配分について、以下の内容を学ぶ。(1) 消費者行動理論、(2) 生産者行動理論、(3) 市場メカニズムの働きと効率性、(4) 独占の特徴、(5) 寡占とゲーム理論。	(1)需要曲線の導出、(2)供給曲線の導出、(3)市場の働きと効率性の関係の理、(4)独占とは何かについての理解、(5)ゲーム理論を応用した寡占等の分析、ができる。		○	◎		○	
	基礎マクロ経済学	M-ECN216	100	講義	4	生産物市場、貨幣市場、労働市場の相互作用により生産、雇用、物価が決まる仕組みを単純なマクロモデルを通じて理解する。	マクロ経済学を現実の様々な経済問題に適用して考察することができ、経済社会に対する理解を深めることができる。		○	◎		○	
理論・戦略	ゲーム理論	M-ECN207	200	講義	4	ゲーム理論の基本的な2つの道具、(1)利得行列、(2)ゲームの木、を使いこなせるようになる。	ゲーム理論を用いて、与えられた問題を解けるようになる。現実の問題をゲーム理論の分析道具によって表現できる。		◎	○			○
	行動経済学Ⅰ	M-ECN209	200	講義	4	人間の判断と意思決定について、心理学・脳科学の知見を用いて「非合理的な人間の判断・リアルな意思決定」を分析する手法を学ぶ。	「非合理的な人間」の心理学・脳科学的アプローチを用いて「リアルな人間の意思決定」を理解し、自分自身の意思決定メカニズムを深く理解できる。		◎	◎		○	○
	ビジネスエコノミクスⅠ	M-ECN214	200	講義	2	企業を経済学という視点から捉え、企業成長・イノベーション等の企業行動・マネジメント等を理解する。	企業の事例研究を各自で行える。事例研究から、企業行動と経済・市場との関係、そして企業戦略・意思決定等について各自の意見を発信できる。		◎	○		◎	
	計量経済学	M-ECN206	200	講義	4	経済学の実証分析に用いられる計量経済学的方法論を学ぶ。同時に経済理論についての理解を深めるとともに、その検証方法をも身に付ける。	経済データを自ら収集、整理をしたうえで、回帰分析を中心とする実証分析ができる。		○	◎		○	◎
	経済データ	M-ECN225	200	講義	4	日本あるいは世界の経済に関するデータについて、それぞれの見方や意味、関連性などを学び、経済を理解するうえでのデータを理解する重要性について学ぶ。	様々な経済指標に関する基本的な知識を身に付け、それらの解釈ができるようになる。		○	◎		◎	○
	経済数学	M-ECN205	200	講義	4	高校までの数学を基礎に、初歩的な経済学で用いる数量分析の基礎を学ぶ。同時に経済理論の理解も深め、定量分析の意味を把握する。	因果関係や相互依存関係を線形代数や微分を用いて定式化する方法を体得し、経済学の入門書を支障なく読み進めることができる。		◎	○		○	○
	行動経済学Ⅱ	M-ECN314	300	講義	2	行動経済学Ⅰを基に発展的に、人間の判断と意思決定、心理学・脳科学の知見を用いて「非合理的な人間の判断・リアルな意思決定」を分析する手法をさらに深く学ぶ。	伝統的な経済学では説明しきれない現実の経済問題を自ら見つけ出し、行動経済学的接近を試みることができる。		◎	○		◎	
	ビジネスエコノミクスⅡ	M-ECN328	300	講義	2	ビジネスエコノミクスⅠの基礎の上に、企業を経済学という視点から捉え、企業成長・イノベーション等の企業行動・マネジメント等のテーマをさらに深く理解する。	企業の事例研究をより高いレベルで行える。事例研究から、企業行動と経済・市場との関係、そして企業戦略・意思決定等について高度な分析に基づき各自の意見を発信できる。		◎	○		◎	
	産業組織論	M-ECN319	300	講義	4	(1)産業組織論の基礎であるミクロ経済学、とくに競争と独占の理論の理解を深め、(2)市場における企業間の競争分析の方法を学び、(3)競争促進・独占禁止の政策を学修する。	(1)産業組織論の基礎である競争と独占の理論、(2)市場における企業間の競争、(3)競争促進・独占禁止の政策、以上のようなテーマについて、各自で学んだ成果を発信できる。		◎	○		○	◎
	応用ミクロ経済学	M-ECN363	300	講義	4	基礎ミクロ経済学で学んだ内容をもとに、ミクロ経済学に関するより発展的な内容について理解することを目的とする。	厚生経済学の基本定理、情報の経済学、市場の失敗等について、理論的な分析を行えるようになることを目標とする。		◎	◎		○	○
応用マクロ経済学	M-ECN364	300	講義	4	基礎マクロ経済学で学んだ内容をもとに、マクロ経済学に関するより発展的な内容について理解することを目的とする。	基礎マクロ経済学では扱えなかった経済成長論や景気循環理論などの動的な分析を行えるようになることを目標とする。		◎	◎		○	○	

科目区分 専門分野	授業科目名	科目コード ナンバー	ナン バ リ ン グ	科目 種別	単位	1. 科目の目的 授業科目で何を目的に学修し、どのような内容の理解を望むとするか。	2. 科目の到達目標 授業での教育・学修を通じて学生がどのような学修成果の達成を目指し、何を到達目標とするか。	3. ディプロマポリシー						
								DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	
	マーケティング論	M-CME315	300	講義	4	マーケティングに関する基礎的な知識を習得し、実務におけるさまざまなマーケティング課題に対する洞察力を養うための学修を行う。	新聞や雑誌で取り上げられるマーケティングに関する記事を読んで理解できる。	○	○	○		◎		
	キャリア数学	C-SCI301	300	講義	4	社会人となった際、日々の業務の中で必要とされる数学の知識・技術を体得する。	ビジネスにおいて扱われる種々のデータに関し、数・データの意味を理解するとともに、その実践的な利用法を身に付ける。就職試験等で使われるSPI形式の問題にも対応できるようにする。	○		○		◎		○
ファイナンス	金融論	M-ECN201	200	講義	4	金融理論の基礎知識を身に付け、日本の金融・経済の現状と将来展望、金融政策のあり方について学ぶ。	(1)金融経済の基礎知識獲得、(2)金融経済現象の分析、(3)金融政策・銀行の役割や業務、(4)新たな金融取引手法の理解、それらの内容を説明できる。		◎	◎	○	○		
	コーポレートファイナンス	M-ECN315	300	講義	4	企業活動に伴う資金調達・投資活動等に関し、現在価値の算出方法、資本コスト、ROE等の指標について理解する。	なぜビジネスを行うのか？企業価値とは何か？について、各自で学び、自分なりの答えを出すことができる。		◎	◎	○	○		
	ファイナンス特別演習Ⅰ	M-ECN331	200	演習	2	わが国の金融機関の概要、金融機関の業務、金融政策に関する基礎知識を学ぶ。	わが国金融の基礎について、自分の言葉で分かりやすく説明する力、また就職活動および実社会において必要なプレゼンテーション力を身に付ける。		◎	◎	○	○		
	ファイナンス特別演習Ⅱ	M-ECN332	300	演習	2	わが国の金融機関の概要、金融機関の業務、金融政策に関する基礎知識を理解し、わが国の金融サービス、金融政策などを学ぶ。	わが国金融の基礎について、自分の言葉で分かりやすく説明する力、また就職活動および実社会において必要なプレゼンテーション力を身に付ける。		◎	◎	○	○		
	ファイナンス特別演習Ⅲ	M-ECN403	300	演習	2	わが国の金融機関の業務・金融政策などに関する研究を通じて、金融機関のビジネスモデルなどの理解を深める。	わが国の金融機関・政策について、自分の言葉で分かりやすく説明する力、また就職活動および実社会において必要なプレゼンテーション力を身に付ける。		◎	◎	○	○		
	ファイナンス特別演習Ⅳ	M-ECN404	400	演習	2	わが国の金融問題を自ら発見し、課題を整理・分析し、金融政策に関する理解を更に深める。	わが国の金融機関・政策について、自分の言葉で詳しく説明する力、また就職活動および実社会において必要とされる高度なプレゼンテーション力を身に付ける。		◎	◎	○	○		
ファイナンス関連法	民法	M-LAW203	200	講義	4	民法等の私法の世界では、取引等の当事者間の関係を権利・義務（債権・債務）の関係として捉えることを理解したうえで、契約の締結をめぐる諸問題や動産、不動産に関する権利の移転の仕組みを学ぶ。	契約や権利の移転に関する法的紛争が生じる際における当事者や第三者との利害対立の所在を理解し、それについてバランスのとれた見方を身に付ける。	○	◎		◎			○
	ビジネスと金融に関する法	M-LAW314	300	講義	4	株式会社や金融取引・金融機関など金融の基本的な仕組みを法的観点から学ぶ。	企業に関わる法的問題を理解し、ビジネスに関する法的センスを身に付ける。		◎		◎	○	○	○
	税法	M-LAW307	300	講義	2	アルバイト給与や賞金等への所得税、毎日の生活で関わる消費税、毎年の会社決算に関わる法人税など、個人・法人の取引と税に関して学ぶ。	(1)様々な税について正しく理解できる。(2)税に関する時事問題について、自分の考えを持てるようになる。		◎		◎	○	○	○
国際経済	国際経済学	M-ECN210	200	講義	4	現代の複雑な国際経済の構造について理解し、国際経済に関する重要記事を読みこなすことができるようになるための学修を行う。	国際貿易論、国際金融論の基本的な内容について理解し、さまざまな国際経済問題について貿易、国際金融の両面から、理論的ツールを用いて考察することができる。		◎	◎	○	○		
	世界経済論	M-ECN227	200	講義	4	グローバル化が進化する世界経済で、日本の経済が貿易や金融投資などを通じて外国とどのように繋がっているか、海外との取引や経済活動が私たちの生活にどのような影響を与えているのかを考察する。	(1)日本を取り巻く世界の経済の状況を概観できる(2)日本と世界の経済が直面する諸問題を理解する(3)日本と世界の経済の将来を展望できる。		◎	◎	○	○	○	
	国際金融論	M-ECN316	300	講義	4	国際通貨システムの歴史および理論について学び、基礎的な知識を習得する。	国際通貨システムの歴史を理解し、国際金融の理論について基礎的な内容を要約し、国際金融の特徴・問題点・対応策について議論できる。		◎	◎	○	○		
	国際貿易論	M-ECN317	300	講義	4	ミクロ経済学的应用分野としての貿易理論を理解し、現実的な国際貿易のあるべき姿を模索する。	現実に採用される各種貿易政策や貿易をめぐる合意事項について、国際貿易理論を踏まえて、自分の意見を述べる事ができる。		◎	◎	○	○		
	開発経済学	M-ECN304	300	講義	4	経済開発の諸理論を歴史的な視点から学び、実際の経済開発過程で生じる産業構造変化を産業連関表を利用して分析する。	開発経済学の歴史について基礎的な知識を身に付ける。開発途上国の経済発展に関する様々なテーマを実証的に分析し、自分の意見を述べる事ができる。		◎	◎	○	○		○
	多国籍企業論	M-MNG316	300	講義	4	21世紀の国際経済社会の問題、課題を理解し、経済潮流を踏まえ、多文化世界での多国籍企業活動、特に日系多国籍企業の備える特性とその活動を通して、その在り方を考究する。	社会的責任の時代において、成長の牽引役となる新興国を巻き込みつつ、経済潮流の主体として活動する、国家と比肩し得る程の影響力を持った多国籍企業について考究する。		◎		◎	○		○
国際	国際政治学	M-POL201	200	講義	4	「国際社会の紛争と協調」について、基本的な捉え方、歴史的な背景、今日の諸課題ととりあげて、国際政治の知見を深める。	(1)国際政治の多様な考え方を理解し、それらを組み合わせた分析をできるようにする。(2)地域の諸問題を国際的な視野の中で捉え、両者の相互作用を説明できるようにする。(3)さまざまな社会事象を多角的に考察し、バランスのとれた提言をできるようにする。	○			◎	○		◎
	中東の政治と外交	M-ARS219	200	講義	4	現代の中東地域諸国の国内情勢、中東地域政治、および中東地域に隣接する域外大国の政策について包括的に考察する。	複雑な現代中東地域政治の基本的構造を理解することでニュース等で報道される中東情勢について関心を持てるような知識を習得する。	○			◎	○		◎

科目区分 専門分野	授業科目名	科目コード ナンバー	ナン バ リ ン グ	科目 種別	単位	1. 科目の目的 授業科目で何を目的に学ぶ、どのような内容の理解を望むとするか。	2. 科目の到達目標 授業での教育・学習を通じて学生がどのような学習成果の達成を目指し、何を到達目標とするか。	3. ディプロマポリシー							
								DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6		
政治等	国際法	M-LAW201	200	講義	4	国際法の全体像をつかみ、国際社会で起きていることを法的な側面から捉え、国際社会の平和や将来像について考える。	(1) 国際法の基本的な概念や用語を理解し、説明できる。(2) 国際法における出来事を法的側面からも考えられる(3) 国際社会への関心を自ら深める。	○			◎	○		○	
	国際関係論	M-IRE310	300	講義	4	国際関係にかかわる現代の様々な論争的イシューに関して、具体的なかつ詳細に議論する。	複雑な国際情勢を作り出す様々なイシューに関して、自分の立ち位置を見極め、議論を排して最も妥当な形で解決策を模索する姿勢を身につける。				◎	○		◎	
	国際経済法	M-LAW305	300	講義	2	(1)国際経済法(特に貿易に関する規則群)の基本的な概念や用語を理解する。 (2)国際社会で出来事について、法的な側面から考える。	(1)国際経済法に関し、各自の目標を設定し主体的に学習ができる。 (2)経済・貿易に関する法律、人権や環境問題に係わる法律など、幅広く多面的に理解できる。		○		◎	○		○	
地域・公共	公共経済学	M-ECN208	200	講義	4	公共経済の重要な課題として、経済活動に関する市場の役割と限界、市場制度を補完するための公共部門・政府の役割、市場の失敗と政府の失敗等を学ぶ。	(1)市場機構のメリットとデメリット、(2)市場を補完する政府の役割、(3)市場の失敗と政府の失敗、(4)公共経済問題の本質・解決方法について理解し、現実の問題につき実践的な解決策を議論できる。		◎	○		◎		○	
	財政学	M-ECN211	200	講義	4	税制改革や財政赤字削減のような、政府に関わる重要な財政問題について、現状や歴史、より根本的・体系的な側面、解決策を学ぶ。	税制改革や財政赤字削減などについて、現状や歴史、経済学的な視点、解決策について、説明や判断ができる。		◎	○		◎		○	
	地域経済論	M-ECN213	200	講義	4	国民経済とそれを構成する諸地域の経済について学び、高度な相互依存性をもつ地域同士の経済関係が国民経済全体とどのような関係をもち、国際分業にどのように参加しているかを学ぶ。	実際に現場で使われている経済理論の有用性を体感することを到達目標とする。地域のニュースや開発計画などに触れ、自分の意見を持つ。		◎	◎		○		○	
	地域デザイン	M-ARS208	200	講義	2	少子高齢化、グローバル化等地域が直面する課題を多様な視点から考察。自治体、企業、住民等が強みをいかし利害調整しながらゆたかな地域づくりを目指す。	地域の在るべき姿を自分の言葉で描き出し、その実現に向けて必要な方策を打ち出すことができる。			○	◎		○		○
	経済政策論	M-ECN310	300	講義	4	ミクロ経済学およびマクロ経済学の基本的な理解を前提として、経済政策の手段と効果について、主として理論的な観点から分析を行う。	ミクロ経済学およびマクロ経済学の基本的理解、およびそれらを用いての現実の経済政策の評価の手法を習得する。		◎	○		◎		○	
	日本経済論	M-ECN326	300	講義	4	日本経済の現実に照し、実際に採用された経済政策に関して、既存の経済理論との関係を確認し、その成否を経済データを用いて検証する。	日本経済の特徴について、経済政策との関連で実証結果を用いて合理的に説明ができる。		○	◎		○		○	
	環境経済学	M-ECN305	300	講義	4	グローバルな環境問題を取り上げ、環境経済学の基本概念を分かりやすく学び、外部性、環境の経済評価、持続可能な発展を中心に理解を深める。	現代の環境経済学の基礎概念・分析方法を理解し、環境の経済評価の手法を修得し、持続可能な経済発展について自分の意見を述べることができる。		○	○		◎		○	
	都市の経済学	M-ECN325	300	講義	4	都市経済に関する基礎的な専門知識を講義したのち、課題解決型学習(PBL)として、都市・都市圏の魅力度ランキングをチームで作成する。ランキング作成を通して、都市・都市圏とは何か、魅力とは何か等について、総合的に考察する。	経済社会の一員として求められる経済学の考え方を活用し、都市及び都市圏について比較考察することができる。		○	○		◎		○	
	労働経済学	M-ECN338	300	講義	4	労働市場の特徴を学び、日本の賃金決定システムについて理解を深め、賃金を決定する要因を説明する理論を学ぶ。	賃金決定理論や社会制度を理解し、新聞や雑誌などの情報を理解できる。また雇用制度や年金制度の変更など労働環境を取り巻く制度と現状を知り判断できる。		○			◎	◎	○	
	現代の労働法と労働政策	M-LAW312	300	講義	4	日本や海外での雇用関係(働くこと、人を使うこと)における現代的な課題を理解するために、労働法と労働政策の基本と活用についての視点と知識を学ぶ。	労働法と労働政策の基本的な考え方と内容を理解し、社会に出て、日本あるいはアジアなど海外で仕事をすると直面するかもしれない問題に対し、それらの法律と政策を検討し活用するための視点と知識を持つようになる。		○			◎		○	
地方財政	M-ECN324	300	講義	2	地方財政に関する基礎的な知識を習得し、その現状と課題を学ぶ。地方財政の問題を解決するための政策を理解する。	地方財政の現状と課題を、自分の言葉で説明できるようにする。地域で生きる社会人(公務員だけではない)にとって必要な知識を修得できる。		◎	◎		○		○		
行政法	M-LAW302	300	講義	4	行政法の基礎を理解し、身近で重要な法律の一つである「行政法」に関する具体的なケースを取り上げて学ぶ。	行政法が私たちの実際の生活とどのように関係し、人々の生活や行動と結びついているのかを説明できる。		○	○		◎		○		
スポーツ	スポーツと法	M-LAW202	200	講義	2	スポーツに対する法律の関わり方に関する基礎的な知識を得る。	スポーツにおける法律の関わり方を知り、スポーツのルールや法律の機能について理解できる。	○			○	◎		◎	
	スポーツの歴史と文化	M-HES215	200	講義	4	スポーツを一つの文化として捉え、それが近現代社会のなかでどのような歴史を経て人びとに受け容れられてきたかを理解し、そこから自分の言葉で今後のスポーツのあり方を考えていくことができるようになる。	近現代社会において、スポーツがいつ頃からいかに受容されたのか、その過程でどのような軋轢や抵抗、また進歩や発展が示されたのか、従来からある価値意識とどのように融合してスポーツが展開してきたかを理解し、それを踏まえて、将来のスポーツのあり方を自分で考えられるようになる。	○	○		○		◎		
	スポーツビジネスマネジメント	M-HES331	300	講義	4	スポーツビジネス市場の特徴について理解した上で、スポーツクラブや施設の運営を行うための基本的な知識とノウハウを学ぶ。	スポーツビジネスの特性性、マネジメントの特徴、効果的な方法を理解し、マネジメントに関わる企画が立てられる。		◎	◎				○	

科目区分 専門分野	授業科目名	科目コード ナンバー	ナン バ リ ン グ	科目 種別	単 位	1. 科目の目的 授業科目で何を目的に学び、どのような内容の理解を狙いとるか。	2. 科目の到達目標 授業での教育・学習を通じて学生がどのような学習成果の達成を目指し、何を到達目標とするか。	3. ディプロマポリシー					
								DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
	スポーツ政策	M-HES326	300	講義	2	スポーツを通じた国際競争力の向上、健康増進や国際交流の拡充、地域・経済の活性化等について学ぶ。	スポーツ政策の科学的研究及び提言等について、重要な論点を考察し、各自の意見を述べることができる。	経済社会のさまざまな現場において活躍するために幅広い分野の教養を身に付けている。	経済学に関する専門知識を身に付け、戦略的な観点から経済活動に関する制度や市場のメカニズムを理解することができる。	経済学に関する知識をもとに収集した情報・データを利用して、最適な企画を立案し、問題解決につなげることができる。	内外における経済社会問題について、文化的、価値観等の多様性に配慮して、グローバルな視点からバランスの取れた考え方を示すとともに、語学力を高めることで、互いにコミュニケーションをとることができる。	社会に対する関心と志を高くもち、身に付けた経済学的思考力を活かして社会に貢献する態度を有している。	社会人としての責任感・倫理観を有し、勇気をもって、経済社会分野を中心に新しい可能性にチャレンジができる。
	スポーツ経済学	M-ECN339	300	講義	4	経済学的な考え方が健康・スポーツに関してどのような視点を与えるのかを考察する。スポーツをめぐるお金の流れ、スポーツイベントの経済効果などに加え、より根源的でかつ重要な問題（人はなぜスポーツをするのか、八百長や賭博が起きるのはなぜかなど）も学ぶ。	アスリートやスポーツに関わる仕事を指す学生はもちろん、純粋にスポーツをする・観るのが好きな学生が、経済学を通して健康とスポーツについてより深く理解できる。						
歴史	社会史A	M-OHM101	100	講義	4	日本近世における都市の成立事情や基本構造、歴史的展開過程を紹介した上で、都市民衆世界の実際について学ぶ。	現代社会が抱える諸問題を発見しその解決を図るための基礎的な能力を養う。	○			○	○	○
	社会史B	M-OHM102	100	講義	4	近世を中心に西ヨーロッパ社会、そして意外に知られていない東ヨーロッパに目を向け、総体としてのヨーロッパ世界を構成するさまざまな要素に触れる。	ヨーロッパの近世社会の構造を探ることにより、表層の歴史的事象を生活面にまで掘り下げて理解し、長い歴史によって培われてきたヨーロッパの深層を成す心性に触れることができる。	○			○	○	○
	経済史	M-ECN203	200	講義	4	日本または西洋の経済の歴史について学び、過去の歴史が現在の日本や世界の経済の状況にどのようなつながっているかについて学ぶ。	日本または西洋の経済の歴史を学ぶことで、過去をふまえた現代を理解するための考え方を身に付ける。		○		○	○	○
	経済学の歴史	M-ECN202	200	講義	4	経済学の歴史を理論的および歴史的方法で理解し、19世紀以降のヨーロッパの歴史に経済学がどのように関わり、また作用してきたかを探る。	経済現象を、人びとがどのような仕方でも理論的に捉えてきたか、また近現代の経済学が19世紀以降のヨーロッパおよび経済史とどう関連していたか理解できる。		◎		○	○	○
	社会思想史	M-ECN321	300	講義	4	古代から近世へと連なるヨーロッパの精神史の基本的な流れを習得し、そのうえで近代ヨーロッパの市民社会の構造を理論的に解明する。	ヨーロッパの精神史をキリスト教の成立以前の時代から、ヨーロッパ社会の歴史のプロセスと照らし合わせて再構成できる。それらが中世・近世を経て近現代の社会の成立に到る歴史を把握できる。		◎		○	○	○
その他	経済学部特殊講義A	M-ECN307	300		2	既存科目の範疇に入らない、新たなトピックを扱う。	経済学とその周辺分野の最先端の知識に触れ、最新の動向をとらえる。						
	経済学部特殊講義B	M-ECN308	300		4	既存科目の範疇に入らない、新たなトピックを扱う。	経済学とその周辺分野の最先端の知識に触れ、最新の動向をとらえる。						

言語コミュニケーション学部 専門教育分野 TLO : Target and Learning Outcomes

授業科目区分	授業科目名	科目コード ナンバリング	科目 種別	単位	1. 科目の目的	2. 科目の到達目標	3. ディプロマポリシー								
							DP1	DP2-a	DP2-b	DP3	DP4	DP5	DP6-a	DP6-b	
							社会人として活躍するために必要な幅広い知識と思考力、判断力、表現力を身に付けている	自立した言語(英語)使用者として、身近な話題について主要な点を理解し、筋の通った簡単な文章を作ることができる	「異文化コミュニケーション」(グローバルビジネスコミュニケーション)英語教養養成のいずれかの領域について体系的な専門知識とそれを活かすための分析力が身に付いている	デジタル環境を活用しつづ、社会の諸課題を調査、分析し、解決する方策を論理的に日本語および平易な英語で提案できる	他者の異なる価値観を「個性」として受け入れ、人間関係を構築、保持、修正するために日本語および平易な英語でやり取りする力を有している	日本および国際社会の諸課題を他人事ではなく自分の問題として捉え、解決に向けて何をすべきかを考え、行動する習慣が身に付いている	公共の利益のために、他者と目標を共有したうえで、確固たる倫理観にもとづき、自ら率先して行動できる	海外留学などの経験を通じて、新しい可能性にチャレンジし、諸問題を解決する行動力が身に付いている	
コミュニケーション学	M-SOC102	100	講義	2	コミュニケーションの仕組みを学ぶとともに、社会活動や情報技術との関係についても考察する。	コミュニケーションの重要性を再認識し、自らのコミュニケーション能力も向上させる。			◎	○		◎	○		
アメリカ研究	M-ARS102	100	講義	4	アメリカ社会の諸相を、特に社会学の立場から分析し、アメリカの多様性を捉える「視座」を養うための学修を行う。	アメリカの実像と虚像の部分を追究し、アメリカを鏡として日本の国民性やあり方も考察する。			◎	○	◎	○			
イギリス研究	M-ARS103	100	講義	2	イギリスの社会、文化、歴史を中心に研究し、イギリスらしさとは何かを理解するための学修を行う。	イギリスの社会、文化、歴史などを研究し、国の成り立ちや世界に対する影響について理解する。			◎	○	◎	○			
アジア研究	M-ARS104	100	講義	2	近年の発達が目覚ましいアジア諸国の歴史や文化、教育制度、主要産業の動向を学修する。	アジア諸国の歴史と現在の発展状況を深く理解するとともに日本との関係性についても適切に考察する。			◎	○	◎	○			
異文化コミュニケーション論	M-SOC201	200	講義	4	様々な文化的背景を持った人々とコミュニケーションを図り、理解を深めるために必要とされる知識・スキルを包括的に学ぶ。	世界の文化の多様性や異文化コミュニケーションの現状と課題を理解し、多様な文化的背景を持った人々との交流を通して、文化の多様性及び異文化交流の意義について体系的に理解している。英語が関わる国際や地域の歴史、社会、文化について基本的な内容を理解している。			◎	○	◎	○			
英語通訳法入門	M-ENG201	200	実習	4	短いニュースを使用して逐次通訳スキルを理解し、通訳技能を身につけるための学習を行う。	1分以内の英語/日本語のニュースを聞きながら書き取ったメモを助けて、日本語/英語でわかりやすく再表現できる。		◎	○		○				
英語通訳法入門	M-ENG210	200	実習	4	通訳とは何か、通訳ジャンルの違い、通訳、AI通訳などさまざまなトピックに関する基礎知識を知り、通訳ジャンルの特徴的な表現・日本語に特有な語彙の交換を自然な形で行えるようにするための初歩的な方法を実践を通して学ぶ。	英語・日本語、通訳ジャンルの特徴的な違いについて具体的に知ることで、英語・日本語間の言語的交換をする際のような点に注意すべき点を把握することができる。			◎	◎					
Media and Communication	M-MED216	200	講義	4	Communication, as a concept and practice, is the focus of the course. What is communication and how do people communicate? The subject media and communication studies - its history, scope and relationship to related subjects - is further studied. The course also offers a social science and cultural science outlook for the study of communication. Current changes and challenges associated with communication is presented and discussed during the course.	The goal of this class is to show that how media and communication are closely related in this globalized world today.			○	◎	○		○		
Current Topics	M-SOC213	200	講義	4	To improve listening skills and discussion strategies and to gain knowledge of current events.	To develop critical thinking skills and to understand/discuss current issues and national/international news			◎	○	○	◎			
Contemporary Global Issues and Japan	M-IRE218	200	講義	4	Students will be introduced to a variety of topics related to the most important issues that are impacting the world and Japan.	The goal of this class is to show that Japan is not independent of issues facing the world today.			○	◎	○	◎			
Life in the UK	M-ARS213	200	講義	2	To learn many aspects of the UK, such as history, geography, culture, education, and politics	To become familiar with historical, cultural, linguistic, governmental, and societal facets of the UK.			○	◎	○	◎	○		
国際政治学	M-POL201	200	講義	4	「国際社会の紛争と協調」について、基本的な捉え方、歴史的な背景、今日の諸課題とありあけ、国際政治の知見を深める。	(1) 国際政治の多様な考え方を理解し、それらを組み合わせた分析ができるようになる。(2) 地域の諸問題を国際的な視野の中へ捉え、両者の相互作用を説明できるようにする。(3) さまざまな社会現象を多角的に考察し、バランスのとれた提言ができるようになる。			○	○	○	◎			
国際法	M-LAW201	200	講義	4	国際法の全体像をつかみ、国際社会で起っていることを法的側面から捉え、国際社会の平和や将来像について考える。	(1) 国際法の基本的な概念や用語を理解し、説明できる。(2) 国際社会における出来事を法的側面からも考えられる(3) 国際社会への関心を自ら深める。	○			◎	○	○			
国際理解論	M-IRE206	200	講義	4	異なる価値観をもつ人々が平和な社会を構築するための国際理解のあり方について、SDGsの目標の豊かさを基盤に、社会の問題を自分ごととして考える能力を育成する。	(1) 世界の多様な社会や文化の違いについて知る。(2) 異文化の他者と共生していくための基本的な視座を理解する。(3) 多文化共生社会で摩擦を乗り越え平和な社会を構築するための思考力、実践力を養う。				◎	○	○			
ジェンダー論	M-SOC207	200	講義	4	ジェンダー研究の歴史を概観し、関連する諸領域の現代における事項を通じて自らの日常に目を向け、そこにジェンダーがいかに深く関わっているかに気づくように意識を高める。	ジェンダー研究の学問としての基本的事項を知ることができる。ジェンダー研究の歴史の変遷を学ぶことができる。現代社会におけるジェンダーの諸問題に対する意識を高めることができる。				◎	◎	○	○		
英語通訳法	M-ENG301	300	実習	4	インタビューやトークを使用して逐次通訳の技能を身につけ、英語のリスニング力とスピーキング力を養成する。	1~2分程度の英語/日本語のインタビューやトークを聞きながら書き取ったメモをみて、日本語/英語でわかりやすく再表現できるようにする。		◎	○		○				
メディアとジャーナリズム	M-MED324	300	講義	4	メディアの役割、特性を学び、ジャーナリズムに関する理論と実践を学ぶことにより、グローバル社会におけるメディア・コミュニケーションの光と陰を理解する。	メディアの役割、ジャーナリズムの本質と実践について理解を深め、メディアの発信・受信の確にできるようになる。			◎	○		◎	○		
Cross-Cultural Communication	M-SOC321	300	講義	2	Discussing the contemporary social issues in Japan and identifying what Japaneseness is all about.	By mingling with JSP / E-Track students, broader perspectives should be nurtured with regard to intercultural communication.			○	◎		◎	○		

II 異文化間コミュニケーション

授業科目区分	授業科目名	科目コード ナンバー	ナンバ リング	科目 種別 講義 演習 実習 PBL など	単位	1. 科目の目的 授業科目で何を目的に学修し、どのような内容の理解を深めようとするか。	2. 科目の到達目標 授業での教育・学修を通じて学生がどのような学修成果の達成を目指し、何を到達目標とするか。	3. ディプロマポリシー									
								DP1	DP2-a	DP2-b	DP3	DP4	DP5	DP6-a	DP6-b		
								社会人として活躍するために必要な幅広い知識と思考力、判断力、表現力を身に付けている	自立した言語(英語)使用者として、身近な話題について主要な点を理解し、筋の通った簡単な文章を作成することができる	「異文化コミュニケーション」 グローバル ビジネス コミュニケーション 英語教員養成 のいずれかの領域について体系立った専門知識とそれを活かすための分析力が身に付いている	デジタル環境を活用しつつ、社会の諸課題を調査、分析し、解決する方を論理的に日本語および平易な英語で提案できる	他者の異なる価値観を「個性」として受け入れ、人間関係を構築・保持・修正するために日本語および平易な英語でやり取りする力を有している	日本および国際社会の諸課題を他人事ではなく自分の問題として捉え、解決に向けて何をすべきかを考え、行動する習慣が身に付いている	公共の利益のために、他者と目標を共有したうえで、確固たる倫理観にもとづき、自ら率先して行動できる	海外留学などの経験を通して、新しい可能性にチャレンジし、諸問題を解決する行動力が身に付いている		
	Cross-Cultural Studies A	M-SOC305	300	講義	2	By examining sports-bound issues across different societies, we will evaluate cultural similarities and differences that may not be obvious in other ways.	To provide students with an understanding of the inter-relationship of sport in society.			○	◎		◎	○			
	Cross-Cultural Studies B	M-SOC306	300	講義	2	Investigating cultural differences between Japan and the United States.	To develop critical thinking skills and to understand/discuss values behind behaviours.			○	◎		◎	○			
	国際関係論	M-IRE310	300	講義	4	国際関係にかかわる現代の様々な論争的イシューに関して、具体的かつ詳細に議論する。	複雑な国際情勢を作り出す様々なイシューに関して、自分の立ち位置を見極め、議論を排して最も妥当な形で解決策を模索する姿勢を身につける。						◎		◎		
	言語コミュニケーション学部特殊講義A	M-LNG306	300	講義	2	社会人基礎力としてのコミュニケーション能力とは何かを明らかにするとともに、よりよい人間関係の構築と維持のための方策について、ともに考える。	社会生活におけるコミュニケーションの重要性を再確認するとともに、各自のコミュニケーション能力を高める。				○	○	○	○			
	言語コミュニケーション学部特殊講義B	M-LNG307	300	講義	4	多文化共生社会で必要となるコミュニケーション能力についての知識を深め、国際社会で役立つコミュニケーションスキルの訓練を行う。	文化によって異なるコミュニケーションのあり方を知るとともに、多文化社会に適応可能なコミュニケーション力を獲得する。				○	○	○	○			
Ⅲ 英語 ビジネス コミュニケーション	ロジカル・コミュニケーション	M-LNG102	100	講義	2	自分の考えを論理的に表現する能力および他人の考えを論理的に理解する能力を涵養する。	口頭であっても書面であっても論理的であるかを意識しながらコミュニケーションできるようにする。			◎	○	◎	○				
	ビジネス概論	M-CME104	100	講義	4	グローバル社会の構成要素である経済活動について、その構造や社会への影響について学ぶ。	ビジネスの仕組みの基本を理解し、企業と社会との関連に関心を抱くようになる。				◎	○		◎			
	観光ビジネス論	M-TRS203	200	講義	2	観光産業を構成するそれぞれの産業分野が、移動、宿泊、食料等の基本的なサービス提供だけでなく、現地(到着地)の観光資源や関係する多くの主体との複合的な関わりやそれぞれの役割について理解する。	観光に関する最新の動向や基本的なツールズについて理解するとともにワーケーションなどの新しいツールズや観光資源、受入環境(関係する多様な主体)の役割等について理解することが出来る。			○	○	◎	◎				
	国際ビジネス論	M-MNG203	200	講義	4	(1)国際経済や国際投資の現状と理論。(2)企業が国内から海外へとビジネスを拡張する過程や管理・運営のあり方を学修する。	激変する国際環境下における企業経営態様やその変化を、具体的な実例を交えながら、理論と現状の両面にわたって考える。			◎			○	○			
	貿易論	M-CME205	200	講義	4	最近の国際貿易をめぐるトピックを題材にして、貿易理論や貿易制度政策について学修する。	国際貿易の基礎理論を理解し、貿易制度政策の現実問題について検討する。	○			◎	○	◎				
	マーケティング論	M-CME209	200	講義	4	マーケティングに関する基礎的な知識を習得し、実務におけるさまざまなマーケティング課題に対する洞察力を養うための学修を行う。	新聞や雑誌で取り上げられるマーケティングに関する記事を読んで理解できる。				◎	○	○	◎			
	マーケティングコミュニケーション論	M-CME211	200	講義	2	MC論の基本を学びつつ、事例を多く取り上げていきながら、可能な限り実態に即した学修を行う。	事例から疑似体験することによって企業でおこなう様々な問題解決に対応する分析・提言ができる。				◎	○	◎		○		
	English for Tourism	M-TRS207	200	講義	2	To gain English skills necessary for the tourism industry and hospitality.	Through cooperative learning, students will improve their English skills necessary for the tourism industry.			◎	○		◎		○		
	観光ガイド実習	M-TRS208	200	実習	2	歴史資産の多い川越をテーマに日本の歴史、文化を学び、観光ガイドという仕事についても学ぶ。	ガイド実習を通して、得た知識を自分の言葉で他者に伝えるコミュニケーション能力を鍛える。			○	○		◎	○			
	English Business Presentation	M-LNG215	200	講義と演習	2	To acquire basic skills of business presentation in English.	To achieve greater confidence in making presentation in English at formal business scenes.			◎	○	◎	○				
	College Listening and Speaking※1	M-ENG204	200	実習	2	To teach students key listening and speaking skills for academic situations.	To be able to effectively communicate in an academic setting.			◎	○	○	○				
	College Reading and Writing※1	M-ENG205	200	実習	2	To teach students key reading and writing skills for academic situations.	To be able to effectively communicate in an academic setting.			◎	○	○	○				
	観光ガイド通訳	M-LNG301	300	実習	2	通訳案内士試験を視野にいれ、観光ガイドに必要な日本の知識と英語力を身につけるための実習を行う。	観光案内をする時に知っておくべき基礎知識を習得し、わかりやすく英語で説明できる。			◎			○	◎			
	Business Communication	M-CME301	300	講義	2	ビジネスの現場で役立つ英語表現を学ぶとともに、リスニングやプレゼンテーション力も養うための学修を行う。	ビジネスの現場で必要なリスニング、文法、読解力、読解力を向上させ、TOEICの得点を向上させる。			◎	○	◎	○				
	Intercultural Business Communication	M-ENG308	300	講義と実習	4	異文化ビジネスコミュニケーションの基礎を学び、英語で考えを表現し、交渉のシミュレーションを経験する。	異文化ビジネスコミュニケーションの基本的技術を獲得し、終了後さらに技術を発展させることができる。			◎	○	○	◎				
Intercultural Business Negotiation	M-ENG309	300	講義	4	In this course, students will be introduced to the concepts and practices of conducting negotiations in business situations.	Students will be able to understand the cultural differences in negotiations and be able to navigate these differences through role plays and other activities.			◎		○		◎				

授業科目区分	授業科目名	科目コード ナンバー	ナンバ リング	科目 種別 講義 演習 実習 PBL など	単位	1. 科目の目的 授業科目で何を目的に学習し、 どのような内容の理解を深めたい とするか。	2. 科目の到達目標 授業での教育・学習を通して学 生などのような学習成果の達成 を目指し、何を到達目標とする か。	3. ディプロマポリシー								
								DP1	DP2-a	DP2-b	DP3	DP4	DP5	DP6-a	DP6-b	
								社会人として活躍するために必要な幅広い知識と思考力、判断力、表現力を身に付けている	自立した言語(英語)使用者として、身近な話題について主要な点を理解し、筋の通った簡単な文章を作成することができる	「異文化コミュニケーション」 「グローバルビジネス」 「グローバルコミュニケーション」 「英語教員養成」のいずれかの領域について体系立った専門知識と、それを活かすための分析力が身に付いている	デジタル環境を活用しつつ、社会の諸課題を調査、分析し、解決する方を論理的に日本語および平易な英語で提案できる	他者の異なる価値観を「個性」として受け入れ、人間関係を構築、保持、修正するために日本語および平易な英語でやり取りする力を有している	日本および国際社会の諸課題を他人事ではなく自分の問題として捉え、解決に向けて何をすべきかを考え、行動する習慣が身に付いている	公共の利益のために、他者と目標を共有したうえで、確固たる倫理観にもとづき、自ら率先して行動できる	海外留学などの経験を通して、新しい可能性にチャレンジし、諸問題を解決する行動力が身に付いている	
Business in Asia	M-MNG324	300	講義	4	In this course students study topics that center around the intercultural differences and business practices of various countries in Asia.	The goal of this course is to have students understand the similar and different points of business practices in Japan and other Asian countries.			○	◎				◎		
企業研究	M-MNG303	300	講義とPBL	2	インターンシップ等実務経験を踏まえてグローバルに展開する企業の特徴を研究し、グローバル社会で活躍するための基礎とする。	グローバルに展開する企業について、ビジネス・社会・文化という幅広い視点から理解を深め、グローバル社会で働くための基礎となる素養を身に付ける。				◎	◎	○		○		
企業のコミュニケーション戦略	M-MNG330	300	講義とPBL	4	企業のコミュニケーションについて理論を学び、実際の企業戦略を理解し、戦略を構築することができるようになる。	企業のコミュニケーション戦略を理解し、ブランド構築、広告・PR・IRの実際、クライスコミュニケーション等を分析できる。				◎	○		○		○	
ディベート技法	M-LNG217	200	講義と演習	2	論理的、批判的思考の訓練を通して自身の正当性を伝える効果的な方法を学ぶ。	議論の仕組みを理解し、ディベートの基本的なスキルを習得する。						◎	◎	○		
Advanced Argumentation & Debate	M-LNG322	300	講義と演習	2	To understand the concept of argumentation and learn the rules and procedure of academic debate.	To be able to exchanging opinions on contemporary social issues with others in analytical and critical manner.		○			◎		◎	○		
ビジネス プロジェクト J	M-MNG331	300	PBL	4	PBL(プロジェクト型学習)を通してリーダーシップを涵養すると共に基本的なビジネススキルを習得する。	「権限にとらわれないリーダーシップ」を理解・実践し、ビジネスプランの策定・提案の技能を身に付ける。				○	◎				◎	
Business Project E	M-MNG332	300	PBL	4	To acquire leadership and basic business skills through project-based learning.	To find their individual leadership strengths, understand the outline of management, and acquire basic business skills.		○			◎		○			◎
英文法	M-LNG101	100	講義	2	英語の短編や英字新聞、雑誌を今まで学んだ英文法の知識を駆使して読み英文を効率よく読む。	英文法の知識を定着させ無意識に活用できるようにして英語の4技能を確かなものにする。			◎	◎						
英語文学 A	M-LIT101	100	講義	2	イギリス文学を概観し、代表的な作品を取り上げることイギリス文学作品の特色を学ぶ。	英文学作品の背後にある歴史、文化、時代背景を知り、英文学と英国についての広い知識を獲得する。		○					◎			
教育原理	T-EDU108	100	講義	4	「教育とは何か」に焦点を置きながら、教育の理念、思想、歴史等について基礎的な知識を網羅的に学習する。	1・教育の理念や目的を理解している。2・教育の歴史や思想を理解している。3・学校教育や社会教育等に関する基本的事項を理解できる。				◎	○		○			
教育相談	T-EDU109	100	講義	2	教育相談を心理臨床学の視点からとらえ、基本的な理論及びその実際を学習するために、多くの事例を取り上げる。	実践的かつ理論的な対応法は、基礎的・体系的な知識を欠くことが出来ないため、心理臨床学に裏打ちされた教育相談の基本を体系的に理解できる。				◎			○	○	○	
教育心理学	T-EDU110	100	講義	4	教育場面に関わる心理学として4つの柱(発達・学習・測定・評価、人格・臨床)を中心に学ぶ。教職必修科目。	子どもや保護者の心理、学習や記憶のしくみを理解し、どのように教育評価を行ったり、生徒に接するべきかについて理解を深めることができる。					○		○	○		
Academic Listening and Speaking A	L-ENG231	200	実習	2	To teach students key speaking and listening skills for academic situations.	To be able to effectively communicate in an academic setting.		◎	○		○		◎			
Academic Listening and Speaking B	L-ENG232	200	実習	2	To teach students key speaking and listening skills for business situations.	To be able to effectively communicate in a business setting.		◎	○		○		◎			
Academic Reading and Writing A	L-ENG229	200	実習	2	To teach students key reading and writing skills for academic situations.	To be able to effectively communicate in an academic setting.		◎	○		○		◎			
Academic Reading and Writing B	L-ENG230	200	実習	2	To teach students key reading and writing skills for business situations.	To be able to effectively communicate in a business setting.		◎	○		○		◎			
英語学概論	M-LNG202	200	講義	4	歴史、音韻論、統語論、意味論、語用論などの観点から英語とはどのような言語なのかを学ぶ。	言語学的原理を用いて英語という言語の体系的な知識を身につけ、上級の英語学研究的基礎を固める。			◎	◎						
音声学	M-LNG205	200	講義	2	英語と日本語の音声比較と実際の発音を通して、音声学の基礎知識の理論と実践を身につけるための学習をする。	英語と日本語の音の発音の仕方を理解し、英語音声学の基礎知識を身につけ、理論的に説明できる。			◎	◎						
英語文学 B	M-LIT203	200	講義	2	米文学が開花した19世紀後半から自立した文学としての20世紀前半以降のアメリカ文学を学ぶ。	米国の代表的な作品の歴史、文化や時代背景を知り、アメリカ文学とアメリカそのものの理解を深める。		○		◎			◎			
英語児童文学	M-LIT201	200	講義	2	世界中で広く愛読されてきた英語児童文学作品を読み直し各作品の時代性と特色を学ぶ。	英語児童文学作品を大人の観点から見直し、社会と児童文学史での役割と現代の児童文学の方向性を明らかにする。		○	◎				◎			
学校インターンシップ	M-EDU201	200	講義	2	学校教育の現場での学修支援活動を通して学校の現実を知り、教育のあり方についての理解を深めるための学修を行う。	教育現場での学修支援活動を実際に体験し、教職の現実を知るとともに学校教育に対する理解を深める。				◎			○	◎	○	
SLA&Education	M-LNG216	200	講義	2	To discuss key issues in current second language acquisition (SLA) research and theory.	To understand the connection between SLA theories/research and foreign language teaching/learning.		○		◎	◎			○		
意味論	M-LNG302	300	講義	2	主に日本語と英語を対象に、語、句、文等の発音的、構造的、一般的の意味の記述の仕方を学ぶ。	意味論における基本的な概念や考え方を理解・修得し、言語が持つ機能について理解を深める。			◎	◎			◎			

授業科目区分	授業科目名	科目コード ナンバー	ナンバ リング	科目 種別 講義 演習 実習 PBL など	単位	1. 科目の目的 授業科目で何を目的に学習し、 どのような内容の理解を狙いと するか。	2. 科目の到達目標 授業での教育・学習を通じて学 生がどのような学習成果の達成 を目指し、何を到達目標とする か。	3. ディプロマポリシー								
								DP1	DP2-a	DP2-b	DP3	DP4	DP5	DP6-a	DP6-b	
								社会人として活 躍するために必 要な幅広い知 識と思考力、判 断力、表現力を 身に付けている	自立した言語 （英語）使用者 として、身近な話 題について主要 な点を理解し、 筋の通った簡潔 な文章を作成こ とができる	「異文化コミュニ ケーション」「グ ローバルビジネ スコミュニケーション」「英語教 員養成」のいず れかの領域に ついて体系立っ た専門知識と、 それを活かすた めの分析力が 身に付いている	デジタル環境を 活用しつつ、社 会の諸課題を 調査、分析し、 解決する方策を 論理的に日本 語および平易な 英語で提案でき る	他者の異なる価 値観を「個性」と して受け入れ、 人間関係を構 築、保持、修正 するために日本 語および平易な 英語でやり取り する力を有して いる	日本および国際 社会の諸課題 を他人事ではな く自分の問題と して捉え、解決 に向けて何をす べきかを考え、 行動する習慣 が身に付いてい る	公共の利益の ために、他者と 目標を共有した うえで、確固た る倫理観にもと づき、自ら率先 して行動できる	海外留学などの 経験を通して、 新しい可能性に チャレンジし、諸 問題を解決する 行動力が身に 付いている	
社会言語学	M-LNG318	300	講義	4	社会言語学の基礎を学ぶとともに 具体例をもとに理解を深め、 さらに大学内および大学近辺で のフィールドワークを行うこと により研究の実地体験を兼ねると 同時にデータから結論を導く過程 を体験する。	これまでに集めてきた社会言 語学の理論と研究成果を理解 することを目標とする。また、授 業を通して各自の興味のあるト ピックを見出し、調査を行って研 究成果を教室で発表することを 目指す。			◎		◎					
英語文学 C	M-LIT301	300	講義	2	多くの英語文学がテーマとして いる家族についての作品から社 会の変化による家族の変遷を 認識する。	英語文学での聖家族に始まる 家族関係の変遷を扱う作品か ら、作家が伝えたいことと表現 手法を的確に捉える。		○	◎		◎					
Communicative Grammar	M-ENG303	300	実習	2	英文法の体系的理解と習得、そ して更なる応用力の伸長と、語 彙力増強を目指す。	主要な英語能力検定のReading sectionの読解を通じて、高度な 英文の構造と文法規則の理解 と習得を目指す。		◎	◎							
第二言語習得論	M-LNG315	300	講義	4	第二言語習得研究の主要テー マと概念を学ぶ。特に、第二言 語習得における普遍的要因と 学習者要因の観点から、外国 語学習のあり方や教授法の変 遷を考察する。	第二言語習得研究の主要テー マと概念を理解できる。また、授 業で得た知識と洞察を生かし、 自身の英語などの外国語学習 の考察に役立てることができる。	○		◎			○				

国際関係学部 国際関係学科 専門教育分野 TLO: Target and Learning Outcomes

授業科目区分	授業科目名	科目コード ナンバー	ナンバ リング	科目種別 講義 演習 実習 PBL など	単位	1. 科目の目的	2. 科目の到達目標	3. ディプロマポリシー						
						授業科目で何を目的に学び、どのような内容の理解を担いとするか。	授業での教育・学修を通じて学生がどのような学修成果の達成を目指す、何を到達目標とするか。	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5		
								多角的な視野からの幅広い知識と教養を身につけている	国際関係分野の専門知識とその応用に必要なコミュニケーション力を身につけている	国際社会の多様な価値観や文化を理解し、自立かつ協働して諸問題に取り組むことができる	国際社会における問題の理解と解決に必要な情報やデータを収集・分析し、論理的で多角的かつ批判的な思考をもとめて問題の解決に取り組むことができる	市民として社会に対して関心をもち、グローバルな視点から国際関係の幅広い知識や経験を活かして社会に貢献することができる		
必修	国際関係学入門	M-IRE101	100	講義	2	国際関係学の全体像を提示し、2年次以降の専門科目履修に際しての学修計画の指針を提供する。	諸国際問題について、基礎的な理解ができ、全体像を把握できるようになる。	◎		○			○	
卒業研究・演習	基礎演習	M-SEM201	200	演習	2	国際問題に対する多様なアプローチを知ることで、国際関係という学びの分野の全体像を把握させる。	国際問題について基礎的な理解をする。次年度以降の専門学修を計画立案する指針を作る。	○	○	◎				
	専門演習	M-SEM301	300	演習	2	学部の専門分野から選択し、その研究に必要な基礎知識と実践方法を少人数クラスで徹底して学ぶ。	専門研究の必修スキルである読解・調査・発表・討論等の能力を身につけ、さらなる学修の準備をする。			○	◎		○	
	卒業研究	M-SEM401	400	PBL	4	基礎演習での学修を踏まえ、さらに各専門分野についての知見と実践を深める。	高度な専門性を有する分野について、研究発表や論文執筆などの実践的な能力を身につける。	○		○	◎			
	戦争と平和	M-POL209	200	講義	4	国家の形成過程と科学技術の発展の中で、戦争という現象がどのような変化を遂げてきたのかを歴史的に理解した上で、戦争の頻度や深刻度に影響を与えてきた要因と、戦争を防止し抑制するための方策を検討する。	古代から現代にいたる戦争の歴史と特徴を様々な角度から体系的に理解し、平和を実現するための方法と課題を考える力を養う。	◎			○		○	
	国際政治学	M-POL201	200	講義	4	「国際社会の紛争と協調」について、基本的な捉え方、歴史的な背景、今日の諸課題をとりあげて、国際政治の知見を深める。	(1) 国際政治の多様な考え方を理解し、それらを組み合わせる分析をできるようになる。(2) 地域の諸問題を国際的な視野の中で捉え、両者の相互作用を説明できるようになる。(3) さまざまな社会現象を多角的に考察し、バランスのとれた提言をできるようにする。		◎	○	○		○	
	国際経済学	M-ECN210	200	講義	4	現代の複雑な国際経済の構造について理解し、国際経済に関する重要記事を読みこなすことができるようになるための学修を行う。	国際貿易論、国際金融論の基本的な内容について理解し、さまざまな国際経済問題について貿易、国際金融の両面から、理論的ツールを用いて考察することができる。			○		◎	○	
	国際法	M-LAW201	200	講義	4	(1)国際法の全体像をつかみ、(2)国際社会で起こっていることについて法的側面から考え、(3)各自の学習テーマ(授業初回時に各自で設定する)について主体的に学ぶ。	国際法を学ぶことによって、(1)~(3)の目的に挙げた課題について各自でまとめ、多面的に社会をとらえる視点を身につける。	○		◎			○	
	現代外交論	M-POL207	200	講義	4	現代社会の国際化や多極化といった状況を外交という側面から理解するために、国家の対外政策や国家間の外交交渉などについて、理論と実際の両側面から分析する。	現代外交の理解を通じて、(1) 外交の基本的な考え方を理解し、現実の外交を批判的に分析をできるようにする。(2) 地域の諸問題を国際的な視野の中で捉え、両者の相互作用を説明できるようになる。(3) さまざまな社会現象を多角的に考察し、バランスのとれた提言をできるようにする。			◎	○	○	○	
① 戦争と平和	政治思想	M-POL211	200	講義	4	政治学における基礎概念の思想的背景を提示することで、3年次以降の専門科目の履修に際して、諸論点をより根源的に理解するための思考力を提供する。	現代世界における諸々の政治問題に関して、先入見を排した独自の思考ができるようになり、自身の見解を明確に言語化することができるようになる。	◎			○		○	
	国際政治史	M-POL212	200	講義	4	17世紀に誕生した新しい国際体系がさまざまな歴史的事象を通じて全世界に拡大されていく過程について学ぶとともに、第二次世界大戦後に国際社会の構造変化が生じたことに焦点をあてて、戦後に米ソ間で冷戦といわれる状況が生まれ、世界は東西陣営と呼ばれる二極体制に移行し国際社会にさまざまな影響を及ぼしていく過程を理解する。	それぞれの時代の歴史的な出来事についてその背景や影響などについて学び、現代国際社会との関連性について理解する。国際社会の構造変化を歴史の流れの中で捉え、現代社会の思想的背景となっている宗教やナショナリズム、自由主義、民主主義そして資本主義や社会主義などのイデオロギーや思想について理解することが出来る。	◎			○		○	
	民主化の比較政治	M-POL213	200	講義	4	諸外国の政治体制や政治変動を分析するための基本的概念と理論的枠組みを学習し、民主化という体制変動の法則性や分析方法、及び原因を明らかにする。	比較や類型化という分析の手法を習得し、民主化のような政治変動を理解する能力を養う。併せて、東アジア諸国の政治の実態を知り、各国の抱える課題を理解する。	◎			○		○	
	比較文化論	M-POL214	200	講義	4	日本の諸宗教における神と仏のイメージとイスラム教におけるアッラーのイメージとの比較をもちに、日・イスラム両文化の共通点や相違点について理解する。	(1)異なる宗教を比較することによって宗教についての理解を深める。(2)宗教を通じて地域文化の形成や特徴を理解できる。(3)宗教の相違による文化の相違や共通点について理解できる。	○		◎			○	
	ナショナリズム論	M-POL304	300	講義	4	ナショナリズムについての理論的アプローチに触れ、ナショナリズムのもつ役割について、歴史的、理論的、事例別に検討する。	近現代においてナショナリズムが果たした役割を理解できるようになる。あわせて、自助努力を基本とした自身の頑張りや規範的市民になれるよう、健全なナショナリズム理解をもてるようになる。	◎	○		○			
	軍縮安全保障論	M-POL301	300	講義	4	日本への原爆投下を起点に核兵器の拡散および軍縮交渉の歴史の経緯を辿りながら、「核なき世界」に向けた軍縮と不拡散の方策と課題を探り、併せて広島、長崎の今日的意味を深く考えながら被爆国日本の役割を考えることを目的とする。	軍縮・不拡散問題がどのように変化してきたのか理解し、その歴史的背景を説明できること、NPT、CTBT等の軍縮・不拡散の枠組みの現状と課題を理解し説明できること、軍縮・不拡散問題に対する日本の役割について自己の見解をもてるようになることを目標とする。	○			◎			
	国際金融論	M-ECN316	300	講義	4	グローバル化の中の金融現象に関わる理論および現実を理解し、国際関係学の学修を広げた経済学的視点からサポートする。	(1)グローバルな金融現象の理解する。(2)為替レート決定を中心とした国際金融の基礎を学ぶ。(3)国際財務活動の内容と金融派生商品の基礎的理論を理解する。(4)グローバルな金融危機現象を把握するために、金融リスクと金融テクニクの内容を理解する。(5)国際金融現象の背景としての国際政治経済システムを理解する。(6)マクロ経済学と関連した金融理論・金融政策を理解する。	○	○		◎			
	比較憲法論	M-LAW309	300	講義	4	日本、アメリカ、イギリス、フランス、ドイツの憲法を比較しながら、それぞれの類似点・相違点について、その理由とともに理解を深め、憲法を「自分ごと」として考える。	近代統治制度の特徴である「権力の制限」や「民主主義」の意義について理解できるようにする。類似の制度や現象を比較分析する比較研究の作法を習得できる。				○	◎	○	
		国際ボランティア論	M-IRE205	200	講義	4	発展途上国で現在起きている貧困・環境汚染・格差拡大といった社会問題を理解し、公平で持続可能な社会を作るために、国際機関現地政府、コミュニティ等各アクターと連携しながら、市民社会として果たせる役割について考える。	(1)本授業で取り上げるグローバルな問題について、問題が起きた背景を理解し、持続可能な開発目標(SDGs)と関連付けながら克服の方法を考える。(2)問題解決に向けた市民社会の役割を理解し、現地政府、国際機関、コミュニティなど他のアクターとの役割分担や関係性を理解する。(3)支援対象となる人々や地域の文化・習慣・価値観・社会の在り方などについて多面的に学ぶことの重要性を知る。(4)グローバルな問題とその克服に向けた多様な取り組みに関する情報収集能力が向上する。(5)市民社会の担い手としての自覚を持ち、社会課題を見つけ、解決に向けた行動に結びつけることなどが出来る。			○	○		◎

授業科目 区分	授業科目名	科目コード ナンバー	ナンバ リング	科目種別 講義 演習 実習 PBL など	単位	1. 科目の目的		2. 科目の到達目標		3. ディプロマポリシー							
						授業科目で何を目的に学修し、どのような内容の理解を 狙いとするか。	授業での教育・学修を通じて学生がどのような学修成果の 達成を目指すか、何を到達目標とするか。	多角的な視 野からの幅 広い知識と教 養を身につけ ている	国際関係分 野の専門知 識とその応用 に必要なコ ミュニケー ション力を身 につけている	国際社会の 多様な価値 観や文化を 理解し、自立 かつ協働して 諸問題に取り 組むことがで きる	国際社会に おける問題の 理解と解決に 必要な情報 やデータを取 集め、分析し、 論理的で多 角的かつ批 判的な思考 をもとにして 問題の解決 に取り組むこ とができる	市民として社 会に対して関 心を持ち、グ ローバルな視 点から国際 関係の幅広い 知識や経験 を活かして社 会に貢献す ることができ る	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5
② 国際 協力 国際関係学 科専門分野	国際援助技術論	M-IRE201	200	講義	4	国際社会で実施されている、様々な援助の形態や プレイヤーについて、学ぶ。あわせて、世界と援助 が直面する課題についても、学ぶことを目的として いる。	外交、ビジネス、研究などの分野で、援助の役割を 理解する能力や、援助を通じて、国際情勢を理解す る能力を身につけることを、到達目標としている。	○			○			◎			
	国際理解論	M-IRE206	200	講義	4	国際社会における問題を理解し、異なる価値観をも つ人々が平和な社会を構築するための国際理解の あり方について、SDGsの「多様性の豊かさ」を基礎 に、社会の問題を自分ごととして考える能力と態度 を育成する。	市民の一人として、(1)世界の多様な社会や文化の 違いについて知り、(2)異文化の他者と共生してい くための基本的な視座を理解し、(3)摩擦を乗り越 え、平和な多文化共生社会を構築するための、思考 力、実践力を養う。			○	◎		○				
	国際組織論	M-IRE212	200	講義	4	伝統的な国際組織がいかに機能し、あるいは機能 出来なかったか、新たに世界はどう対応してきたの か、日本が具体的にいかに関わっていったかなどを 検証する。	(1)日本が重要な場で、いかに活躍出来たか、出来 なかったか、などの眼を養う。(2)国際組織がいかに 機能できたか、出来なかったかの限界を理解する。 (3)将来の外交の場で、日本は如何に活躍できるか 考え、(4)マスコミ、政府の言うことが、信じられ るかどうかについて考える力を身につけることができる。	○					◎				
	国際環境論	M-IRE215	200	講義	4	自然科学から社会・人文科学までの広い視点から、 そして数々の事例によって、現代社会の環境問題と それに対する対策の現状と課題を理解し、問題解決 のための方策を考える。	環境保全について理解を深めるだけでなく、主体的 に捉え、それぞれの立場で行動に結びつけていくこ とを目標とする。	○		◎			○				
	国際NGO論	M-IRE213	200	講義	4	国際社会の諸問題の解決のために、NGOが各セク ターと協働する中でどのような役割を果たすのかを 理解し、実際の活動に必要な知識とスキルを修得す る場を提供すること。	前半(理論編)はNGOの組織特性、マネジメント、問 題解決プロセスについて体系的に学ぶこと。後半 (実践編)は実際の活動に役立つ知識・知恵・スキ ルを身につけること。				○		◎				
	ジェンダー論	M-SOC207	200	講義	4	ジェンダー概念についての理解を基本として、主 として1975年以降の国連や日本政府の男女平等政 策、男女共同参画社会の形成を中心に概観し、ジェ ンダーをめぐる諸課題、特に現代日本の少子化対 策に関連して「性と生殖に関する健康と権利」につ いて考察する。さらにフェミニズム(女性解放)や、セ クシュアル・マイノリティの主張、運動、性の多様性 について理解を深める。	ジェンダーという概念や論点を理解し、具体例をも って説明できる・日本のジェンダー平等とその政策 について国際的視点をもって説明できる・性の多様 性と日本の状況について説明できる・ジェンダー視 点から人権問題、「性と生殖に関する健康と権利」に ついて説明できる・固定的な性別役割意識にとられ ず、自分自身の将来設計を描くことができる。			◎		○	○				
	国際開発論	M-IRE202	200	講義	4	先進国および発展途上国ともに、格差の拡大が大 きな問題となっており、世界各国の発展の可能性に つき、データを確認しつつ考察し、世界の投資、貿 易、外交政策の動向を確認する。	世界各国の文化・社会の基盤の差異を知り、各国 の制度とその差異を理解し、国際的な制度の組み 直しの必要性を考え、発展途上の諸国が、今後ど うの道を進むかを検討できるようにする。				○	○	◎				
	国際統合論	M-IRE309	300	講義	4	統合理論と統合の現実を対比しながら望ましい未来 を展望するとともに、国際関係学部の中の国際協力 分野の1科目として現代国際政治経済を理解する上 での理論的・応用的視点を養う。	(1)ヨーロッパで、戦後、統合の動きが活発化した歴 史的背景を理解する。(2)同時多発的に形成されつ つある地域共同体を中心として統合の現状を把握 する。(3)アジアにおける統合の必要性と可能性を考 察する。(4)各地域統合の総合によって世界全体の政治 ・経済構造を把握する。(5)グローバル化による各種 統合現象を考察し、理解する。	○		◎		○					
	国際ジャーナリズム論	M-IRE325	300	講義	4	インターネット時代における「メディア」の果たすべ き役割とは何か。公正なる国際報道はいかに作られ るか。国際社会における「ジャーナリズム」のあり かたを現在・過去・未来の視点から考察し、的確に 分析する。	現在進行形の「米中冷戦」をめぐる報道を中心 に、思考力や分析力、問題発見力、方針決定力 の向上をめざす。グループディスカッションや小論文 の作成を経て、社会人として実践で通じる情報発信 力を得る。	○	○			◎					
	国際人権論	M-IRE307	300	講義	4	人権概念の変遷と課題についての理解と、国際的 な人権保障の枠組みについての理解ならびに日本 国の人権保障に関する国際的な責任について理解 する。	人権概念とその国際的な保障枠組について理解 できるようになる。また日本に課せられた国際社会 における責務や国際NGOによる人権活動の意義も理 解できるようになる。				○	◎	○				
	国際資源論	M-IRE306	300	講義	4	日本および世界のエネルギーと環境、それに食料・ 農業に関連した資源全般の問題につき、広く、そし てできるだけ深く勉強し、日本の政策の注目点、世 界の主要国の動向を考察する。	エネルギー、環境、食料・農業問題につき、制約条 件を確認し、今後のライフスタイルを考え、各国間 の利害が異なり、国ごとに意見が出ずるを得ない 問題と理解し、自分の意見を言う。				○		○				
	国際経営論	M-MNG310	300	講義	4	国際分業及び各国の価値規範を踏まえ、成熟した 国際社会で多国籍企業を母体に展開される国際 経営を、日本企業を中心に理論的、実践的に理解 し、説明できる能力を養う。	第2ステージに入り、主たる舞台を新興国に移し展 開される国際経営、特に日本企業における国際経 営の実際的側面について、理論に基づき理解、説 明できる。				○	◎	○				
	多国籍企業論	M-MNG315	300	講義	4	21世紀の国際経済社会の問題、課題を理解し、経 済潮流を踏まえ、多文化世界での多国籍企業活 動、特に日系多国籍企業の備える特性とその活動 を通して、その在り方を考究する。	内向化した時代、人口動態の移行形態に即し国際 経済の牽引役を担う新興国を主たる舞台に活動す る、経済潮流の主体であり、多大な影響力を持つ に至った多国籍企業について理解できるようになる。			◎		○					
	日本政治史	M-POL202	200	講義	4	明治維新から150年を越えたことを念頭に、幕末 から冷戦後の今日に至る日本政治の流れを国際 環境の裏面と関連付けながら概観する。前半は幕 末期から敗戦まで、後半は占領期から現在までの 日本の内政および外交を歴史的、政治学的に論じ る。	明治維新以降、約150年の日本政治の流れを理解 することによって現在の日本政治をみる眼を養うこ とを目指す。特に国際環境の変化と日本の政治 ・権力の相互作用の観点から日本政治が理解でき るようになる。	◎									
	日本外交論	M-POL215	200	講義	4	戦前から戦後、そして今日に至るまでの日本外交 を、国際環境、国内要因、政策決定者個人々のレ ベルから概観する。	日本外交の史的展開を把握し、戦後主要各国と日 本との2国間関係を理解し、今日の日本外交の主要 課題(領土問題や歴史問題)について考察を深め る。			◎		○	○				
日本社会文化論	M-POL210	200	講義	4	世界的な観点からみた日本という視点から、日本 の特徴的といえる事象に重点を置いて、日本の社会 や文化について理解を深める。	日本とアジア諸国との違いが生まれたかを自覚 できるようにするとともに、(1)他のアジア諸国と違 う日本の独自性を見出すことができる。(2)日本社会 の特徴を説明することができる。(3)日本の特徴を生 かした未来への展望を築くことなどができるように なる。	◎			○		○					
アメリカ社会文化論	M-ARS204	200	講義	4	アメリカの「社会と文化」を、主に大衆文化を中心 として、アメリカのエスタブリッシュメントの中心価値 となっている「主流文化」と、若者や女性、マイリ ティが担い手の「対抗文化」という二項の「綱引き」 の図式を念頭に考察する。	アメリカ文化は「主流文化」と「対抗文化」がせめ ぎ合い、綱引きを繰り返しているという認識のもと これら二項を理解し、アメリカの歴史・社会・文化に ついての基本を踏まえて、アメリカ文化を「消費す る」ことについても理解する。	○			○		◎					
ヨーロッパ社会文化論	M-ARS211	200	講義	4	現代ヨーロッパの諸事情について、その歴史的背景 に遡って考察し、知識・認識を深める。	現代ヨーロッパの諸事情について、その歴史的背景 に遡って考察し、知識・認識を深める。	○			○		◎					
ロシア社会文化論	M-ARS212	200	講義	4	さらなる相互理解が必要なロシアの歴史と文化を多 面的に学び、その根拠に流れるロシア的な考え方 や世界観を理解すること。	ロシアの社会と文化の独自性と多様性を学び、今 のロシアの姿の背後にある豊かな歴史の奥行きを知 ること。また、ロシアを通して自分たちを取り巻く諸 問題を再考する力を養うこと。	○			○		◎					

国際関係学部 国際メディア学科 専門教育分野 TLO: Target and Learning Outcomes

授業科目区分	授業科目名	科目コード ナンバ	ナバ リ	科目種別 講義 演習 実習 PBL など	単位	1. 科目の目的	2. 科目の到達目標	3. ディプロマポリシー					
						授業科目で何を目的に学ぶか、どのような内容の理解を狙いとするか。	授業での教育・学習を通じて学生がどのような学習成果の達成を目指すか、何を到達目標とするか。	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	
								多角的な視野からの幅広い知識と教養を身につけている	国際社会におけるメディアの役割を理解し、情報の受発信についての技術力と実践力及びメディア・コミュニケーション力を身につけている	国際社会の多様な価値観や文化を理解し、自立的かつ協働して諸問題に取り組むことができる	メディアから発信される多様な情報を収集・分析し、論理的で多角的かつ批判的思考をもとにして問題の解決に取り組むことができる	市民として社会に対して関心を持ち、グローバルな視点からメディアやコミュニケーションに関する知見や技能を活かして社会に貢献することができる	
必修	国際関係学入門	M-IRE101	100	講義	2	国際関係学の全体像を提示し、2年次以降の専門科目履修に際しての学習計画の指針を提供する。	諸国際問題について、基礎的な理解ができ、全体像を把握できるようにする。	◎		○			○
	基礎演習	M-SEM201	200	演習	2	国際問題に対する多様なアプローチを知ることで、国際関係という学びの分野の全体像を把握させる。	国際問題について基礎的な理解をする。次年度以降の専門科目を計画立案する指針を作る。	○	○	◎			
	専門演習	M-SEM301	300	演習	2	学部の特長分野から選択し、その研究に必要な基礎知識と実践方法を少人数クラスで徹底して学ぶ。	専門研究の必修スキルである読解・調査・発表・討論等の能力を身につけ、さらなる学習の準備をする。			○	◎		○
	卒業研究	M-SEM401	400	PBL	4	基礎演習での学習を踏まえ、さらに各専門分野についての知見と実践を深める。	高度な専門性を有する分野について、研究発表や論文執筆などの実践的な能力を身につける。	○		○	◎		
卒業研究	メディア産業論	M-MED101	100	講義	2	グローバル・メディアを学ぶ入門科目として、情報通信、広報・広告、映像、コミュニケーション、観光、メディアと言語などを総合的に学び、今後の専門学習に役立つ。	グローバル・メディアを学ぶための様々なテーマや専門科目の概要を理解し、今後の専門科目・演習の履修選択や卒業後の進路について指針を得ることができる。	◎	○				
	コミュニケーション理論	M-MED205	200	講義	2	マス・コミュニケーション分野における基礎的な理論研究の概観と歴史的な流れを中心に論じ、昨今のSNS事情等も含めてメディアを巡る社会問題の背景とその構造を提示する。	メディア分野の理論研究の基礎的な内容を理解できる。自身の研究テーマや関心分野との関係性を理解できる。必要に応じて教科書や参考文献等の専門書を参照、内容を理解できる。	○			◎		○
	スポーツジャーナリズム	M-HES233	200	講義	2	「スポーツとは何か」を求め、スポーツの舞台の表と裏の事情をその課題とともに探る。	スポーツが置かれている国内外の現状を理解し、それらの課題とともに社会に如何に伝えるかについての理論や実践を身につける。	○			◎		○
	メディア史	M-MED208	200	講義	4	我が国のメディア史を中心に、ジャーナリズムのみならず、映画や出版等も含めた大衆文化、さらにはインターネット等の情報通信分野に至るまでメディア分野の歴史を幅広く提示する。	メディアの発展過程に関する基本的な内容を理解できる。自身の研究テーマや関心分野との関係性を理解できる。日常生活で利用しているメディアや関連サービスの背景を理解できる。	○			◎		○
	情報政策論	M-MED209	200	講義	4	情報政策を巡る歴史や産業動向等を含めて多角的な視点から論じ、昨今、国際問題としても注目される情報通信産業を巡る課題とその社会的背景を提示する。	情報政策分野の概観と関連研究に関する基本的な内容を理解できる。自身の研究テーマや関心分野との関係性を理解できる。日常生活で利用している情報通信サービスの背景を理解できる。	○			○		◎
	メディア・倫理法制	M-MED210	200	講義	4	立憲民主主義国家を形成維持していくために必要な「政府に対する監視機能」「国民への情報提供機能」としてのマスメディアのありかたについて理解する。	社会情報の信頼性について自ら判断し、また近年盛んなSNSとの関わりかたなども含めて、デマや偽情報や煽動的な情報に惑わされないメディアリテラシーを身につけることができる。	○				○	◎
	出版論	M-MED211	200	講義	4	現場で働く編集者の仕事をケーススタディで学ぶと同時に、出版文化や出版の歴史について理解する。	編集の仕事、情報収集や人脈づくりのケーススタディ、企画立案、取材、記事、原稿執筆の修得。		◎			○	○
	写真演習	M-MED212	200	講義	4	的確に写真に収める写真技術や表現力を身につけ、将来仕事として写真に関わりたい人にとっても、実践的な撮影テクニックと様々な表現技法の実習により習得する。	撮影技術・表現技法の習得し、デジタル写真を基礎技術として習得し、自分の仕事やパフォーマンスに即戦力につながるディレクション力を習得するとともに各自のオリジナリティに溢れたレポートやアート作品の制作を目指す。			◎			○
	取材・ライティング演習	M-MED213	200	講義	4	「自分にしか書けないことを、誰にもわかる文章で書く」力を身につける。	第一に、わかりやすい文章を書くための技術を習得し実践できる。第二に、読者を喚起する原稿をつくるうえで必要な取材の方法を会得し実践できる。第三に、第一、第二の知識・技術を駆使してコアとサブセ、対談・インタビュー記事などさまざまなスタイルの原稿をつくることできる。	○	○				◎
	広告演習 I	M-MED204	200	演習	4	広告がどんな背景・狙いで作られているのかを理解し最新事例を取り上げつつ具体的に広告制作を学ぶ。	広告の役割・狙いを理解し、様々な角度から物事を考え、発想力、表現力を養いアイデアを企画書にまとめられるようにする。また、協同して課題を解決する力を養う。		◎		○		
	映像制作 I	M-MED202	200	実習	4	映像メディアに関する知識を深め社会的な関心を持つ。映像表現にどのような可能性があるかを学ぶ。グループ作業や学外取材によって自主性や規律・チームワークを学ぶことも目的とする。	映像の取材・カメラ撮影・映像編集で学んだ映像表現の技術を生かし、グループで協力しながら、スタジオで収録する番組を企画制作、ネット配信することを到達目標とする。			◎			
	映像制作・取材	M-MED203	200	実習	4	映像メディアに関する知識を深め社会的な関心を持つ。特に映像の撮影に関する知識・技術を学ぶ。グループ作業や学外取材によって自主性や規律・チームワークを学ぶことも目的とする。	HDビデオカメラ(SONY HXR-NX70J)を使用して撮影に関する基本的な知識・操作を取得し、最終的に個人で取材インタビュービデオ撮影し提出することを到達目標とする。	○	◎				○
	ナレーション演習	M-MED214	200	演習	4	スタジオシステムの活用(録音、視聴)、講師の講評を受ける。このことにより、自身の表現力などを冷静に分析し、自己のコミュニケーション能力改善に活かす。アナウンスメントの現場に長期に携わる講師の経験を得て、「話す、読む、聴く」の力を高める。さまざまなジャンルの作品に触れることで語感を増やし、思考力・判断力を高める。	自身の考えを論理的に分かりやすく伝えられるようになる。「豊かな日本語」、「正しい敬語」を駆使し、他者と適切なコミュニケーションをとれるようになる。「他者に元気を感動を与える」「他者に感謝を伝える」「他者を励ます」ことのできる表現者になる。	○		◎			○
	広告メディア論	M-MED306	300	講義	4	国際社会における多様なメディアを支える広告ビジネスと広告コミュニケーションについて幅広い知識と基礎的な理解力、実践力を学ぶ。(1)広告コミュニケーションの送り手・受け手の専門性・実践力と応用力を学ぶ。(2)メディアの受け手・利用者として有料(サブスクリプション)と無料(広告)のビジネスを学ぶ。(3)グローバルなメディア・コミュニケーションのリテラシー(読み書き)を習得する。	(1)国際社会・ビジネスで活躍するための広告コミュニケーションの専門性・実践力・応用力。(2)国際メディア・ソーシャルメディア等の企業で活躍するための専門性・実践力・応用力。(3)広告コミュニケーションを通じてのメディア・リテラシー(読み書き)の獲得・実践力。			◎		○	
	パブリックリレーションズ	M-MED319	300	講義	4	パブリック・リレーションズ(PR=公共関係)の観点から、個人・組織・団体と、国際社会・市民・顧客・就職希望者・投資家などとの双方向コミュニケーションの基礎知識と基本実務について幅広い知識・理解を深め、国際社会で活躍するために必要な専門性・実践力を学ぶ。	(1)政府・行政・企業・NPO(非営利法人)・NGOなどのPR専門職の仕事の基礎的理解。(2)広報・PRの具体的な業務としての記者会見・取材対応などの実務・実践力・応用力養成。(3)地方自治体の行政広報・大学・病院等の法人広報、地域振興・観光PR等の専門性理解。			○		◎	○
ソーシャルメディア・コミュニケーション	M-MED316	300	講義	4	近年、その社会的な影響力が注目されているソーシャルメディアを巡る歴史、市場、事業戦略、社会問題、法制度等を含めた多角的な視点から論じ、その背景と社会との関係性を提示する。	ソーシャルメディアの背景を理解できる。ソーシャルメディアと社会を巡る問題について理解できる。日常生活で利用しているソーシャルメディアのリスクと課題を理解できる。	○			◎		○	

①メディア

授業科目 区分	授業科目名	科目コード ナンバー	ナンバ リング	科目種別		1. 科目の目的	2. 科目の到達目標	3. ディプロマポリシー				
				講義 演習 実習 PBL など	単位			DP1	DP2	DP3	DP4	DP5
								多角的な視 野からの幅 広い知識と教 養を身につけ ている	国際社会に おけるメデ アの役割を理 解し、情報の 受信につ いての技術 力と実践力及 びコミュニケ ーション力を 身につけてい る	国際社会の 多様な価値 観や文化を 理解し、自立 かつ協働して 諸問題に取り 組むことがで きる	メディアから 発信される多 様な情報や データを収 集・分析し、 論理的で多 角的かつ批 判的な思考 にもとづいて 問題の解決 に取り組むこ とができる	市民として社 会に対して関 心を持ち、グ ローバルな視 点からメデ アやコミュニ ケーションに 関する知見 や技能を活 かして社会に 貢献すること ができる
	国際関係学特殊講義B	M-IRE217	200	講義	4	流動的な国際関係の動きに応じて、現代的なテーマを設定して講義を行う。	現代的な国際関係の諸問題を客観的に分析し、国際関係のいまを精確に理解すること。			○	◎	○

人間社会学部 福祉心理学科 専門教育分野 TLO : Target and Learning Outcomes

授業科目区分	授業科目名	科目コード/ ナンバ	ナンバリング	科目種別 講義 演習 実習 PBL など	単位	1. 科目の目的	2. 科目の到達目標	3. キーワード	4. ディプロマポリシー					
									DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
教育	教育原理	T-EDU108	100	講義	4	「教育とは何か」に視点を置きながら、教育の理念、思想、歴史等について基礎的な知識を網羅的に学習する。	1. 教育の理念や目的を理解している。2. 教育の歴史や思想を理解している。3. 学校教育や社会教育等に関する基本的事項を理解できる。	教育の理念、教育の目的、教育の思想、教育の歴史、学校制度、生涯学習		○	○		○	◎
	教育相談	T-EDU109	100	講義	2	教育相談を心理臨床学の視点からとらえ、基本的な理論及びその実際を学習するために、多くの事例を学習する。	実践的かつ理論的な対応法は、基礎的・体系的な知識を欠くことが出来ないため、心理臨床学に裏打ちされた教育相談の基本を体系的に理解できる。	教育相談、こころの構造、いじめ、アセスメント、カウンセリング、こころの病理、発達失調、登校拒否		○	○		◎	◎
福祉	社会福祉概論	M-SWS101	100	講義	4	子どもや高齢者、障害のある人などすべての人たちの尊厳が守られ、安心して生活できる地域や社会の創造に向けて社会福祉の果たす機能や役割など、基本的な知識を学習する。	社会福祉の概念や定義を理解する。その上で、社会福祉の様々な分野や関連する施策、制度、サービスについて理解を深めることができる。	社会福祉の概念、歴史的展開、権利擁護、社会福祉の理論、社会政策の基本的な視点、福祉サービスの供給と利用の過程	○	○		○	◎	
	子ども家庭福祉	M-SWS222	200	講義	4	子どもや家庭を取りまく地域や社会の現状を理解し、子どもが健やかに育ち、その尊厳と権利が守られる社会の実現に向けた子ども家庭福祉の全体を学習する。	子どもや家庭を取り巻く社会環境や、現代社会の子ども・子育て・子育てへの影響を理解できる。その上で、子ども・家庭への支援や施策、法制度などについて理解できる。	子どもの権利、子どもと家庭・地域、子ども・子育て支援の諸施策、児童虐待防止、社会的擁護、制度・サービス	◎	○				
	医療社会論	M-SOC311	300	講義	4	医療の社会的役割や影響力、またその変容について、さまざまな角度からクリティカルに考えていく。	医療社会論において論じられている具体的事柄について考えるための方法とスキルを身につける。	医療社会論、健康と病の経験、病人役割、感染症と社会的排除、優生思想、専門家支配	◎	○				
心	教育心理学	T-EDU110	100	講義	4	教育場面に関わる心理学として、4つの柱(発達・学習・測定・評価、人格・臨床)を中心に学ぶ。教職必修科目である。	子どもや保護者の心理、学習や記憶のしくみを理解し、どのように教育評価を行ったり、生徒に接するべきかについて理解を深めることができる。	生涯発達、学習・記憶、教育評価、知能指数、発達障害、カウンセリングマインド	○	◎				
	発達心理学	T-PSY101	100	講義	4	乳幼児期から老年期のこころと身体の発達、各時期で遭遇する問題とそれらへの対処法を学ぶ。	人間発達の特殊性と、乳幼児期から老年期の各段階ごとの発達課題と生じやすい問題、病理的特徴を理解できる。	生涯発達、家族関係、アタッチメント、認知発達、発達障害、介護、虐待	◎	○				

授業科目区分	授業科目名	科目コード/ナンバ	ナンバリング	科目種別 講義 演習 実習 PBL など	単位	1. 科目の目的 授業科目で何を目的に学修し、どのような内容の理解を狙いとするか。	2. 科目の到達目標 授業での教育・学修を通じて学生がどのような学修成果の達成を目指し、何を到達目標とするか。	3. キーワード 学修の参考となる重要なキーワードなど	4. デイロマポリシー						
									DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	
									社会福祉学と心理学の双方の学びを通して、共生社会の様々な現場、心理学を活用できる様々な現場で活躍するために幅広い教養を身に付けている。	私たちが生活する社会のなかでの福祉の在り方(知識、技術、制度)を把握、理解しているとともに、心理学を通じて心のしきみを理解し、その双方の知識と技術を生かして、他者や社会のための専門的な実践ができる。	共生社会の在り方や社会制度の知識を十分に理解して、福祉の在り方を考えることができる。データの収集と分析において心理学の方法論を十分取り入れ、心や社会の仕組みを理解して問題解決を図ることができる。	福祉に関する共生社会の在り方や社会制度、支援技術の知識を十分に理解、把握している。そして心理学の専門的な知識と技術を生かして、社会を俯瞰的、多角的に見ることができ、他者と協働してコミュニケーションをとることができる。	福祉制度の理念と知識、そして支援技術を十分に理解、把握している。そして心理学の専門的な知識と技術を生かして、社会に貢献する態度を有している。	社会人としての責任感・倫理観を遵守しつつ、福祉と心理学の知識や技術を新たに社会の支援のために活用することができる。	
理 学 科 間 共 通 専 門 科 目	対人関係論	M-PSY207	200	講義	4	対人場面における人間の心理行動を社会心理学の諸理論から学修する。	対人場面における人間の心理行動を社会心理学的見地から理解するとともに、社会心理学の諸理論に対する理解を深めることができる。	思考力、知識の理解、専門知識、基礎的学修、当該領域への関心、批判的思考力、自律性	◎				○		
	社会心理学	M-PSY202	200	講義	4	多様な社会場面における人間の心理行動を社会心理学の諸理論から学修する。	多様な社会場面における人間の心理行動を社会心理学的見地から理解するとともに、社会心理学の諸理論に対する理解を深めることができる。	思考力、知識の理解、専門知識、基礎的学修、当該領域への関心、批判的思考力、自律性	◎				○		
	スポーツの歴史と文化	M-SOC209	200	講義	4	スポーツを一つの文化として捉え、それが近現代社会のなかでどのような歴史を経て人びとに受け入れられてきたかを理解し、そこから自分の言葉で今後のスポーツのあり方を考えていくことができるようになる。	近現代社会において、スポーツがいつ頃からいかに受容されたのか、その過程でどのような軋轢や抵抗、また進歩や発展が示されたのか、従来からある価値意識とどのように融合してスポーツが展開してきたかを理解し、それを踏まえて、将来のスポーツのあり方を自分で考えられるようになる。	スポーツ、遊び、祝祭。歴史、日本近代史、日本現代史、社会史、近代化。社会変動、社会構造、文化、規範、価値意識。					○	◎	
	スポーツ心理学Ⅰ	M-HES112	100	講義	2	学校教育における体育・運動、競技スポーツやレクリエーションとしてのスポーツ、健康・医療領域での運動やスポーツ、および日常生活での運動行動などについて心理学的観点から学修する。	スポーツの心理面への影響、運動学習のメカニズム、運動による健康の増進、競技者の心理などの理解を通して、心理学的観点からスポーツをより深く理解できるようになる。	運動と知覚、運動の学習と指導、スポーツと動機づけ、スポーツの社会心理、運動行動の変容、競技心理、メンタルトレーニング、スポーツ臨床		◎			◎	○	○
	スポーツ心理学Ⅱ	M-HES240	200	講義	2	スポーツと発達、スポーツと「やる気」、運動行動の促進、スポーツ選手のバーンアウト、スポーツ傷害における心理サポート、運動部活動における不適応等、身体運動やスポーツと心理の関連について幅広く取り上げ学修する。	スポーツの心理学的な理解を通して、スポーツの実践者として、あるいは指導者として、より効果的にスポーツ活動を展開したり、支援することができる素地をつくる。	運動学習、スポーツと発達、モチベーション、運動による健康の増進、心理サポート			○		◎	◎	○
	スポーツ・アドミニストレーション入門	M-HES227	200	講義	2	国際スポーツ・アドミニストレーター育成に向けて、スポーツ・アドミニストレーションの視点から基礎的な知識について学修する。	スポーツ外傷とスポーツ障害の予防法、指導者育成、イベントの企画運営能力など、「スポーツ・アドミニストレーション」に関する基本的な知識について理解できる。	スポーツ・アドミニストレーション、国際スポーツイベント、スポーツ医学、指導者	◎				◎	○	○
	スポーツ産業論	M-HES248	200	講義	2	スポーツ産業は用品、施設、スポーツクラブ、プロスポーツ、メディアなど多岐にわたる。スポーツ用品産業(事業戦略、マーケティング、生産、販売促進、営業(販売)活動)における基本的な流れを学ぶ。さらに、スポーツクラブ経営、スポーツマネジメント、スポーツメディア、アスリートのセカンドキャリア等についても学ぶ。なお、本授業はミズノ株式会社の各部門の担当者やスポーツビジネスに携わる関係者の事例を踏まえた講義を行う。	スポーツ産業における基本的な流れを学ぶことでスポーツの職業領域を理解することができる。	CSR、開発、スポーツ施設、経営、SDGs、アパレル、広報、プロモーション		○	○		◎		○

授業科目区分	授業科目名	科目コード/ナンバ	ナンバリング	科目種別 講義 演習 PBL など	単位	1. 科目の目的	2. 科目の到達目標	3. キーワード	4. ディプロマポリシー							
									DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6		
福祉系専門科目	地域福祉の理論と方法	M-SWS223	200	講義	4	地域に存在する多様な福祉課題を理解し、「地域共生社会」の実現の意義を踏まえ、その推進に向けた地域福祉に関する理論や推進主体、推進方法などを学修する。	福祉課題に直面する人々（高齢者や障害者、生活困窮者など）が生活していくことのできる地域や社会の創造に向けた地域福祉の理念・理論・実践方法などを理解できる。	多様化・複雑化する地域生活課題、地域福祉の基本的な考え方、地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制、福祉教育、ボランティア	社会福祉学と心理学の双方の学びを通して、共生社会のための様々な現場、心理学を活用できる様々な現場で活躍するために幅広い教養を身に付けている。	○	○	◎	◎	○	○	
	低所得者に対する支援と生活保護制度	M-SWS224	200	講義	4	生活保護制度に関し、その理念と制度の内容、実施機関である福祉事務所等の現状と課題等への理解を深める。	国民的最低限(ナショナル・ミニマム)を制度的に理解し歴史をふまえた上で現在の生活保護法を理解する。また、貧困を多様な側面から考察できる。	貧困、救済制度、ナショナル・ミニマム、生活保護法、公的扶助、現代の貧困		○				○	○	
	高齢者福祉	M-SWS225	200	講義	4	介護保険制度について知る。	介護保険制度の成立過程と概況、現状と課題について理解し、実践に活用できる。	高齢者、介護保険法、認知症ケア、介護サービス、終末期ケア		○			○	◎	◎	
	障害者福祉論	M-SWS205	200	講義	4	国連の障害者の権利条約、国際生活機能分類(ICF)を通じて、障害者福祉に対する基本的な姿勢、概念枠組みを理解した上で日本の障害者福祉の現状と課題を検証する。	福祉専門職にとって必要な、障害者福祉に関する諸理念や法制度を理解し具体的に活用するための力を養う。	1障害者の権利条約 2障害者総合支援法 3身体障害者福祉法 4知的障害者福祉法 5精神保健福祉法 6発達障害者支援法 7障害者虐待防止法		○			○	◎	◎	
	ソーシャルワーク論	M-SWS226	200	講義	4	相談援助の理論と方法について学修する。	ソーシャルワークの理論を知り、その理論に基づく支援方法を理解し、実践に活用できる。	相談援助、人と環境との相互作用、援助関係、アウトリーチ、アセスメント、モニタリング		○			○		○	
	社会保障論	M-SWS304	300	講義	4	ソーシャルワークに必要な社会保障制度における社会資源について学ぶ。	社会福祉士・精神保健福祉士業務に不可欠なレベルで当該科目を理解できる。	社会保障、社会保険、公的保険、民間保険、年金、健康、介護保険		○			○	◎	◎	
	社会貢献と地域活動	M-SWS318	300		4	地域社会には、多様かつ複雑な社会課題が発生している。社会課題が発生する背景・要因を構造的に理解し、その予防と解決に向けた方策を、社会貢献の視点から学修する。	多様な社会課題の存在と、その発生要因や背景を構造的に理解し、併せて社会貢献活動を具体的に理解し、社会課題の予防や解消に向けた具体的な方策を考えることができる。	社会課題、福祉課題、社会貢献、社会貢献活動、NPO、ファンドレイジング、クラウドファンディング		○	◎	◎	◎	○		

授業科目区分	授業科目名	科目コード/ナンバ	ナンバリング	科目種別 講義 演習 実習 PBL など	単位	1. 科目の目的	2. 科目の到達目標	3. キーワード	4. デイロマポリシー						
									DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	
	家族福祉論	M-SWS319	300		4	現代家族の特質や様々な家族問題について学び、家族支援の方法について理解することを目的とする。	家族福祉に係る法律・制度、施策や社会資源、さらに家族支援の方法について理解できる。	現代家族、家族問題、家族支援、ファミリーソーシャルワーク		○				○	
	労働者のメンタルヘルスと法	M-SWS320	300		4	我が国では、労働者のメンタルヘルスが課題となっている。本講義では、労働者の働き方の現状、労働者を守るための法律、他の先進国との比較、ストレス関連疾患と知識とその予防・対策を説明することを通じて、我が国が目指すべき方向性及び施策について学ぶ。	我が国や先進諸国の労働状況について知る。また労働法や産業安全衛生法等の労働に関する法や 規定について知る。さらに心身ストレス関連の疾患及び、その予防・対策について学ぶ。	過労死、過重労働、ストレス性疾患ストレスマネジメント、労働基準法労働安全衛生法、				○		◎	◎
	臨床心理学概論	M-PSY101	100	講義	4	人の「こころ」についての基本的学問である臨床心理学の諸領域について学修する。	人の「こころ」の構造、人の成長過程を理解し、人間関係がどのように形成、維持されるかを理解できる。	こころ、成長過程、心理的援助法、心理査定		◎			◎		
	公認心理師の職責	M-PSY210	200	講義	2	公認心理師法のもとで、公認心理師を含む心理専門職の仕事の内容、法的義務や職業倫理などを学ぶ。	公認心理師と、他の心理職と何が異なるのか、その職域、職務、資格などについて理解・説明できる。	欧米・日本の心理師の歴史、公認心理師法、法的責務、倫理		○			○	◎	◎
	心理学研究法	M-PSY203	200	講義	4	心理学で工夫されてきた「こころ」研究の代表的な方法である実験法、調査法などを学ぶ。	心理学の研究方法を理解し、「こころ」に関する疑問を解決する方法がイメージできるようになる。	心、実験法、調査法、観察法、検査法、面接法		○	◎		○		○
	心理学統計法	M-PSY211	200	講義	4	心理学が基本的に用いる統計手法(記述統計学および推測統計学)を学ぶ。	データの読み方および種々の統計手法を理解できるようになり、得られた差が統計的に意味のある差なのかどうかを判断することができる。	代表値、有意差、相関係数、t検定、カイ2乗検定、分散分析、因子分析		◎	◎		○		○
	感情・人格心理学	M-PSY212	200	講義	2	パーソナリティ理解の基礎となる認知と感情と行動の関係、人格の概念、人格の発達や変化、人格の様々な理論を学ぶ。	感情と感情喚起、行動に及ぼす影響、パーソナリティ概念と形成過程、類型、特性について理解する。	パーソナリティ、類型と特性、感情、感情喚起		◎			○		

授業科目区分	授業科目名	科目コード/ナンバ	ナンバリング	科目種別 講義 演習 実習 PBL など	単位	1. 科目の目的	2. 科目の到達目標	3. キーワード	4. デイロマポリシー						
									DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	
									社会福祉学と心理学の双方の学びを通して、共生社会のための様々な現場、心理学を活用できる様々な現場で活躍するために幅広い教養を身に付けている。	私たちが生活する社会のなかでの福祉の在り方(知識、技術、制度)を把握、理解しているとともに、心理学を通じて心のしみを理解し、その双方の知識と技術を生かして、他者や社会のための専門的な実践ができる。	共生社会の在り方や社会制度の知識を十分に理解して、福祉の在り方を考えることができる。データの収集と分析において心理学の方法論を十分取り入れ、心や社会の仕組みを理解して問題解決を図ることができる。	福祉に関する共生社会の在り方や社会制度、支援技術の理解して、さらに心理学の知識や技術、実践的なスキルを生かし、社会を俯瞰的、多角的に見ることができ、他者と協働してコミュニケーションをとることができる。	福祉制度の理念と知識、そして支援技術を十分に理解・把握している。そして心理学の専門的な知識と技術を生かして、社会に貢献する態度を有している。	社会人としての責任感・倫理観を遵守しつつ、福祉と心理学の知識と技術を用いたために活用するために活用することができる。	
福祉心理学専門科目	心理学的支援法	M-PSY214	200	講義	4	相談業務全般という考えから、心理治療の技法を含む専門的な考え方まで学ぶ。	人の話をしっかり聞いて、できれば、相手が変わるような働きかけができる。	カウンセリングの諸技法、インタビュー、ケースフォーミュレーション、解釈、終結		◎	○	◎	○		
	精神保健学	M-SWS208	200	講義	4	過剰なストレスが社会問題となっている現代社会において、精神面の健康の維持増進は重要である。精神面の健康についての基本的考え方と現状、さまざまな施策を学修する。	精神保健の概念、ライフサイクルと精神保健、現代の精神保健分野の動向と基本的な考え方、社会課題と精神保健面からのアプローチを理解できる。	精神保健、学校教育と精神保健、家庭と精神保健、職場と精神保健、精神保健に関する課題の発生予防と対策		◎	◎	○	○		
	健康・医療心理学	M-PSY215	200	講義	2	健康や医療にかかわる心理学に関して重要なトピックスを幅広く、実例とともに理解する。	健康、医療における心理学、地域保健、災害時における心理支援活動、多職種による協働・連携について理解できる。	健康心理学、医療、地域保健、災害心理支援、多職種協働・連携		○		◎	○		
	学習・言語心理学	M-PSY216	200	講義	2	学習心理学では、ヒトと動物の条件づけ理論、その応用としての行動療法、言語心理学では言語発達や障害を学ぶ。	学習の基盤となる現象、強化の理論、そして言語の一般的現象を理解できる。	学習理論、条件付け、強化、言語学習、言語発達、失語症		◎	◎	○			○
	社会・集団・家族心理学	M-PSY217	200	講義	2	対人関係および集団が個人の意識と態度、行動に及ぼす影響、そして社会や文化、家族の社会心理学を学ぶ。	社会・集団・家族、対人関係や集団における人の意識と行動、態度および行動について、さまざまな理論を理解する。	対人認知、対人コミュニケーション、文化と個人、家族		◎					○
	心理的アセスメント	M-PSY218	200	実習	4	心理検査の基礎理論と各種の心理検査の成り立ちを知り、適切な利用法について体験を通して学習する。	心理検査の基礎理論を理解し、各種の知能検査とパーソナリティ検査について、その成り立ちと適切な利用法について理解できる。	心理検査、臨床心理学、心理アセスメント、心理的援助、知能検査、質問紙法、投影法		○	◎	◎	○		
	教育・学校心理学	M-PSY219	200	講義	4	子供にかかわる基本的な臨床的問題を、乳幼児から学校臨床まで毎回ひとつずつ考えていく。	臨床場面で子どもと出会ったとき、その子どもの発達や心理状態に合わせて、接することができる。	養育、不安、恐怖症、発達障害、不登校、いじめ、適応障害、学校臨床	○	◎			○		

授業科目区分	授業科目名	科目コード/ナンバ	ナンバリング	科目種別 講義 演習 実習 PBL など	単位	1. 科目の目的 授業科目で何を目的に学修し、どのような内容の理解を狙いとするか。	2. 科目の到達目標 授業での教育・学修を通じて学生がどのような学修成果の達成を目指し、何を到達目標とするか。	3. キーワード 学修の参考となる重要なキーワードなど	4. デイロマトリシー						
									DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	
									社会福祉学と心理学の双方の学びを通して、共生社会の様々な現場、心理学を活用できる様々な現場で活躍するために幅広い教養を身に付けている。	私たちが生活する社会のなかでの福祉の在り方(知識、技術、制度)を把握・理解しているとともに、心理学を通じて心のしきみを理解し、その双方の知識と技術を生かして、他者や社会のために専門的な実践ができる。	共生社会の在り方や社会制度の知識を十分に理解して、福祉の在り方を考えることができる。データの収集と分析において心理学の方法論を十分取り入れ、心や社会の仕組みを理解して問題解決を図ることができる。	福祉に関する共生社会の在り方や社会制度、支援技術を理解して、さらに心理学の知識や技術、実践的なスキルを生かし、社会を俯瞰的、多角的に見ることができ、他者と協働してコミュニケーションをとることができる。	福祉制度の理念と知識、そして支援技術を十分に理解・把握して、心理学の専門的な知識と技術を生かして、社会に貢献する態度を有している。	社会人としての責任感・倫理観を遵守しつつ、福祉と心理学の知識や技術を新たに社会の支援のために活用することができる。	
心理系専門科目	司法・犯罪心理学	M-PSY223	200	講義	2	犯罪・非行、犯罪被害、家事事件などの基本的知識、司法・犯罪分野における心理学的問題の知識を学ぶ。	犯罪・非行、犯罪被害などの基本的知識、そして司法・犯罪分野における心理学的な問題を理解できる。	殺人の心理学的な理解、犯罪の心理学、犯罪被害者加害者支援、司法の心理学的問題	○	◎			◎	○	
	産業・組織心理学	M-PSY222	200	講義	2	職業場面における人間の心理行動を産業・組織心理学の諸理論から学修する。	職業場面における人間の心理行動を産業・組織心理学的見地から理解するとともに、産業・組織心理学の諸理論に対する理解を深めることができる。	思考力、知識の理解、専門知識、基礎的学修、当該領域への関心、批判的思考力、自律性	○	○			◎	◎	
	人体の構造と機能及び疾病	M-SFD204	200	講義	4	医療や福祉の場において必要とされる医学の基礎知識を学ぶ。	臨床医学の各分野・体の構造と機能、現代社会における代表的な疾病、リハビリテーションなどの概略を理解できる。	心身の成長と発達、老化、生活習慣病など疾病の種類、発達障害などの障害の概要、リハビリテーション他	○				○	◎	○
	関係行政論	M-PSY220	200	講義	2	公認心理師としての業務を行うに当たり、関係法や行政組織・機関に対する必要な知識を学ぶ。	公認心理師は他職種や他機関との連携を、様々な分野の概要を知ることによってスムーズな連携が行えるようになる。	公認心理師法、保健医療、教育、福祉、司法・犯罪、産業・労働等の法律			○	○		◎	
	精神分析学	M-PSY221	200	講義	4	精神分析学における基礎的な理論とその特徴、精神分析的な精神発達論、精神病理学を学ぶ。	精神分析学、精神分析的な精神発達論、精神病理学の内容を自分の言葉で表現できる。	無意識、自我の働き、心の発達、アイデンティティ、自己愛、対象喪失、心の病			◎	○		◎	○
	神経・生理心理学	M-PSY311	300	講義	2	脳・神経系の構造から知覚や記憶、ストレス、睡眠やリズム、摂食行動や痛みなどの基盤、そして脳機能障害のうち高次脳機能障害を学ぶ。	脳・神経系の構造と機能、知覚や記憶、ストレス、睡眠やリズム、痛みのしくみ、高次脳機能障害を理解する。	脳・神経系の構造と機能、知覚や記憶、ストレス、睡眠やリズム、痛み、高次脳機能障害			◎	◎		○	○
	知覚・認知心理学	M-PSY313	300	講義	4	実験心理学の基本的な考え方を学び、感覚・知覚、学習、認知等の領域における成果を概観する。	実験心理学の目的、方法や知見を理解し、「こころ」に関する疑問を解決する方法がイメージできる。	心、実験、感覚・知覚、学習、認知			◎	○		○	○

授業科目区分	授業科目名	科目コード/ナンバ	ナンバリング	科目種別 講義 演習 実習 PBL など	単位	1. 科目の目的	2. 科目の到達目標	3. キーワード	4. デイプロマポリシー					
									DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
	福祉心理学	M-PSY310	300	講義	4	福祉領域における心理学的問題や問題解決に必要な心理学的知見を学ぶ。	日常生活の問題を心理学の立場で考え、障害・高齢支援の基礎を身につけて実際の支援に役立てることができる。	福祉、障害支援、高齢支援、ICF、QOL、バリアフリー、ユニバーサルデザイン		○	○	◎	◎	
	障害者・障害児心理学	M-PSY315	300	講義	4	障害者(児)の心理的特性に関する基礎的な知見と生活機能を高める支援や援助の方法を学ぶ。	ICFと様々な障害の心理的特性を理解できる。支援について理解し、適切な支援ができる。	心理特性、障害、ICF、支援、身体障害、発達障害		○	○	◎	◎	
	心理療法	M-PSY308	300	講義	4	心理療法の場において、人間の心がどのように変容していくかを、学修する。	心理療法における変化のプロセスを、箱庭、遊び、描画、夢、語りなどを通じて、具体的に理解できる。	イメージ表現、トラウマ、箱庭、セラピスト・クライアント関係、心の物語、親子関係			◎		◎	
	精神疾患とその治療	M-PSY316	300	講義	4	代表的な精神疾患について本人や家族の支援の視点から学修する。	精神疾患総論や治療、人権擁護、精神科医療機関における治療構造を理解できる。	精神疾患、神経症、統合失調症、気分障害、ストレス関連障害、依存症、薬物療法とリハビリテーション	○	◎			◎	
	心理学実験	M-PSY317	300	実習	4	知覚・認知・対人関係など基礎的な課題を行い、実験を理解し、レポートの書き方を身につける。	心理学実験に関する基礎的な知見を身につけ、実験レポートを作成することができる。	心理学、実験、研究法、心理統計、実験レポート		○	◎	○		○
	心理演習	M-PSY318	300	演習	2	公認心理師の仕事とその実際、その役割を学習する。	公認心理師としての能力や知識を、実習により習得し実践に活用できるようになる。	公認心理師の倫理、技能、支援、多職種連携		○		○	◎	◎
	心理実習	M-PSY402	400	実習	2	学外実習を体験して、その体験を記録、報告、ディスカッションをすることで、心理業務の実際を学ぶ。	学外実習を医療領域、福祉領域、教育領域で体験して、それを理解する。	学外実習、医療領域、福祉領域、教育領域		○		○	◎	◎

授業科目区分	授業科目名	科目コード/ ナンバ	ナンバ リング	科目 種別	単 位	1. 科目の目的	2. 科目の到達目標	3. キーワード	4. ティプロマポリシー						
									DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	
									スポーツお よび健康に 関する幅広い 教養を身に付 ける。	スポーツ・体 育・健康に 関する基礎的 知識やそれを 活用した指導 方法を体系的 に身に付け、 多様な人々に 対して適切な 働きかけがで きる。	スポーツ・体 育・健康に 関するデータを 収集、分析し て、人間とス ポーツとの関 係を理解し、 問題解決を 図ることができる。	スポーツ・体 育・健康に 関する知識や スキルを適切 に活用し、社 会貢献するた めに必要な コミュニケーション 能力や行動力 を身につけて いる。	人間の生活 の中で健康及 びスポーツが 精神、文化、 集団・社会に 与えるメカニ ズムを理解し 、隣接する 領域と協働し ながらグロー バルな視点か ら問題に 対応すること ができる力を 持っている。	健康の維持・ 増進への 社会的 ニーズに 応え、ス ポーツ・ 運動指 導者とし て求めら れる高い 倫理的 や創造的 態度、論 理的思考 力を有し ている。	
学 科 間 共 通 専 門 科 目	スポーツの歴史と文化	M-SOC209	200	講義	4	スポーツを一つの文化として捉え、それが近現代社会のなかでどのような歴史を経て人びとに受け入れられてきたかを理解し、そこから自分の言葉で今後のスポーツのあり方を考えていくことができるようになる。	近現代社会において、スポーツがいつ頃からいかに浸透されたのか、その過程でどのような軋轢や抵抗、また進歩や発展が示されたのか、従来からある価値意識とのように融合してスポーツが展開してきたかを理解し、それを踏まえて、将来のスポーツのあり方を自分で考えられるようになる。	スポーツ、遊び、祝祭、歴史、日本近代史、日本現代史、社会史、近代化、社会変動、社会構造、文化、規範、価値意識。					○	◎	
	スポーツ心理学Ⅰ	M-HES112	100	講義	2	学校教育における体育・運動、競技スポーツやレクリエーションとしてのスポーツ、健康・医療領域での運動やスポーツ、および日常生活での運動行動などについて心理学的観点から学修する。	スポーツの心理面への影響、運動学習のメカニズム、運動による健康の増進、競技者の心理などの理解を通して、心理学的観点からスポーツをより深く理解できるようになる。	運動と知覚、運動の学習と指導、スポーツと動機づけ、スポーツの社会心理、運動行動の変容、競技心理、メンタルトレーニング、スポーツ臨床		◎			◎	○	○
	スポーツ心理学Ⅱ	M-HES240	200	講義	2	スポーツと発達、スポーツと「やる気」、運動行動の促進、スポーツ選手のバーンアウト、スポーツ傷害における心理サポート、運動部活動における不適応等、身体運動とスポーツと心理の関連について幅広く取り上げて学修する。	スポーツの心理学的な理解を通じて、スポーツの実践者として、あるいは指導者として、より効果的にスポーツ活動を展開したり、支援することができる素地をつくる。	運動学習、スポーツと発達、モチベーション、運動による健康の増進、心理サポート				○	◎	◎	○
	スポーツ・アドミニストレーション入門	M-HES227	200	講義	2	国際スポーツ・アドミニストレーターの育成に向けて、スポーツ・アドミニストレーションの視点から基礎的な知識について学修する。	スポーツ外傷とスポーツ障害の予防法、指導者育成、イベントの企画運営能力など、「スポーツ・アドミニストレーション」に関する基本的な知識について理解できる。	スポーツ・アドミニストレーション、国際スポーツイベント、スポーツ医学、指導者		◎			◎	○	○
	スポーツ産業論	M-HES248	200	講義	2	スポーツ産業は用品、施設、スポーツクラブ、プロスポーツ、メディアなど多岐にわたる。スポーツ用品産業(事業戦略、マーケティング、生産、販売促進、営業(販売)活動)における基本的な流れを学ぶ。さらに、スポーツクラブ経営、スポーツマネジメント、スポーツメディア、アスリートのセカンドキャリア等についても学ぶ。なお、本授業はMSZ/株式会社各部門の担当者とスポーツビジネスに携わる関係者の事例を踏まえた講義を行う。	スポーツ産業における基本的な流れを学ぶことでスポーツの職業領域を理解することができる。	CSR、開発、スポーツ施設、経営、SDGs、アパレル、広報、プロモーション			○	○	◎		○
	スポーツ・アドミニストレーション	M-HES347	300	講義	2	「スポーツ・アドミニストレーション入門」(English comprehensionⅡ)および「Communication BasicⅡ」で得た知識を基に、「仮想イベント」を実施することで、将来スポーツ・アドミニストレーターとなるべく学修する。	スポーツイベントを実施するための基礎的知識・能力として、①スポーツイベントの理解、②イベントのニーズに即したイベントの企画と準備を身につけ、さらにそれを実施した後に、適切に評価し改善することが出来るよう能力を身につける。	スポーツ・アドミニストレーション、スポーツイベント、大学スポーツ振興の推進事業、UNIVAS		◎		○	◎	○	
	ウェルネス&スポーツ	M-HES247	200	講義	2	ウェルネスプログラムにより自己の変革の方法を学修し、生活の質(QOL)の向上を追求する。	1. ウェルネスの理論に基づき、科学的な情報を適切に咀嚼し、望ましい生き方、生活習慣に修正していく積極的な姿勢を持つことができる。 2. 身体に高い関心を持ち、より客観的に自分の日常生活を評価(現在の自分の状態に気づき)、見直しができる。 3. 生涯スポーツとヘルスプロモーションについて学び、地域社会に貢献できる能力を身につける。	ウェルネス、健康、よりよく生きる、ウエイコントロール、身体活動、休養、ライフプランニング	◎		○		○	○	
	コミュニティスポーツ論	M-SOC320	300	講義	2	スポーツと地域の関係性を、振興と地域づくりの観点から理解し、スポーツによる地域づくりの種類と方法、現状と課題を学ぶ	地域とスポーツの関係が深まってきた背景、その地域づくりの方法、効果、課題を理解し、地域づくりについて意見を持ち実際の企画をたてられる。	スポーツと地域の結びつき、スポーツイベント、スポーツとまちづくり、地域のクラブとまちづくり			○		◎	○	
	バラスポーツ論	M-HES358	300	講義	2	本講義では、多様な障がいを持つ人たちによって行われているバラスポーツの実態について学ぶ。また、障がいの者のスポーツ活動に伴う様々な問題点をスポーツの特性と社会的な視点を絡めて考察する。さらに複数のバラスポーツを実際に体験することを通じて理解を深め、障がいを持つ人のスポーツ活動を指導、支援する資質を習得することを目的とする。 ※担当教員は身体障害者のリハビリテーションセンターと精神科病院の双方で、運動療法やレクリエーション指導の経験を持つ。その実務経験を通	・多様な障がいの種類と、スポーツ活動実践に伴う課題を理解する。 ・バラスポーツに関わる問題を社会的な視点から説明できる。 ・障がいの特性に応じて考案されたスポーツのルールと、その基本的な考え方を説明できる。 ・バラスポーツの実践を通じ、障がいを持つ人と共にスポーツを行う資質を養う。	障がい者スポーツ・ノーマライゼーション、多様性バラスポーツ実習			○			○	

授業科目区分	授業科目名	科目コード/ ナンバ	ナンバ リング	科目 種別	単位	1. 科目の目的	2. 科目の到達目標	3. キーワード	4. ディプロマポリシー					
									DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
									スポーツおよび健康についての幅広い教養を身に付けている。	スポーツ・体育・健康に関する基礎的・専門的知識やそれらを応用した指導方法を体系的に身に付け、多様な特性をもつ様々な人々に対して適切な働きかけができる。	スポーツ・体育・健康に関するデータを収集・分析して、人間とスポーツとの関係を理解し、問題解決を図ることができる。	スポーツ・体育・健康に関する知識やスキルを広範かつ実用的に活用し、社会貢献するために必要なコミュニケーション能力や行動力を身につけている。	人間の日常生活の中で健康及びスポーツが精神・文化・集団・社会に与えるメカニズムを理解し、隣接する領域と協働しながらグローバルな視点から問題に対応することができる力を持っている。	健康の維持・増進への社会的ニーズに応え、スポーツ・運動指導者として求められる高い倫理観や創造的課題思考力を有している。
キャリア	人間社会学部特殊講義 A	M-OAR314	300	講義	2	学部の判断で様々な内容に関する講義主題を選び、多様で幅広い観点から学ぶ(15回相当の授業)。	講義主題について学んだことを理解し、要点をまとめ、発信できる。	主題別		◎	○	○	○	
	人間社会学部特殊講義 B	M-OAR315	300	講義	4	学部の判断で様々な内容に関する講義主題を選び、多様で幅広い観点から学ぶ(30回相当の授業)。	講義主題について学んだことを理解し、要点をまとめ、発信できる。	主題別		◎	○	○	○	
教職系	身体づくり運動 (保体教職)	M-EDU206	200	実技	2	教員免許状(保健体育科)取得を目指す学生を対象とし、授業者および学習者の両視点から実技授業を作って、教えて、学ぶ。	指導イメージを身に付ける。自己の指導上の課題を発見する。自己の役割や責任を果たし、グループで合意形成を図りながら協力して進めることができる。	保健体育教師、資質能力、よい指導、グループワーク、アクティブラーニング		◎	○	○	○	○
	学校インターンシップ I	M-EDU207	200	実習	2	実地活動を通じて学校現場や教師の仕事の実際に触れ、自己の適性や教職生としてこれらに必要な学び、身に付けなければならない課題(知識・技術)等の理解と自覚を促すとともに、履修者の教職に対するモチベーションを高めることを本科目の目的とする。	1:児童生徒との関わりを通して、その実態や課題を把握している。2:年間を通して担当教員等の補助的な役割を担うことで、学校現場の実態を広く理解している。3:体験的な活動を通して、教職への自己の適性や今後必要な知識・技術等への課題を自覚している。	・実地体験型の学修 ・自己適性への省察 ・現代の子どもの理解		○		◎	○	
	学校インターンシップ II	M-EDU308	300	実習	2	学校現場での実地活動を経験し、学習指導、生徒指導、学級経営等の実際をより深く理解させる。あわせて教育実習に臨む意欲や態度を培うとともに、教育実習実施までに修得すべき知識・技能等の自己課題を自覚させることを本科目の目的とする。	1:学習指導に必要な基礎的知識・技術等を実地に即して身に付けている。2:適切な場面におけるICT機器の活用などの実地活動を理解している。3:特別な配慮を要する子どもへの指導等について、体験を通して理解している。4:学級担任の役割や職務内容等を実地に即して理解している。	・実地体験型の学修 ・教職へのモチベーションの向上 ・学校現場全般の基礎的実践知識の修得		○			◎	○
	学校インターンシップ III	M-EDU402	400	実習	2	大学で学んだ教科や教職に関する専門的知識・理論・技術等(教育実習での成果・課題を含む)と実地活動での体験を往還的に結び付け、教員として必要とされる必要最良の力量を形成する。あわせて、大学卒業後、教員として遵守すべき職務や学校実務を忠実に即してより深く理解するとともに、積極的に社会に参画する意欲・態度等を培うことを本科目の目的とする。	1:教科に関する最新の知識や教授方法等を修得し、学校現場での活用等について理解している。2:教員の使命や役割、遵守すべき法令等を深く理解している。3:専門的職業人として積極的に社会に参画する意欲や態度が身に付いている。	・実地体験型の学修 ・学校現場全般への応用的実践知識の修得 ・学問と実践知識の往還を通じた確かな教員像の確立			○	○		◎
スポーツ	スポーツ哲学	M-HES219	200	講義	2	「体育とは何か」および「スポーツとは何か」という根本問題を、哲学的立場から明らかにすることを旨とする。	前半は体育の人間存在にのつての本質的役割を、後半はスポーツの「文化性」を理解し、多様な文化的・社会的可能性、現代の問題点を把握できる。	体育概念、関係性、重層性、超越性、文化論、スポーツ構造論		◎	○	○	○	
	体育史	M-HES220	200	講義	2	近代を中心に体育・スポーツ史上の主要な出来事や人物を取り上げ時代的、地域的な特徴を解説する。	歴史上の主要な出来事や人物について理解し、現代の体育・スポーツの諸問題について考察できる。	国民国家、近代体育、学校体育、近代スポーツ、戦時体制下の体育・スポーツ		◎	○	○	○	
	スポーツ技術・戦術論	M-HES213	200	講義	2	試合やトレーニングで活躍するために、専門家のオムニバスの講義から技術や戦術・戦略を学ぶ。	様々な競技種目の①構造や現状の理解②多角的な視点からの考察③活躍するための知識や技術の習得する。	競技種目・オムニバス講義、技術・戦術・戦略・構造、現状		◎	○	○	○	○

授業科目区分	授業科目名	科目コード/ ナンバ	ナンバ リング	科目 種別	単位	1. 科目の目的	2. 科目の到達目標	3. キーワード	4. ティロマトリシ					
									DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
									スポーツおよび健康についての幅広い教養を身に付けている。	スポーツ・体育・健康に関する基礎的・専門的知識やそれらを活用した指導方法を体系的に身に付け、多様な人々に対して適切な働きかけができる。	スポーツ・体育・健康に関するデータを収集、分析して、人間とスポーツとの関係を理解し、問題解決を図ることができる。	スポーツ・体育・健康に関する知識やスキルを広範かつ実用的に活用し、社会貢献するために必要なコミュニケーション能力や行動力を身につけている。	人間の実生活の中で健康及びスポーツが精神・文化・集団・社会に与えるメカニズムを理解し、隣接する領域と協働しながらグローバルな視点から問題に対応することができる力を持っている。	健康の維持・増進への社会的ニーズに応え、スポーツ・運動指導者として求められる高い倫理的・創造的・思考力を有している。
応用スポーツ医学ⅠA	M-HES245	200	講義	2	現在の運動疫学及び国の健康づくり施策、運動基準や運動指針について学んだ後運動による生理学的変化と運動実施がもたらす身体組成や生化学検査に及ぼす効果について学修する。	現在の運動疫学及び国の健康づくり施策、運動基準や運動指針について学んだ後運動による生理学的変化と運動実施がもたらす身体組成や生化学検査に及ぼす効果について習得する。	生活習慣病、介護予防、健康づくり、メタボリックシンドローム、肥満症、高血圧、脂質異常症		◎	○	○	○		
応用スポーツ医学ⅠB	M-HES246	200	講義	2	生活習慣病予防と運動による生理学的変化と運動実施がもたらす身体組成や生化学検査に及ぼす効果について解説する。また、運動実施による内科的障害や外科的障害の内容とその対処法について解説する。	幅広い年代の健康づくりのための運動の実践やハイリスク者を対象とする安全な運動指導に関する幅広い知識の理解。また、生化学検査結果の見方理解できる。	糖尿病、ロコモティブシンドローム、健診結果の読み方、内科的障害、外科的障害、虚血性心疾患、運動器進行性疾患		◎	○	○	○		
健康運動実習Ⅰ	M-SPE309	300	実習	1	健康づくりのための運動に用いられる種目の理論に基づいたプログラムの作成、指導技術を学修する。	幅広い年代の健康づくりに関わる運動指導者にとって、運動や身体活動に関する国の政策や理論だけでなく、高齢者やハイリスクグループを対象とする安全な運動指導のためには、生活習慣病の幅広い知識が必要不可欠である。本実習では、これらの基礎知識を習得するとともに、運動指導の効果についても学習する。これらの理論的な背景に基づき、健康運動指導士として指導技術を実践できる能力を養成する。	ウォーミングアップ、クーリングダウン、ストレッチング、ウォーキング、ジョギング、理論に基づいた運動プログラムの作成		◎	○	○	○		
エアロビクスⅠ	M-SPE218	200	実技	2	エアロビクダンスのクラスで行う基本的な指導技術を学修し、指導できるようにする。	健康体力づくり及びスポーツ能力向上を、エアロビクス運動の理論を実践的に理解する。エアロビクダンスのコンディショニングとして用いられるレジスタンストレーニング(自重負荷)とストレッチングの名称と動き方を理解し、正確に実演できるように運動技能を養成する。また、実技指導の技術について学び、指導力を身につける。	レジスタンストレーニング、ストレッチング、自ら手本をみせる、キューイング、指導技術				○	○	◎	
エアロビクスⅡ	M-SPE308	300	実技	2	エアロビクダンスのクラスで行う基本的な指導技術を学修し、指導できるようにする。	健康体力づくり及びスポーツ能力向上を、エアロビクス運動の理論を実践的に理解する。エアロビクダンスの基本的なステップ名称と動き方を理解し、正確に実演できるように運動技能を養成する。	エアロビクダンス、自ら手本をみせる、キューイング、指導技術				○	○	◎	
救急・応急処置	M-HES343	300	講義	2	集団が集まる場所で発生する事故や病気が対処する救急・応急処置の知識と実践を学修することを目的とする。	急性障害や急性疾患に対する対応と処置の仕方、及び一次救命処置についての理解と実践を身につける。また、現場における救急対応計画について理解できる。	心肺蘇生法、AEDによる除細動、気道異物除去、三角巾による固定法、頭頸部外傷への対応、搬送法	○			○		◎	
運動機能解剖学Ⅰ	M-HES108	100	講義	2	人体の主要な骨や骨、関節の各名称を覚え、それぞれがどのような動きを可能にしているかについて学修する。	人体の主要な骨、筋肉、および関節の名称と位置について暗記し、人間がどのようにして動きをコントロールしているか理解できる。			◎		○		○	
運動機能解剖学Ⅱ	M-HES234	200	講義	2	運動機能解剖学Ⅰの知識レベルを前提として、人体の骨や骨、関節の各名称を覚えるとともに、頭部の筋・骨格、さらに神経系の基礎知識を加えて展開していく。	人体の骨、筋肉、および関節の名称と位置について暗記し、人間の実際の動作中にそれぞれがどのように関与しているか理解することが出来る。			◎		○		○	
スポーツ生理学Ⅰ	M-HES114	100	講義	2	スポーツ・運動を遂行する時のからだの一時的变化やスポーツ・運動の継続で適応するからだの変化について、脳神経、筋肉、エネルギー代謝、呼吸・循環器、内分泌、免疫、環境などから講述すると共に、運動の強さや時間と酸素摂取量の関係を学修する。	スポーツ・運動遂行で起こる一時的变化や継続による適応機能を脳神経系・筋系、エネルギー代謝系、呼吸・循環系、内分泌系、免疫系などの生理機能面から理解し、さまざまなトレーニングに応用できる能力を養うことができる。	スポーツ運動の一時的变化、スポーツ運動の適応、脳神経、筋肉、エネルギー代謝、呼吸・循環器、内分泌、免疫、体温の変化	○	◎	◎	○			

授業科目区分	授業科目名	科目コード/ ナンバ	ナンバ リング	科目 種別	単位	1. 科目の目的	2. 科目の到達目標	3. キーワード	4. ティロマトリシ					
									DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
									スポーツおよび健康についての幅広い教養を身に付けている。	スポーツ・体育・健康に関する基礎的・専門的知識やそれらを応用した指導方法を体系的に身に付け、多様な人々に対して適切な働きかけができる。	スポーツ・体育・健康に関するデータを収集・分析して、人間とスポーツとの関係を理解し、問題解決を図ることができる。	スポーツに関する知識やスキルを応用し、社会貢献するために必要なコミュニケーション能力や行動力を身につけている。	人間の日常生活の中で健康及びスポーツが精神・文化・集団・社会に与えるメカニズムを理解し、隣接する領域と協働しながらグローバルな視点から問題に対応することができる力を持っている。	健康の維持・増進への社会的ニーズに応え、スポーツ・運動指
	スポーツ生理学Ⅱ	M-HES242	200	講義	2	脳神経、筋肉、エネルギー代謝、呼吸・循環、内分泌、免疫、環境などの生理的機能についてスポーツ生理学Ⅰで教授できなかった内容をより詳細に講述し、これらの生理的機能と運動技能習熟やトレーニング適応の関係を学修する。	スポーツ・運動遂行に関する脳神経、筋肉、呼吸・循環、エネルギー代謝、内分泌、免疫、環境などの生理的機能、運動技能習熟やトレーニング適応の順序をより詳細に理解し、各種スポーツ・トレーニングに応用できる能力を養うことができる。	スポーツ・運動遂行、神経・筋機能や感覚機能、呼吸・循環機能、排泄機能、エネルギー代謝、内分泌機能、スラッシュ運動習熟、ポイントトレーニング適応	○	◎	◎	○		
	スポーツ栄養学Ⅰ	M-HES113	100	講義	2	食事・栄養の基礎を学んだうえで、スポーツと食事・栄養の関係、消化と吸収、スポーツ選手の身体組成・体格について学習する。また、競技特性に応じたトレーニング時の栄養補給法、試合や合宿時の栄養補給法、サプリメントやエルゴジェニックの摂取法について学修する。	1) 栄養素や食品、食事の基礎知識を習得し、身体活動量に応じた適切な摂取ができていくか評価できる。 2) 期分け(トレーニング期、試合期、合宿期、オフ等)に応じた適切な栄養摂取法が理解できる。 3) サプリメントやエルゴジェニックの正しい知識を身に付け、必要性の有無を確認したうえで、適切に選択できる。	スポーツと栄養・食事、消化吸収、競技特性別の栄養補給法、補食とリカバリー、サプリメント・エルゴジェニック		◎	◎		○	
	スポーツ栄養学Ⅱ	M-HES241	200	講義	2	スポーツにおける生理学的変化をふまえ、スポーツ選手が抱える問題(貧血、骨障害、摂食障害、月経障害、特殊環境下、増量と減量)について、その原因と評価、食事法を学ぶ。また、最前線のスポーツ栄養について学ぶ。加えて、健康のためにスポーツを行っている小児期から高齢者までのライフステージ別の栄養と身体活動に関する現状・課題と健康増進のための対策について学修する。	1) スポーツ選手が陥りやすい問題とその対処法について理解・説明できる。 2) スポーツ栄養マネジメントについて説明できる。 3) 小児期から高齢者に至るまでの食事と運動に関する問題点とその対処法を説明できる。	スポーツと貧血、スポーツと骨、スポーツと月経障害、摂食障害、書熱環境下のスポーツ、スポーツ選手の増量・減量、栄養マネジメント、ライフステージごとの食事と運動			◎	◎		○
	スポーツ社会学Ⅰ	M-SOC101	100	講義	2	スポーツを様々な視点から捉え、基礎となる構造や現状、技術を学習し、特徴と意義を理解する。	スポーツの基本的構造や現状を理解し、社会学的に考察できる。以後の学習に繋げる知識や技術を得る。	スポーツの歴史、スポーツの意義、スポーツの特徴、社会の中のスポーツ	◎	○		○	○	
	スポーツ社会学ⅡA	M-SOC210	200	講義	2	スポーツが社会の多様な要素とどのように影響を及ぼし合いながら社会の中に位置しているのかを、主にオリンピックを事例として学修する。	スポーツ、とりわけオリンピックについて、一般的な「良いイメージ」にとらわれず、それと社会の関係、課題等を理解できる。	オリンピックの理念、オリンピックと国家、オリンピックビジネス、オリンピックと政治		○		○	◎	
	スポーツ社会学ⅡB	M-SOC211	200	講義	2	社会におけるスポーツの現状や多様な問題について、それらが社会の多様な要素とどのように関連しているのかについて学修する。	スポーツにおける多様な現象と問題点について、スポーツそれ自体のみに原因を求めめるのではなく、社会の要素と関連付けて理解できる。	スポーツとジェンダー、スポーツのグローバル化、スポーツと暴力、キャリア形成		○		○	◎	
	生涯スポーツ論	M-SOC212	200	講義	2	生涯スポーツの歴史や社会的背景、意義、また具体的な政策やイベントを学ぶことにより、健康で豊かなライフサイクルを送るための基礎知識を得る。	生涯スポーツの基本的な考え方や理論を理解し、スポーツ界の現状や課題を様々な観点から捉え、考察できる。加えて、将来スポーツ界で活躍できる知識を得る。	スポーツ基本計画、生涯スポーツ社会の実現、生涯スポーツの歴史、政策、イベント		○		◎	○	○
	野外教育論	M-HES224	200	講義	2	野外教育や野外活動において、安全に楽しむための基礎知識や指導法について学修する。	野外教育の概念と目的および歴史を理解した上で、実際に野外キャンプを行う際に指導者として必要な安全管理、効果的な指導方法を身につける。	人間と自然の関わり、野外教育の歴史、キャンプ、キャンプカウンセリング、アイズプレイング、ゲームアクティビティ		○	○	○		
	レクリエーション論	M-HES225	200	講義	2	レクリエーションの意義と重要性、支援者としての具体的な効果的な実践方法を学修する。	学校、地域、福祉施設などの場でレクリエーションを実施する力、事業を計画する力を身につける。	レクリエーションの意義、支援者の態度・テクニック、アクティビティの選択、ハードルの設定、アイズプレイング、		◎	○	◎		

授業科目区分	授業科目名	科目コード/ ナンバ	ナンバ リング	科目 種別	単 位	1. 科目の目的	2. 科目の到達目標	3. キーワード	4. ディプロマポリシー						
									DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	
						授業科目で何を目的に学修し、どのような内容の理解を担うとするか。	授業での教育・学修を通じて学生がどのような学修成果の達成を目指し、何を到達目標とするか。	学修の参考となる重要なキーワードなど	スポーツおよび健康についての幅広い教養を身に付けている。	スポーツ・体育・健康に関する基礎的・専門的知識やそれらを活用した指導方法を体系的に身に付け、多様な特性をもつ様々な人々に対して適切な働きかけができる。	スポーツ・体育・健康に関するデータを収集、分析して、人間とスポーツとの関係を理解し、問題解決を円滑に行うことができる。	スポーツ・体育・健康に関する知識やスキルを幅広く活用し、社会貢献するために必要なコミュニケーション能力や行動力を身につけている。	人間の日常生活の中で健康及びスポーツが精神・文化、集団・社会に与えるメカニズムを理解し、隣接する領域と協働しながらグローバルな視点から問題に対応することができる力を持っている。	健康の維持・増進への社会的ニーズに応え、スポーツ・運動指導者としての求められる高い倫理観や創造的課題・論理的思考力を有している	
スポーツ理論専門科目	スポーツトレーニング論Ⅰ	M-HES243	200	講義	2	スポーツ選手のトレーニング指導に必要な理論や実践的な方法についての基本的事項を理解することを目的とします。	履修者はスポーツパフォーマンスを向上させるための基本的な運動プログラムについて理解し、その作成ができるようになる。	ウェイトトレーニング、筋力、スピード、パワー、可動域、持久力		◎	○				◎
	スポーツトレーニング論Ⅱ	M-HES244	200	講義	2	スポーツトレーニング論Ⅰで学んだ基礎を発展させ、各種競技スポーツにおける特性を考慮して、競技スポーツパフォーマンスを向上させるために必要な専門的なトレーニング方法の理論と実践的な進め方を学びます。	履修者は各種競技スポーツ種目における体力の特性や年齢特性について理解し、その競技や年齢に応じたトレーニングプログラムを作成できるようにする。	競技特性、ピーキング、ジュニア、アスレティックトレーニング		◎	○				◎
	コンディショニング演習	M-HES354	300	講義	2	目的に応じたコンディショニングプログラムを作成、実践することを通じて、指導に必要な実践能力を学修する。	・基本的なエクササイズの前指導ができる。 ・各目的に対応したプログラムを作成できる。	プログラムデザイン、エクササイズの実践、エクササイズの前指導、競技特性、測定評価				○	○	○	◎
	衛生・公衆衛生学	M-HES304	300	講義	4	社会や環境とヒトの健康の保持増進との関わりについて学修する。	身近な環境問題と健康、生活習慣病や高齢者問題、人口問題と医療費、学校や地域、職域における健康づくりの現状について理解できる。	健康、環境、社会、人口、医療、保健					○	◎	
	健康管理論	M-HES357	300	講義	2	健康管理に関する基礎的・実践的な理論・方法を修得し、実践の活用に関する能力を培う。	・健康概念、ヘルスプロモーション、健康づくり施策等、健康管理の基礎的理論・仕組みについて学修する。 ・栄養、運動、生活習慣病等、健康管理に必要な基礎的内容・方法について学修する。 ・健康管理の基礎的・実践的な学修を踏まえ、地域・学域・職域での健康管理の実践の活用に関する能力を培う。	健康概念、ヘルスプロモーション、健康づくり、健康成立要件、危険因子		◎	○				
	スポーツ政策	M-HES326	300	講義	2	わが国のスポーツ政策を中心として、スポーツ環境の現状と課題におけるスポーツ政策の意義や役割について学修する。	スポーツ政策の基本的な変遷や財源、組織等について理解し、スポーツ界の現状や課題を様々な観点から捉え、考察できる。スポーツ界で活躍できる知識を得る。	スポーツ基本法、スポーツ基本計画、スポーツ振興政策、海外のスポーツ政策、地域	○	◎			◎	○	
	健康運動実習Ⅱ	M-SPE302	300	実習	1	高齢者の体力測定と評価、介護予防・運動や生活習慣病の適切な運動療法を学ぶ。	高齢者やハイリスク者を対象とした安全で効果的な運動指導の補助ができる。	高齢者、ハイリスク者、介護予防、生活習慣病、運動療法、高齢者の体力測定と評価、介護予防に関する体力測定と評価			◎	○	◎	○	
	応用スポーツ医学Ⅱ(含実習)	M-HES353	300	実習	2	運動を安全かつ効果的に行うために、運動実施による生理学的変化と運動実施による身体組成や生化学検査への影響を学習する。	実習を通して運動による生体的変化について理解し、実践に活用できる。	スポーツ、医学、運動負荷試験、救急蘇生、外科的処置		◎			○	○	
	エアロビクスⅢ	M-SPE402	400	実技	2	エアロビクスのクラスで行う基本的な指導技術を学習し、指導できるようにする。	エアロビクスやコンディショニングトレーニングの動きを洗練し、かつわかりやすく指導できる。	エアロビクス、レジスタンストレーニング、ストレッチング、自ら手本をみせる、キューイング、指導技術の向上			○		◎	○	◎

人間スポーツ学科学科

授業科目区分	授業科目名	科目コード/ ナンバ	ナンバ リング	科目 種別	単位	1. 科目の目的	2. 科目の到達目標	3. キーワード	4. ティロマポリシー							
									DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6		
						授業科目で何を目的に学修し、どのような内容の理解を担うとするか。	授業での教育・学修を通じて学生がどのような学修成果の達成を目指し、何を到達目標とするか。	学修の参考となる重要なキーワードなど	スポーツおよび健康についての幅広い教養を身に付けている。	スポーツ・体育・健康に関する基礎的・専門的知識やそれらを活用した指導方法を体系的に身に付け、多様な特性をもつ様々な人々に対して適切な働きかけができる。	スポーツ・体育・健康に関するデータを収集、分析して、人間とスポーツとの関係を理解し、問題解決を図ることができる。	スポーツ・体育・健康に関する知識やスキルを応用し、社会貢献するために必要なコミュニケーション能力や行動力を身につけている。	人間のま生生活の中で健康及びスポーツが精神、文化、集団・社会に与えるメカニズムを理解し、隣接する領域と協働しながらグローバルな視点から問題に対応することができる。	健康の維持・増進への社会的ニーズに応え、スポーツ・運動指導者として求められる高い倫理観や創造的・論理的思考力を有している。		
	スポーツ文化論	M-HES359	300	講義	2	現代社会においてスポーツ文化の主流は「近代スポーツ」である。しかし、近代以前の「過渡スポーツ」はそれとは全く異なる特徴を持っている。また、主流の「近代スポーツ」とは別に地域固有の文化として「民族スポーツ」も存在する。この講義では、これら「過渡スポーツ」「民族スポーツ」の文化的特徴を理解した上で、それらと「近代スポーツ」との文化的差異、および相互の関係を検討する。	「過渡スポーツ」文化について、歴史的背景、社会との関係性からその特徴を理解できる 「民族スポーツ」文化について、固有の歴史および地域性からその特徴を理解できる 「過渡スポーツ」「民族スポーツ」という2つの文化特性から「近代スポーツ」文化を相対化し、その特殊性を理解できる	未開社会のスポーツ、古代社会のスポーツ、古代オリンピック、前近代のスポーツ、スポーツの象徴性、民族主義とスポーツ								
	現代スポーツ文化比較論	M-HES360	300	講義	2	「スポーツ」といえば一般的にオリンピックで行われるような国際的スポーツがイメージされる。それはグローバル化し世界を一律に覆っている。しかし実際には同じスポーツ文化であるにもかかわらず、社会との関わりによって例えばルールによってルールの特性が異なる、プレースタイルが異なるなどの差が存在する。この講義では、現代社会のスポーツ文化を比較し、そこにみられる差を社会との関係から理解する。	同じスポーツ文化の中で、社会やそこでの思想的特徴によって、ルールの特性やプレースタイルの違いが生じることを理解できる。 同じスポーツ文化の中で、歴史的な変化によって、競技性に変化が生じることを理解できる。 近代スポーツとポスト近代のスポーツにおいて、ケースにある思想や価値に違いがあることを理解できる	社会の特性とスポーツルール、日本野球文化、綱引き文化の姿容、柔道からJUDOへ、								
	スポーツ教育学	M-HES321	300	講義	4	「スポーツ」を人間の文化活動におけるプレイ(遊び)として多様にとらえ、学生が自らの関心を喚起し、スポーツ教育のテーマを設定・研究していくプロセスを学ぶ。	テーマを自ら発見し、探求する手法を身につけ、他者と協力して課題を遂行することを学ぶとともに、受け身ではなく主体的に学び、自らの意見を述べる力を身につける。	学校教育、体育、プレイ(遊)び、コミュニケーション活動における多様な遊び、テーマの設定・研究のプロセス								
	生涯スポーツ概論	M-HES316	300	講義	4	生涯スポーツの歴史や社会的背景、意義、また具体的な政策やイベントを学ぶことにより、健康で豊かなライフサイクルを送るための基礎知識を得る。	生涯スポーツの基本的な考え方や理論を理解し、スポーツ界の現状や課題を様々な観点から捉え、考察できる。加えて、将来スポーツ界で活躍できる知識を得る。	スポーツ振興基本計画、生涯スポーツ社会の実現、生涯スポーツの歴史、社会的背景、意義、具体的な政策やイベント								
	スポーツビジネス論	M-HES361	300	講義	2	スポーツ産業の特徴について理解した上で、スポーツビジネスを行うための基本的な知識とノウハウを学修する。	スポーツ産業の基本的な考え方や理論を理解し、スポーツ界の現状や課題を様々な観点から捉え、考察できる。スポーツ界で活躍できる知識を得る。	みるスポーツ、するスポーツ、ささえるスポーツ、スポーツプロダクト、ファンマネジメント								
	スポーツマネジメント論	M-HES362	300	講義	2	スポーツマネジメントの特徴について理解した上で、スポーツクラブや施設の運営を行うための基本的な知識とノウハウを学修する。	スポーツマネジメントの基本的な考え方や理論を理解し、事例を踏まえながらスポーツ界の現状や課題を様々な観点から捉えられる。スポーツ界で活躍できる知識を得る。	みるスポーツ、するスポーツ、ささえるスポーツ、スポーツイベント、クラブ運営、施設運営								
	運動療法論	M-HES352	300	講義	2	代表的な生活習慣病の症例を通して、適切な運動や生活動作、運動の実施方法や注意点、効果の確認方法等について学習する。運動プログラムの作成についても学ぶ。	代表的な生活習慣病の症例において、運動や生活動作が適切なか、運動の実施方法や注意点、効果の確認方法を身につけて運動プログラムの作成ができる。	生活習慣病、介護予防、健康づくり、メタボリックシンドローム、肥満症、高血圧、脂質異常症、運動プログラム								
	健康産業施設等現場実習	M-HES408	400	実習	3	健康運動指導士としての職務や職業人として大切なホスピタリティを学ぶ。	健康産業施設等現場実習前(事前)、実習中(実施中)、実習後(事後)において必要な準備と実践を行う。現場実習を通して、運動と健康づくりの重要性や運動に関わる指導者としての役割、授業で学んだ基礎知識が現場でどのように活かされているのかを体験する。また、運動指導者として必要な基礎力、応用力について理解する。また、本授業は健康づくりの現場等での実務経験を持つ教員がその経験を活かし、健康づくりの中で健康運動指導士に求められる実践的、具体的な役割、知識、スキルを学ぶことができる。	健康運動指導士、インターシップ、マナー、ホスピタリティ、外部施設、体験								

授業科目区分	授業科目名	科目コード/ ナンバ	ナンバ リング	科目 種別	単位	1. 科目の目的	2. 科目の到達目標	3. キーワード	4. ディプロマポリシー					
									DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
									スポーツおよび健康に関する幅広い教養を身に付けている。	スポーツ・体育・健康に関する基礎的・専門的知識やそれらを活用した指導方法を体系的に身に付け、多様な特性をもつ様々な人々に対して適切な働きかけができる。	スポーツ・体育・健康に関するデータを収集、分析して、人間とスポーツとの関係を理解し、問題解決を図ることができる。	スポーツ・体育・健康に関する知識やスキルを広範囲に活用し、社会貢献するために必要なコミュニケーション能力や行動力を身につけている。	人間の実生活の中で健康及びスポーツが精神、文化、集団・社会に与えるメカニズムを理解し、隣接する領域と協働しながらグローバルな視点から問題に対応することができる力を持っている。	健康の維持・増進への社会的ニーズに応え、スポーツ・運動指導者としての求められる高い倫理観や創造的課題・論理的思考力を有している。
スポーツ実技専門科目	スポーツ科学実習：陸上競技	M-SPE217	200	実技	1	様々な陸上競技の種目を実際に行い、その特性、ルールを学修する。	陸上競技の各種目のコツをつかみ、一定の水準の記録に到達できる。また、安全に競技を遂行し、サポートする能力を身につけることができる。	100m走、走高跳、ハードル、リレー		◎		○		○
	スポーツ科学実習：サッカー初級	M-SPE206	200	実技	1	個人の技術練習を中心に、そこで習得した技術を試合の中で発揮することができるようにするための学修をする。	個人技術を向上させるとともに、チームスポーツとしてのサッカーの技術や戦術を習得できる。	サッカー技術・戦術・戦略・チームスポーツ・試合		◎		○	○	○
	スポーツ科学実習：サッカー中級	M-SPE207	200	実技	1	個人から、グループ戦術へと発展させ、グループでの攻撃と守備を学ぶ。	攻撃で数的優位を作りゴールを奪い、守備は相手にスペースを与えずボールを奪える。	サッカー・個人技術・グループ戦術・攻撃・守備・戦略		◎		○	○	○
	スポーツ科学実習：ダンス	M-SPE211	200	実技	1	教育現場でダンスの授業を指導できるように、いろいろなジャンルに合わせたダンスの基礎、表現方法を学ぶ。	教育現場で体育の指導者として生徒の前で踊って見せられるくらいまでの基礎的技術を体得できる。	リラクゼーション、リズム練習、ステップ、身体表現、動きのバリエーション、創作ダンス		◎		○		○
	スポーツ科学実習：器械体操	M-SPE204	200	実技	1	マット、鉄棒、とび箱の各運動の基本的な技の習得を目指すとともに、段階的指導方法や練習方法を理解し、実践する。	運動構造を理解・実践し、指導できる域に達することが必要である。同時に、授業の進め方、展開方法をも習得できる。	マット運動、鉄棒、跳び箱、回転感覚、空間認知能力、逆さ感覚、巧緻性、身体認識力		◎		○		○
	スポーツ科学実習：バスケットボール	M-SPE213	200	実技	1	バスケットボールの技術構造やルールを理解し、集団的技術や個人的技能を獲得し、基礎的なゲーム展開の方法を実習する。	・技術の構造とルールの理解 ・集団技能や個人技能の実践 ・ファンダメンタルの実践と理解 ・ボールゲーム、チームスポーツの理解	チームスポーツ、ボールゲーム、技術構造、ルール、個人戦術、集団戦術		◎		○	○	○
	スポーツ科学実習：バレーボール	M-SPE214	200	実技	1	個人の基本的技能を身につける。ルールの理解、協調性を養う、バレーボールの特性や楽しさを体験する。	生涯スポーツの基盤づくり、スポーツの意義の認識、目標や課題の設定、ルールの理解およびゲーム方法の工夫、スポーツの楽しさを体得、基本的技術の獲得ができる。	バレーボールの特性・楽しさ、技能、ルール、ゲームの工夫、生涯スポーツ		◎		○	○	○
	スポーツ科学実習：ソフトボール	M-SPE210	200	実技	1	投・打・走・捕など、基本的な技術や戦術について学習する。	基本的な技術や戦術を学び、それらを実践する練習の具体的な方法を学習して実践できるようにする。	技術・精神・判断・攻撃・戦術・知識		◎		○	○	○
	スポーツ科学実習：ゴルフ初級	M-SPE205	200	実技	1	ゴルフというスポーツの技術的な側面を基本から学ぶとともに、プレーをするうえでのマナーについても、指導する。	ショットやパッティングなど、多岐にわたるゴルフの基本を習得し、実際にゴルフコースでプレーできるまでのレベルの獲得を目指す。	エチケット、ゴルフクラブ、ショット、パッティング		◎		○		○

授業科目区分	授業科目名	科目コード/ ナンバ	ナンバ リング	科目 種別	単位	1. 科目の目的	2. 科目の到達目標	3. キーワード	4. ティプロマポリシー					
									DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
									スポーツお よび健康に ついての幅 広い教養を 身に付けて いる。	スポーツ・体 育・健康に 関する基礎 的・専門的 知識やそれ らを活用し た指導方法 を体系的に 身に付け、 多様な特性 をもつ人々 に対して適切 な働きかけが できる。	スポーツ・体 育・健康に 関するテーマ を収集・分析 し、人間とス ポーツとの関 係を理解し、 問題解決を 図ることができる。	スポーツ・体 育・健康に 関する知識や スキルを実際 に活用し、社 会貢献するた めに必要な コミュニケーション 能力や行動力 を身につけて いる。	人間の暮らし の中で健康及 びスポーツが 精神・文化・集 団・社会に与 えるメカニズ ムを理解し、 隣接する領域 と協働しなが らグローバル な視点から問 題に対応する ことができる 力を持っている。	健康の維持・ 増進への社会 的ニーズに応 え、スポーツ ・運動指導者 として求めら れる高い倫理 観や創造的 思考力を有し ている。
スポーツ科学実習：柔道初級	M-SPE208	200	実技	1	初めて柔道を学ぶ中・高校生に対する、受け身、組み方、体さばきなどの指導法を修得するための学習をする。	初めて柔道を学ぶ中・高校生に対して、安全に効果的に指導することができる。	柔道衣の着方、礼法、受け技		◎		○			○
スポーツ科学実習：水泳	M-SPE209	200	実技	1	練習方法及び指導法の習得、泳力の向上、指導能力の獲得。また健康・体力づくり、生涯スポーツとの関連を学ぶ。	4泳法の推進メカニズムの理解、泳法の習得、100m個人メドレー完泳指導法と実証的指導能力の獲得、水の特性の理解、水中での自己保全能力、完全管理能力を養うことができる。	4泳法とその泳力、指導法と指導力、水の特性、水の安全、生涯スポーツ		○	○	◎			
スポーツ科学実習：野球初級	M-SPE216	200	実技	1	お互いが気を遣い、「楽しむスポーツ」というよりも「競技スポーツ」として授業を行う。	ゲームに勝ったり技術が上手いということよりも、チームメイトだけではなく対戦相手への思いやりや助け合う心を養うことができる。	心・技・体、公德心		◎			○	○	○
スポーツ科学実習：テニス初級	M-SPE212	200	実技	1	On Courtの授業では、基本的なショットの打ち方を学ぶ。講義では、テニス用語、スコアの教え方、シングルス・ダブルスの試合方法、テニスのマナーなどを習得する。	簡単なダブルスができる程度のテニス技術を身につける。テニスのルール、マナー、テニス界の現状、歴史を学び、テニスを通しての外交ができ、テニスの会話が弾む知識を得ることができる。	基本的なショットの打ち方、シングルス・ダブルスの試合方法、テニスコートにおけるマナー、テニス観戦のマナー		◎			○		○
夏期野外実習	M-SPE202	200	実技	1	キャンプを安全に実施するための知識と技術を身につけ、小集団活動を通じて良好な人間関係を築くための要点を学び、一人ひとりが「良きキャンパー」となるための学習を行う。	1. キャンプを実施する上で必要となる基礎知識及び技術の習得、2. 共同生活の中で、望ましい人間関係を築く、3. 組織キャンプにおいて、生活の指導ができる。	テントの設置、野外調理、水辺野外活動、キャンプファイヤー、人間関係を作るグループワークゲーム、自然を感じる野外ゲーム		◎		○	○		○
冬期野外実習	M-SPE307	300	実習	1	スキーの技能を習得すると共に、技術体系や指導法、安全対策など、冬期野外活動の実践に必要な知識を学ぶ。	スキー技能の向上と技術体系を理解し、共同生活の中で、望ましい人間関係を築くことができる。	スキー技術体系、技能講習、安全対策、集団生活、クロスカントリー		◎			○		○
実技指導実践	M-SPE310	300	実習	1	将来、保健・体育教諭や社会体育系企業への就職を希望する者を対象に、器械運動、ダンス、陸上競技、球技(バスケットボール、バレーボール、サッカー)、武道(柔道、剣道)の各競技の実践能力を高めるとともに、指導方法や安全面の配慮等を学習し、それぞれの現場で役にたつ人材の育成を図る。	教員採用試験(実技)や社会体育系企業の実技試験において、優秀な評価を得られること、あわせてその進路に進んだのちに、適切な指導ができる技能・技術や知識を獲得することを目標とする。	保健体育教師、スポーツ指導員、資質能力、よい指導				◎	○		○

授業科目区分	授業科目名	科目コード/ ナンバ	ナンバ リング	科目 種別	単位	1. 科目の目的	2. 科目の到達目標	3. キーワード	4. ディプロマポリシー						
									DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	
									身体・心 理・健康 に関する 幅広い教養 を身に付け ている。	スポーツお よび健康を 自然現象を 原理原則を 応用する立 場から科学 的に理解し ている。	スポーツ・ 体育・健康 に関する知 識やスキル を専門的か つ合理的に 活用し、社 会貢献する ために必要 なコミュニ ケーション 能力や行動 力を身に付 けている。	スポーツ・ 体育・健康 に関する知 識やスキル を専門的か つ合理的に 活用し、社 会貢献する ために必要 なコミュニ ケーション 能力や行動 力を身に付 けている。	高度なス ポーツ技能 や多様なシ チュエーション に対応する ための指導 方法を身に 付けて、様 々な専門家 と協働して アスリートの 支援ができ る。	スポーツの パフォーマンス の向上を 目指しな がら、アス リートやス ポーツ・運 動のエキス パートとし て求められ る高い倫理 観や創造的 態度・論理 的思考力を 有し、グロ ーバルな活 躍ができる。	
学 科 間 共 通 専 門 科 目	スポーツ心理学 I	M-HES112	■	100	講義	2	学校教育における体育・運動、競技スポーツやレクリエーションとしてのスポーツ、健康・医療領域での運動やスポーツ、および日常生活での運動行動などについて心理学的観点から学修する。	スポーツの心理面への影響、運動学習のメカニズム、運動による健康の増進、競技者の心理などの理解を通して、心理学的観点からスポーツをより深く理解できるようになる。	運動と知覚、運動の学習と指導、スポーツと動機づけ、スポーツの社会心理、運動行動の要因、競技心理、メンタルトレーニング、スポーツ臨床		◎		◎	○	○
	スポーツ心理学 II	M-HES240	■	200	講義	2	スポーツと発達、スポーツと「やる気」、運動行動の促進、スポーツ選手のパフォーマンス、スポーツ傷害における心理サポート、運動部活動における不適応等、身体運動やスポーツと心理の関連について幅広く取り上げて学修する	スポーツの心理学的な理解を通じて、スポーツの実践者として、あるいは指導者として、より効果的にスポーツ活動を展開したり、支援することができる素地をつくる。	運動学習、スポーツと発達、モチベーション、運動による健康の増進、心理サポート			○	◎	◎	○
	スポーツ・アドミニストレーション入門	M-HES227	■	200	講義	2	国際スポーツ、アドミニストレーターの育成に向けて、スポーツ・アドミニストレーションの視点から基礎的な知識について学修する。	スポーツ外傷とスポーツ障害の予防法、指導者育成、イベントの企画運営能力など、「スポーツ・アドミニストレーション」に関する基本的な知識について理解できる。	スポーツ・アドミニストレーション、国際スポーツイベント、スポーツ医科学、指導者		○		○	◎	○
	スポーツ産業論	M-HES248	■	200	講義	2	スポーツ産業は用品、施設、スポーツクラブ、プロスポーツ、メディアなど多岐にわたる。スポーツ用品産業(事業戦略、マーケティング、生産、販売促進、営業(販売)活動)における基本的な流れを学ぶ。さらに、スポーツクラブ経営、スポーツマネジメント、スポーツメディア、アスリートのセカンドキャリア等についても学ぶ。なお、本授業はミスノ株式会社各部門の担当者やスポーツビジネスに携わる関係者の事例を踏まえた講義を行う。	スポーツ産業における基本的な流れを学ぶことでスポーツの職業領域を理解することができる。	CSR、開発、スポーツ施設、経営、SDGs、パレルレル、広報、プロモーション		○	○	◎		○
	スポーツ・アドミニストレーション	M-HES347	■	300	講義	2	「スポーツ・アドミニストレーション入門」、「English comprehension II およびCommunication Basic II」で得た知識を基に、「仮想イベント」を実施することで、将来スポーツ・アドミニストレーターとなるべく学修する。	スポーツイベントを実施するための基礎的知識・能力として、①スポーツイベントの理解、②イベントのニーズに即したイベントの企画と準備を身に付け、さらにそれを実施した後に、適切に評価し改善することが出来るよう能力を身に着ける。	スポーツ・アドミニストレーター、スポーツイベント、大学スポーツ振興の推進事業、UNIVAS			○	◎	○	○
	ウェルネス&スポーツ	M-HES247	■	200	講義	2	ウェルネスプログラムにより自己の変革の方法を学修し、生活の質(QOL)の向上を追求する。	1. ウェルネスの理論に基づき、科学的な情報を適切に咀嚼し、正しい生き方、生活習慣に修正していく積極的な姿勢を持つことができる。 2. 身体に高い関心を持ち、より客観的に自分の日常生活を評価(現在の自分の状態に気づき)、見直しができる。 3. 生涯スポーツとヘルスプロモーションについて学び、地域社会に貢献できる能力を身につける。	ウェルネス、健康、よりよく生きる、ウエイコントロール、身体活動、休養、ライフプランニング	◎	○	○		○	
	コミュニティスポーツ論	M-SOC320	■	300	講義	2	スポーツと地域の関係性を、振興と地域づくりの観点から理解し、スポーツによる地域づくりの種類と方法、現状と課題を学ぶ。	地域とスポーツの関係が深まってきた背景、その地域づくりの方法、効果、課題を理解し、地域づくりについて意見をもち実際の企画をたてられる。	スポーツと地域の結びつき、スポーツイベント、スポーツとまちづくり、地域のクラブとまちづくり		○		◎	○	

授業科目区分	授業科目名	科目コード/ ナンバ	ナンバ リング	科目 種別	単位	1. 科目の目的	2. 科目の到達目標	3. キーワード	4. ディプロマポリシー						
									DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	
									身体・心 理・技術・戦術 に関する幅広い教養を 身に付けている。	スポーツおよび健康の 原理原則を応用する立 場から科学的に理解し ている。	スポーツ・健康 に関するデータを取 集、分析し、スポ ーツ行動や健康に科 学的に理解し、問題解 決ができる。	スポーツ・健康 に関する知識やスキル を専門的かつ合理的 に活用し、社会貢献す るために必要なコ ミュニケーション能 力や行動力をつける ことができる。	高度なス ポーツ技 能や多 様なシ ナリオ に対応 できる 指導者 としての 役割を 果たす ための 専門的 な知識 やスキル を身に 付ける こと ができる。	スポーツの パフォーマンスの 向上を目指しな がら、アスリート や運動のエキス パートとして 求められる高い 倫理的態度・論 理的思考力を 有し、グ ローバルな 視点から活 躍できる。	
	バラスポーツ論	M-HES358	■	300	講義	2	本講義では、多様な障がいを持つ人々によって行われているバラスポーツの実態について学ぶ。また、障がい者のスポーツ活動に伴う様々な問題をスポーツの特性と社会的な視点から考察する。さらに複数のバラスポーツを実際に体験することを通じて理解を深め、障がいを持つ人のスポーツ活動を指導・支援する資質を習得することを目的とする。	・様々な障がいの種類と、スポーツ活動実践に伴う課題を理解する。バラスポーツに関わる問題を社会的な視点から説明できる。 ・障がいの特性に応じて考案されたスポーツのルールと、その基本的な考え方を説明できる。 ・バラスポーツの実践を通じ、障がいを持つ人と共にスポーツを行なえる資質を養う。	障がい者スポーツ ノーマライゼーション、多様性 バラスポーツ実習						
キャリア	人間社会学部特殊講義 A	M-OAR314	■	300	講義	2	学部の判断で様々な内容に関する講義主題を選び、多様で幅広い観点から学ぶ(15回相当の授業)。	講義主題について学んだことを理解し、要点をまとめ、発信できる	主題別			◎	○	○	○
	人間社会学部特殊講義 B	M-OAR315	■	300	講義	4	学部の判断で様々な内容に関する講義主題を選び、多様で幅広い観点から学ぶ(30回相当の授業)。	講義主題について学んだことを理解し、要点をまとめ、発信できる	主題別			◎	○	○	○
教職系	身体づくり運動(保体教職)	M-EDU206	■	200	講義	2	教員免許状(保健体育科)取得を目指す学生を対象とし、授業者および学修者の両視点から実技授業を作成して、教える、学ぶ。	次ができるようになる。指導イメージを身に付ける。自己の指導上の課題を発見する。自己の役割や責任を果たし、グループで合意形成を図りながら協力して進める。	保健体育教師、資質能力、よい指導、グループワーク、アクティブラーニング			○	○	◎	
	学校インターンシップ I	M-EDU207	■	200	実習	2	実地活動を通じて学校現場や教師の仕事の実際に触れ、自己の適性や教職生としてこれから必要な学び、身に付けなければならない課題(知識・技術)等の理解と自覚を促すとともに、履修者の教職に対するモチベーションを高めることを本科目の目的とする。	1:児童生徒との関わりを通して、その実態や課題を把握している。2:年間を通して担当教員等の補助的な役割を担うことで、学校現場の実態を広く理解している。3:体験的な活動を通して、教職への自己の適性や今後必要な知識・技術等への課題を自覚している。	・実践体験型の学修 ・自己適性への省察 ・現代の子どもの理解			◎	○		○
	学校インターンシップ II	M-EDU308	■	300	実習	2	学校現場での実地活動を体験し、学習指導、生徒指導、学級経営等の実態をより深く理解させる。あわせて教育実習に臨む意欲や態度を培うとともに、教育実習実施までに修得すべき知識・技能等の自己課題を自覚させることを本科目の目的とする。	1:学習指導に必要な基礎的知識・技術等を実際に即して身に付けている。2:適切な場面におけるICT機器の活用などの実態を実地活動をjして理解している。3:特別な配慮を要する子どもへの指導等について、体験を通して理解している。4:学級担任の役割や職務内容等を実際に即して理解している。	・実践体験型の学修 ・教職へのモチベーションの向上 ・学校現場全般への基礎的実践知識の修得			◎	○		○
	学校インターンシップ III	M-EDU402	■	400	実習	2	大学で学んだ教科や教職に関する専門的な知識・理論・技術等(教育実習での成果・課題を含む)と実地活動での体験を往還的に結び付け、教員として必要とされる必要最適限の力量を形成する。あわせて、大学卒業後、教員として遵守すべき義務や学校実務を実地に即してより深く理解するとともに、積極的に社会に参画する意欲・態度等を培うことを本科目の目的とする。	1:教科に関する最新の知識や教授方法を修得し、学校現場での活用法等について理解している。2:教員の使命や役割、遵守すべき法令等を深く理解している。3:専門的職業人として積極的に社会に参画する意欲や態度が身についている。	・実践体験型の学修 ・学校現場全般への応用的実践知識の修得 ・学問と実践知識の往還を通じた確かな教員像の確立				○	○	◎
	スポーツ哲学	M-HES219	■	200	講義	2	「体育とは何か」および「スポーツとは何か」という根本問題を、哲学的立場から明らかにするための学修を行う。	前半は体育の人間存在にのっての本質的役割を、後半はスポーツの「文化性」を理解し、多様な文化的・社会的な可能性、現代の問題点を把握できる。	体育概念、関係性、重層性、超越性、文化論、スポーツ構造論			◎	○		○
	体育史	M-HES220	■	200	講義	2	近代を中心に体育・スポーツ史上の主要な出来事や人物を取り上げ時代的、地域的な特徴を学修する。	歴史上の主要な出来事や人物について理解できる。それらを踏まえ、現代の体育・スポーツの諸問題について考察できる。	国民国家、近代体育、学校体育、近代スポーツ、戦時体制下の体育・スポーツ			◎	○		○

授業科目区分	授業科目名	科目コード/ ナンバ	ナンバ リング	科目 種別	講義 演習 実習 PBL など	単位	1. 科目の目的	2. 科目の到達目標	3. キーワード	4. ディプロマポリシー					
							授業科目で何を目的に学修し、 どのような内容の理解を狙いと するか。	授業での教育・学修を通じて学生 がどのような学修成果の達成を 目指し、何を到達目標とする か。	学修の参考となる重要なキ ーワードなど	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
										身体・心 理・栄養・ 技術・戦術 に関する幅 広い教養を 身に付けて いる。	スポーツお よび健康の 自然現象の 原理原則を 実生活に応 用する立場 から科学的 に理解して いる。	スポーツ・ 体育・健康 に関する データを収 集、分析し て、スポー ツ行動や健 康行動を科 学的に理解 し、問題解 決ができる 。	スポーツ・ 体育・健康 に関する知 識やスキル を専門的か つ合理的に 活用し、社 会貢献する ために必要 なコミュニ ケーション 能力や行動 力や行動力 を身につけ ている。	高度なス ポーツ技能 や多様なシ ェルに対応 できる指導 方法を身に 付けて、株 々な専門家 として求め られてきた 高い倫理観 や創造的 態度・論理 的思考力を 有し、グ ローバルな 視点から活 躍できる。	
生理学	M-HES111	■	100	講義	2	ヒトの細胞や組織、筋や脳神経等の各器官の役割や機能を学び、健康な人体の生理機能について学修する。	細胞や組織、筋や脳神経等の各器官に関する人体の基本的な生理機能について説明できる。	人体の機能・役割、細胞、ホメオスタシス、代謝、神経と筋、感覚、呼吸循環、消化吸収	◎	◎		○			
メンタルトレーニング論	M-HES223	■	200	講義	2	心理スキルトレーニングの方法について、学術的背景や基礎的用法の知識や理解を深めるための学修をする。	メンタルトレーニングの必要性や実際のメンタルトレーニングの展開、具体的な心理的スキルトレーニングの技法について理解できる。	競技力の向上、メンタルトレーニングの技法の基礎、メンタルトレーニングの展開			◎	◎	○	○	
スポーツトレーニング論Ⅰ	M-HES243	■	200	講義	2	スポーツ選手のトレーニング指導に必要な理論や実践的な方法についての基本的事項を理解することを目的とします。	履修者はスポーツパフォーマンスを向上させるための基本的な運動プログラムについて理解し、その作成ができるようになる	ウェイトトレーニング、筋力、スピード、パワー、可動域、持久力			◎		○	○	
スポーツトレーニング論Ⅱ	M-HES244	■	200	講義	2	スポーツトレーニング論Ⅰで学んだ基礎を発展させ、各種競技スポーツにおける特性を考慮して、競技スポーツパフォーマンスを向上させるために必要な専門的なトレーニング方法の理論と実践的な進め方を学びます。	履修者は各種競技スポーツ種目における体力の特性や年齢特性について理解し、その競技や年齢に応じたトレーニングプログラムを作成できるようになる。	競技特性、ピーキング、ジュニア、アスレティックトレーニング			◎		○	◎	
メンタルトレーニング演習	M-HES334	■	300	演習	2	心理スキルのエクササイズやグループワークの実践を通じて、体験的にメンタルトレーニングへの理解を深め、実践力を付けるための学修を行う。	競技者としてメンタルトレーニングを実践できるようになる。また、指導者として選手の心理的な課題に応じたメンタルトレーニングを指導できる。	心理スキルトレーニング、メンタルトレーニングプログラムの立案と実施、実践報告			○	○	◎	◎	
コンディショニング演習	M-HES354	■	300	講義	2	目的に応じたコンディショニングプログラムを作成、実践することを通じて、指導に必要な実践能力を養成するための学修をする。	基本的なエクササイズの指導ができる。 ・各目的に対応したプログラムを作成できる。	プログラムデザイン、エクササイズの実践、エクササイズの指導、競技特性、測定評価			○	○	○	◎	
衛生・公衆衛生学	M-HES304	■	300	講義	4	社会や環境とヒトの健康の保持増進との関わりについて学修する。	身近な環境問題と健康、生活習慣病や高齢者問題、人口問題と医療費、学校や地域、職域における健康づくりの現状について理解できる。	健康、環境、社会、人口、医療、保健			○	◎			
健康管理論	M-HES357	■	300	講義	2	健康管理に関する基盤的・基礎的な理論・方法等を修得し、実践的活用に関する能力を培う。	・健康概念、ヘルスプロモーション、健康づくり施策等、健康管理の基盤的理論・枠組みについて学修する。 ・栄養、運動、生活習慣病等、健康管理に必要な基礎的内容・方法について学修する。 ・健康管理の基盤的・基礎的な学修を踏まえ、地域・学域・職域での健康管理の実践的活用に関する能力を培う。	健康概念、ヘルスプロモーション、健康づくり、健康成立要件、危険因子	◎	○					
スポーツ政策	M-HES326	■	300	講義	2	スポーツを通じた国際競技力の向上、健康増進や国際交流の拡充、地域・経済の活性化等について学ぶ。	スポーツ政策の科学的研究及び提言等について、重要な論点を考察し、各自の意見を述べる事ができる。	スポーツ振興政策、競技スポーツと国際競技力向上、海外のスポーツ政策、事故とリスクマネジメント			○	◎	○	○	
健康運動実習Ⅱ	M-SPE302	■	300	実習	1	高齢者の体力測定と評価、介護予防・運動や生活習慣病の適切な運動療法を学ぶ。	高齢者やハイリスク者を対象とした安全で効果的な運動指導の補助ができる。	高齢者、ハイリスク者、介護予防、生活習慣病、運動療法、高齢者の体力測定と評価、介護予防に関する体力測定と評価	◎	○	◎	○			
応用スポーツ医学Ⅱ(含実習)	M-HES353	■	300	実習	2	運動を安全かつ効果的に行うために、運動実施による生理学的変化と運動実施による身体組成や生化学検査への影響を学習する。	実習を通して運動による生理学的変化について理解し、実践に活用できる。	スポーツ、医学、運動負荷試験、救急蘇生、外科的処置	◎	◎	○	○			

授業科目区分	授業科目名	科目コード/ ナンバ	ナンバ リング	科目 種別	講義 演習 実習 PBL など	単位	1. 科目の目的	2. 科目の到達目標	3. キーワード	4. ディプロマポリシー					
										DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
										身体・心 理・栄養・ 技術・戦術 に関する幅 広い教養を 身に付けて いる。	スポーツお よび健康を 自然現象の 原理原則を 応用する立 場から科学 的に理解し ている。	スポーツ・ 体育・健康 に関する知 識やスキル を専門的か つ合理的に 活用し、社 会貢献する ために必要 なコミュニ ケーション 能力や行動 力を持つて いる。	スポーツ・ 体育・健康 に関する知 識やスキル を専門的か つ合理的に 活用し、社 会貢献する ために必要 なコミュニ ケーション 能力や行動 力を持つて いる。	高度なス ポーツ技能 や多様なシ チュエーション に対応する 指導方法を 身に付けて 、様々な専 門家として 求められる 高い倫理観 や創造的 思考力を持 ち、グローバル な視点から活 躍できる。	スポーツの パフォーマンス の向上を目指 しながら、アス リートやス ポーツ・運動 のエキスパート として求めら れる高い倫理 観や創造的 思考力を持 ち、グローバル な視点から活 躍できる。
スポーツ 理論 専門 科目	エアロビクスⅢ	M-SPE402	■	400	実技	2	エアロビクスのクラスで行う基本的な指導技術を学習し、指導できるようにする。	エアロビクダンスやコンディショニングの動きを洗練し、かつわかりやすく指導できる。	エアロビクダンス、レジスタンストレーニング、ストレッチング、自ら手本をみせる、キューイング、指導技術の向上		○		◎	○	◎
	健康心理学	M-HES238	■	200	講義	2	健康行動、心身相関現象、ストレスマネジメント、ライフスタイルおよびパーソナリティ特性と健康との関連を学修する。	自らの健康を向上させることができるようになり、さらに家庭、地域、学校、職場の健康増進に貢献できる能力や態度を養うことができる。	健康行動、心身相関現象、ストレスマネジメント、ライフスタイル、パーソナリティ特性		◎	○	◎		○
	健康栄養学Ⅰ	M-HES237	■	200	講義	2	日本人の健康と栄養状態の歴史を振り返りながら、栄養や食生活と健康の関わりについて学修する。加えて正しく栄養情報を使える能力「健康栄養リテラシー」について学ぶ。さらに、栄養素、食品、料理などの基本的な知識、健康的な食生活を行うための具体的な食事法、サプリメントの扱い方などを学んだうえで、自分自身の食生活を振り返る。	1)ヒトの健康と食生活が深く関わっていることを理解し、食に関わる適切な情報を正しく選択・利用できる。 2) 栄養素、食品、料理などの基礎的な知識を修得し、健康を考えた適切な量、栄養バランス、食べ方を理解し、実践できる。 3) 自分自身の食生活を評価できる。	食生活と健康、健康栄養リテラシー、保健機能食・サプリメント、栄養アセスメント		○	◎		◎	
	健康栄養学Ⅱ	M-HES349	■	300	講義	2	幅広い側面から「食」を捉え、健康との関係を探り、学びを深める。食文化やおいしさ、環境と食生活、生産・流通・消費、食の安全・安心、青少年から高齢者までのライフステージごとの食事・栄養の問題、そして、未来の食など、食をとりまく様々な事柄について広く学び、健康に生きることの大切さを理解する。	1) 私たちの食生活や健康は、文化、社会、環境との関わりが深く、多くの人々や法律、規則、システムのうちに入り立っていることを理解し、日々の食事を大切に考え、実践できる。 2) ライフステージに応じた栄養上の問題点を理解し、健康維持のための適切な食生活を実践できる。	食文化、食と環境、生産・流通・加工・消費、安全・安心、ライフステージ別栄養マネジメント		○	◎		◎	
	実践スポーツ英語	M-ENG302	■	300	講義	4	スポーツと言う世界共通のエンターテイメントプログラムを教材にして観し、みやすく分かり易い英語学習をする。	スポーツ関連の英文の読解、発話の練習、映像・音声等を教材にして、海外で活躍することを目指す選手が射に向けておくべき語力を涵養できる。	スポーツ英語、英文読解、発話、内容についての議論				◎		○
	学校保健	M-HES306	■	300	講義	4	教員免許状(保健体育科)取得を目指す学生の必修科目であり、学校保健活動に関する基礎的事項やマネジメントなどについて学ぶ。	内容理解、関連資料の活用、グループワークでの発言や進行、教育実習等や実際の学校現場において、理解したことを活用できるレディネスを身につける。	学校保健、保健体育教師、資質能力、健康教育、理論と実践			◎	○		
	スポーツ法学	M-HES332	■	300	講義	2	スポーツ固有法およびスポーツ国際法のスポーツ法の体系に則しながら、スポーツ法に関する各種関係を学修する。	社会制度の基礎となっているスポーツ法の基礎知識を習得し、スポーツに関する諸事象、諸課題を法的側面から理解できる。	スポーツ法、法的責任、スポーツ基本法、紛争解決制度、スポーツ国際法	◎			○		○
	スポーツジャーナリズム	M-HES325	■	300	講義	2	「スポーツとは何か」「スポーツの光と影」「スポーツの真実」を学修する。	マスコミを目指す者だけでなく、スポーツに関わる指導者、教員、商社、公務員などを志す者が、スポーツの魅力を伝えられる実践的理解を身につける。	現場で起きた具体例、指導者の暴力、パワーハラスメント	◎			○		○
	スポーツ経営学	M-HES322	■	300	講義	2	公共・民間両面スポーツ施設に寄目し、スポーツ施設での経営・管理の現状を把握し、効果的・効率的なスポーツ施設の経営・管理のあり方等について学修する。	スポーツ施設の基本的な構造や現状を理解し、スポーツ施設における現状や課題を様々な観点から捉え、考察できる。スポーツ施設を経営・管理できる知識や技術を得る。	スポーツ施設、みるスポーツ、するスポーツ、ささえるスポーツ、スポーツビジネスの特徴、運営	○		○	◎		

スポーツ
科学
科別
専門
科目

授業科目 区分	授業科目名	科目コード/ ナンバ	ナンバ リング	科目 種別	講義 演習 実習 PBL など	単位	1. 科目の目的	2. 科目の到達目標	3. キーワード	4. ディプロマポリシー					
										DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
										身体・心 理・栄養・ 技術・戦術 に関する幅 広い教養を 身に付けて いる。	スポーツお よび健康を 自然現象を 原理原則を 実生活に応 用する立場 から科学的 に理解して いる。	スポーツ・ 体育・健康 に関する知 識やスキル を専門的か つ合理的に 活用し、社 会貢献する ために必要 なコミュニ ケーション 能力や行動 力をつける ことができる。	スポーツ・ 体育・健康 に関する知 識やスキル を専門的に 活用し、社 会貢献する ために必要 なコミュニ ケーション 能力や行動 力をつける ことができる。	高度なス ポーツ技能 や多様なシ チュエーションに 対応できる指導 方法を身に 付けて、様々 な専門家と 協働してア スリートの 支援ができ る。	スポーツの パフォーマンスの向上 を目指すな がら、アス リートやス ポーツ・運 動のエキス パートとし て求められ る高い倫理 観や創造的 態度・論理 的思考力を 有し、グロ ーバルな活 躍ができる。
	スポーツ外傷・障害		■ 300	講義	2	スポーツ外傷・障害の定義、分類、傷害発生のメカニズムやその診断、予防の理論的な背景や考え方を説明し、傷害のバイオメカニクスと修復のメカニズム等を学修する。	スポーツや運動を外傷や傷害を起こさず安全に行うために必要なスポーツ外傷・傷害の予防、救急処置および傷害からの回復のためのリハビリテーションに関する基礎知識を概ね説明できる。	スポーツ外傷・傷害の定義・分類、発生のメカニズム、競技特性の関連			○	◎	○	◎	
	アスレティックリハビリテーション論	M-HES302	■ 300	講義	2	傷害を負った選手がスポーツ活動に復帰するために必要な取り組みであるアスレティックリハビリテーションについての学修をする。	スポーツ活動中に発生する主な傷害について理解できるとともに、その傷害から復帰するために必要な治療やアスレティックリハビリテーションについて理解できる。	アスリハの歴史、機能解剖、障害の発生機序、身体各部位の特性、運動特性、段階的リハビリプログラム					◎	○	
	アスレティックリハビリテーション演習	M-HES301	■ 300	演習	2	スポーツ選手が受傷後に行うアスレティックリハビリテーションについての知識と技能について学習するとともにその実践を行う。	安全で効果的なスポーツ復帰を支援できるように傷害の回復状態を評価するための手法を実践すること、及び回復段階に応じた適切な負荷の運動を処方できる能力を身につけることができる。	筋肉の触診、骨の触診、関節可動域、整形外科的テスト、筋力、運動特性、バランス			◎	◎	○		
	スポーツ生理学実習	M-HES327	■ 300	実習	2	スポーツ活動に伴う呼吸器、循環器、筋、脳および脊髄神経活動等の変化を実際に測定するための学修を行う。	運動中の人体の生理学的応答を測定して解析し、得られた結果に考察を加えてレポートできる。	呼吸、循環、筋、脳、脊髄神経、運動中の生理学的応答		◎	◎	○		○	
	サッカーコーチング演習 I	M-HES314	■ 300	演習	2	選手との関係においてリーダーシップを発揮し、良好なチームビルディングを行い、モチベーションを高め、効果的な選手育成を行うためのコーチング理論について学ぶ。	効果的なコーチングを可能にする。コミュニケーション、競技特性、パフォーマンスの構造と発達過程、トレーニング、コンディショニングなどを理解する。	サッカーコーチング、コミュニケーション、競技特性、パフォーマンス、トレーニング、コンディショニング			○	○	◎	○	
	サッカーコーチング演習 II	M-HES315	■ 300	演習	2	選手との関係においてリーダーシップを発揮し、効果的な選手育成を行うために、サッカーコーチングの具体的な事例とともに実践について学ぶ。	効果的なサッカーコーチングについて、具体的な事例の理解をもとに、自身のサッカーコーチングを計画し実践できる。	サッカーコーチング、コミュニケーション、競技特性、パフォーマンス、トレーニング、コンディショニング			○	○	◎	○	
	ゴルフコーチング演習 I	M-HES311	■ 300	演習	2	選手との関係においてリーダーシップを発揮し、モチベーションを高め、効果的な選手育成を行うためのコーチング理論について学ぶ。	効果的なコーチングを可能にする。コミュニケーション、競技特性、パフォーマンスの構造と発達過程、トレーニング、コンディショニングなどを理解する。	ゴルフコーチング、コミュニケーション、競技特性、パフォーマンス、トレーニング、コンディショニング			○	○	◎	○	
	ゴルフコーチング演習 II	M-HES312	■ 300	演習	2	選手との関係においてリーダーシップを発揮し、効果的な選手育成を行うためのゴルフコーチングについて具体的な事例とともに実践について学ぶ。	効果的なゴルフコーチングについて、具体的な事例の理解をもとに、自身のゴルフコーチングを計画し実践できる。	ゴルフコーチング、コミュニケーション、競技特性、パフォーマンス、トレーニング、コンディショニング			○	○	◎	○	
	スポーツコーチング論	M-HES355	■ 300	講義	2	スポーツコーチングとは、パフォーマンスの向上や勝利等の成果を目指す選手(生徒)およびチームを支援する指導者の活動の総称である。本講義では、スポーツの競技活動の一連のプロセスでコーチに求められる課題や知識を提示し、活動の様々な局面におけるコーチの役割と指導方法について学ぶ。受講生には、自身のスポーツ種目のパフォーマンスの構造を分析し、さらに目標設定や練習方法、練習計画策定のためのワークシートを作成を求める。	競技特性をスポーツパフォーマンスの構造と発達過程から説明できる。発達段階に応じたコーチングの要点を理解する。スポーツ活動の一連の過程におけるコーチングの内容と、その対処方法を理解できる。	競技力の構造 発達段階に応じた指導 目標設定 トレーニング手段と方法 技術・戦術のコーチング 競技場面でのコーチング			○		◎	○	

授業科目区分	授業科目名	科目コード/ ナンバ	ナンバ リング	科目 種別	単 位	1. 科目の目的	2. 科目の到達目標	3. キーワード	4. ディプロマポリシー							
									DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6		
									身体・心 理・栄養・ 技術・戦術 に関する幅 広い教養を 身に付けて いる。	スポーツお よび健康を 自然現象の 原理原則を 応用する立 場から科学 的に理解し ている。	スポーツ・ 体育・健康 に関する知 識やスキル を専門的か つ合理的に 活用し、社 会貢献する ために必要 なコミュニ ケーション 能力や行動 力をつけて いる。	スポーツ・ 体育・健康 に関する知 識やスキル を専門的か つ合理的に 活用し、社 会貢献する ために必要 なコミュニ ケーション 能力や行動 力をつけて いる。	高度なス ポーツ技能 や多様なシ チュエーションに対応 できる指導 方法を身に 付けて、様 々な専門家 と協働して アスリートの 支援ができ ている。	スポーツの パフォーマンスの 向上を目指し ながら、アス リートやス ポーツ運動 のエキスパート として求めら れる高い倫理 観や創造的 態度・論理 的思考力を 有し、グロ ーバルな活 躍ができる。		
	スポーツ指導論	M-HES356	■	300	講義	2	本講義ではスポーツ指導者に必要な適性と能力(思考・態度・知識・技能)を総合的に学ぶ。受講生は、自分自身のプレイヤーとしてのスポーツや競技に対する考え方やコーチとの関係性について内省し、指導者となるためにどのような知識や考え方が必要であるのかを考察する。さらには指導者として身につけるべき態度や行動、モラルについて理解を促す。	・スポーツの本質的な特性を説明できる。 ・ハラスメントなどの倫理的な問題と、その発生の背景を説明できる。 ・自身のスポーツに対する欲求や価値観を説明することができる。 ・選手の意欲や能力に応じたリーダーシップスタイルの違いを説明できる。 ・相互理解を深め、建設的な関係を生み出すコミュニケーションスキルの要諦を理解する。	スポーツの本質 コーチングの哲学 リーダーシップのスタイル コミュニケーションスキル							
	健康産業施設等現場実習	M-HES408	■	400	実習	3	健康運動指導士としての職務や職業人として大切なホスピタリティを学ぶ。	健康産業施設等現場実習前(事前)、実習中(実施中)、実習後(事後)において必要な準備と実践を行う。現場実習を通じて、運動と健康づくりの重要性や運動に関わる指導者としての役割、授業で学んだ基礎知識が現場でどのように活かされているのかを体験する。また、運動指導者として必要な基礎力、応用力について理解する。また、本授業は健康づくりの現場等での実務経験を持つ教員がその経験を活かし、健康づくりの中で健康運動指導士に求められる実践的、具体的な役割、知識、スキルを学ぶことができる。	健康運動指導士、インターンシップ、マナー、ホスピタリティ、外部施設、体験							
	スポーツ科学実習：陸上競技	M-SPE217	■	200	実技	1	様々な陸上競技の種目を実際に行い、その特性、ルールを学習する。	陸上競技の各種目のコツをつかみ、一定の水準の記録に到達する。また、安全に競技を遂行し、サポートする能力を身につけることができる。	100m走、走高跳、ハードル、リレー							
	スポーツ科学実習：サッカー初級	M-SPE206	■	200	実技	1	個人の技術練習を中心に、そこで習得した技術を試合の中で発揮できるようにする学習を行う。	個人技術を向上させるとともに、チームスポーツとしてのサッカーの技術や戦術を習得できる。	サッカー技術・戦術・戦略・チームスポーツ・試合							
	スポーツ科学実習：サッカー中級	M-SPE207	■	200	実技	1	個人から、グループ戦術へと発展させ、グループでの攻撃と守備を学ぶ。	攻撃で数的優位を作りゴールを奪い、守備は相手にスペースを与えずボールを奪えるようになる。	サッカー・個人技術・グループ戦術・攻撃・守備・戦略							
	スポーツ科学実習：ダンス	M-SPE211	■	200	実技	1	教育現場でダンスの授業を指導できるように、いろいろなジャンルに合わせたダンスの基礎、表現方法を学ぶ。	教育現場で体育の指導者として生徒の前で踊って見せられるくらいまでの基礎的技術を体得できる。	リラクゼーション、リズム練習、ステップ、身体表現、動きのパリエーション、創作ダンス							
	スポーツ科学実習：器械体操	M-SPE204	■	200	実技	1	マット、鉄棒、とび箱の各運動の基本的な技の習得を目指し、段階的指導方法や練習方法を理解し、実践するための学習を行う。	運動構造を理解・実践し、指導できる場に達することが必要である。同時に、授業の進め方、展開方法をも習得できる。	マット運動、鉄棒、跳び箱、回転感覚、空間認知能力、逆さ感覚、巧緻性、身体認識力							
	スポーツ科学実習：バスケットボール	M-SPE213	■	200	実技	1	バスケットボールの技術構造やルールを理解し、集団的スキルや個人的技能を獲得し、基礎的なゲーム展開の方法を実習する。	技術の構造とルールの理解、集団技能や個人技能の実践、ファンダメンタルの実践と理解、ボールゲーム、チームスポーツの理解ができる。	チームスポーツ、ボールゲーム、技術構造、ルール、個人戦術、集団戦術							
	スポーツ科学実習：バレーボール	M-SPE214	■	200	実技	1	個人の基本的技能を身につける。ルールの理解、協調性を養う。バレーボールの特性や楽しさを体験するための学習を行う。	生涯スポーツの基礎づくり、スポーツの意義の認識、目標や課題の設定、ルールの理解およびゲーム方法の工夫、スポーツの楽しさを体得し、基本的技術の獲得ができる。	バレーボールの特性・楽しさ、技能、ルール、ゲームの工夫、生涯スポーツ							

授業科目区分	授業科目名	科目コード/ ナンバ	ナンバ リング	科目 種別	講義 演習 実習 P型 など	単位	1. 科目の目的	2. 科目の到達目標	3. キーワード	4. ディプロマポリシー					
							授業科目で何を目的に学修し、 どのような内容の理解を狙いと するか。	授業での教育・学修を通じて学生 がどのような学修成果の達成を 目指し、何を到達目標とする か。	学修の参考となる重要なキー ワードなど	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
										身体・心 理・栄養・ 技術・戦術 に関する幅 広い教養を 身に付けて いる。	スポーツお よび健康の 自然現象の 原理原則を 実生活に応 用する立場 から科学的 に理解して いる。	スポーツ・ 体育・健康 に関する知 識やスキル を専門的か つ合理的に 活用し、分 析して、ス ポーツ行動 や健康を科 学的に理解 し、問題解 決を図るこ とができる。	スポーツ・ 体育・健康 に関する知 識やスキル を専門的か つ合理的に 活用し、社 会貢献する ために必要 なコミュニ ケーション 能力や行動 力をも身に つけている。	高度なス ポーツ技能 や多様なシ チュエーションに対応 できる指導 方法を身に 付け、様々 な専門家と 協働してア スリートの 支援ができ る。	スポーツの パフォーマンスの向上 を目指しな がら、アス リートやス ポーツ運動 のエキス パートとし て求められ る高い倫理 観や創造的 態度・論理 的思考力を 有し、グ ローバルな 視点から活 躍できる。
スポーツ 実技 専門科目	スポーツ科学実習：ソフトボール	M-SPE210	■	200	実技	1	投・打・走・捕など、基本的な技術や戦術について学修する。	基本的な技術や戦術を学び、それらを習得する練習の具体的な方法を学習して実践できるようにする。	技術・精神・判断・攻撃・戦略・知識		◎		○	○	○
	スポーツ科学実習：ゴルフ初級	M-SPE205	■	200	実技	1	ゴルフというスポーツの技術的な側面を基本から学ぶとともに、プレーをするうえでのマナーに関しても、指導する。	ショットやパッティングなど、多岐にわたるゴルフの基本を習得し、実際にゴルフコースでプレーできるまでのレベルの獲得を目指す。	エテケット、ゴルフクラブ、ショット、パッティング			○	◎		○
	スポーツ科学実習：柔道初級	M-SPE208	■	200	実技	1	初めて柔道学ぶ中・高校生に対する、受け身、組み方、体さばきなどの指導法を修得するための学習をする。	初めて柔道学ぶ中・高校生に対して、安全に効果的に指導することができるようになる。	柔道衣の着方、礼法、受け身、組み方、体さばき、投げ技			○	◎		○
	スポーツ科学実習：水泳	M-SPE209	■	200	実技	1	練習方法及び指導法の習得、泳力の向上、指導能力の獲得。また健康・体力づくり、生涯スポーツとの関連を学ぶ。	4泳法の推進メカニズムの理解、泳法の習得、100m個人メドレー完泳、指導法と実践的な指導能力の獲得、水の特性の理解、水中での自己保全能力、完全管理能力を養う。	4泳法とその泳力、指導法と指導力、水の特性、水の安全、生涯スポーツ			○	◎		○
	スポーツ科学実習：野球初級	M-SPE216	■	200	実技	1	お互いが気を遣い、「楽しむスポーツ」というよりも「競技スポーツ」としての学習を行う。	ゲームに勝ったり技術が上手いということよりも、チームメイトだけではなく対戦相手への思いやりや助け合う心を養う。	心・技・体、公德心		◎		○	○	○
	スポーツ科学実習：テニス初級	M-SPE212	■	200	実技	1	On Courtの授業ではストローク・ボレー・スマッシュ・サーブなどの基本的なショットの打ち方を学ぶ。講義では、テニス用語、スコアの教え方、シングルス・ダブルスの試合方法、テニスコートにおけるマナー、テニス観戦のマナーなどを学修する。	簡単なダブルスができる程度のテニス技術を身に付け、テニスのルール、マナー、テニス界の現状・歴史を学び、テニスを通しての外交ができ、またテニスの会話が弾む知識を得ることができる。	基本的なショットの打ち方、シングルス・ダブルスの試合方法、テニスコートにおけるマナー、テニス観戦のマナー			○	◎		○
	スポーツ科学実習：ゴルフ上級	M-SPE303	■	300	実技	1	実際にゴルフコースでプレーできるレベルから、さらに発展してコースでのレベルアップを図ることを目的とする。単にプレーするのではなく、よりよいスコアを念頭に置いた指導をする。	ショットやパットの基本から、実際にコースで起こり得る状況に即応できるように練習する。	ショット、ミドルアイアン、ロングアイアン、ユーティリティ、フェアウェイウッド、ショートゲーム			○	◎		○
	スポーツ科学実習：柔道上級	M-SPE304	■	300	実技	1	柔道初級を発展させて、より効果的な技の連絡変化などを学ばせ、その指導法を身に付けるための学習を行う。	柔道初級を発展させて、さらにレベルの高い技術を習得し、それが指導できるようになる。	受け身、組み方、体さばき、投げ技、固め技、押さえ技、締め技			○	◎		○
	スポーツ科学実習：野球上級	M-SPE306	■	300	実技	1	「野球初級」での学修を基礎に、お互いが気を遣い、「楽しむスポーツ」というよりも「競技スポーツ」として一段と高いレベルに達するための学習を行う。	上級者としてのレベルで、ゲームの勝敗や技術の巧拙だけでなく、チームメイトはもちろん対戦相手に対しても思いやりや助け合う心をさらに充実させる。	心・技・体、公德心		◎		○	○	○
	スポーツ科学実習：テニス上級	M-SPE305	■	300	実技	1	上級の授業では、ストロークやボレー等の技術に磨きをかけるなどにも、シングルスやダブルスの戦法を学ぶ。また、アイフオーメーション、タイブレークシステムなどの専門用語の理解を深め、実際にコートで実習する。	生涯スポーツとして継続できる程度に技術を上げる。シングルス、ダブルスの試合方法を習得し、トーナメントを開催する。テニスを通じて自分を律することを学ぶとともに、歴史、ルール、マナー等、テニスを語ることで知識を身に付ける。	コースの打ち分け、トップスピン回転とスライス回転、スライスと同じフォームからのドロップショット、ドロップボレー、ドライブボレー、ダブルスのボレーの練習			○	◎		○

授業科目区分	授業科目名	科目コード/ ナンバ	ナンバ リング	科目 種別	講義 演習 実習 PBL など	単位	1. 科目の目的	2. 科目の到達目標	3. キーワード	4. ディプロマポリシー					
										DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
										身体・心 理・栄養・ 技術・戦術 に関する幅 広い教養を 身に付けて いる。	スポーツお よび健康を 自然現象の 原理原則を 実生活に応 用する立場 から科学的 に理解して いる。	スポーツ・ 体育・健康 に関する知 識やスキル を専門的か つ合理的に 活用し、社 会貢献する ために必要 なコミュニ ケーション 能力や行動 力を身につ けている。	スポーツ・ 体育・健康 に関する知 識やスキル を専門的か つ合理的に 活用し、社 会貢献する ために必要 なコミュニ ケーション 能力や行動 力を身につ けている。	高度なス ポーツ技能 や多様なシ チュエーション に対応でき る指導に 必要な専 門家として 求められ る高い倫理 観や創造的 態度・論理 的思考力を 有し、グロ ーバルな視 点から活躍 できる。	スポーツの パフォーマンス の向上を 目指しな がら、アス リートやス ポーツ・運 動のエキス パートとし て求められ る高い倫理 観や創造的 態度・論理 的思考力を 有し、グロ ーバルな視 点から活躍 できる。
	実技指導実践	M-SPE310	■ 300	実技	1	将来、保健・体育教諭や社会体育系企業への就職を希望する者を対象に、器械運動、ダンス、陸上競技、球技(バスケットボール、バレーボール、サッカー)、武道(柔道、剣道)の各競技の実践能力を高めるとともに、指導方法や安全面の配慮等を学習し、それぞれの現場で役にたつ人材の育成を図る。	教員採用試験(実技)や社会スポーツ系企業の実技試験において、優秀な評価を得られること、あわせてその進路に進んだのちに、適切な指導ができる技能・技術や知識を獲得することを目標とする。	保健体育教師、スポーツ指導員、 資質能力、よい指導		◎	○	○	○		